

洋学文庫  
文庫 8  
C 280



女氣所夏  
變熟四平

西羊畢勸

畝戰餽吉纂陣

傳信 電氣 濟人 蒸汽

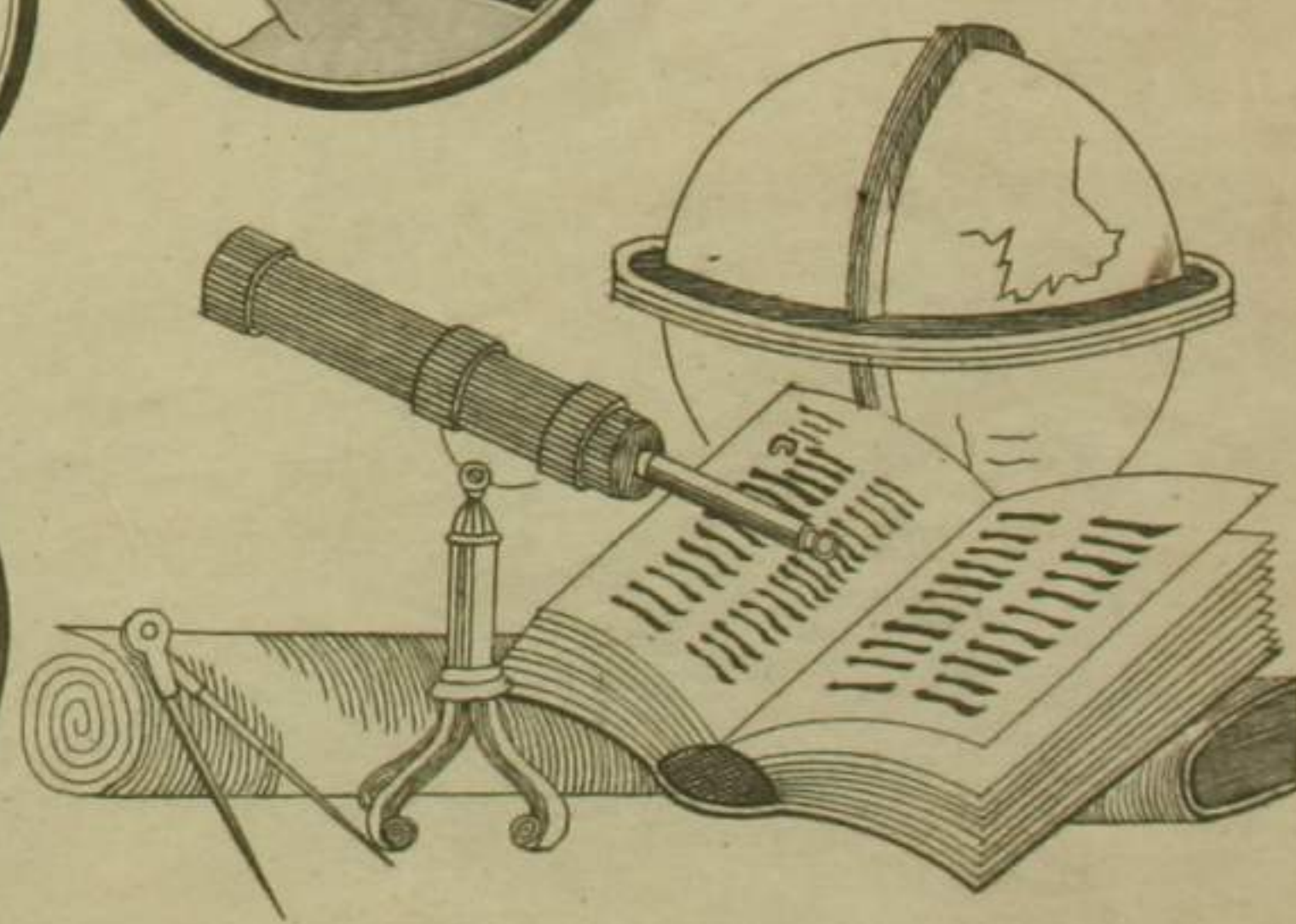


福澤諭吉纂輯

西洋事情

慶應四年  
戊辰初夏

四海一家 又旗 只第



西洋事情目錄

初編

卷之

小引

備考

政治

收稅法

國債

紙幣

商人會社

外國交際

兵制

文學技術

學校

新聞紙

文庫

病院

貧院

啞院

盲院

癲院

痴兒院

博物館

博覽會

蒸氣機關

蒸氣船

蒸氣車

傳信機

瓦斯燈

附錄

卷之二

合衆國

史記

政治

海陸軍

錢貨出納

荷蘭

史記

政治

海陸軍

錢貨出納

卷之三

英國

史記

政治

海陸軍

錢貨出納

附錄

二編

卷之四

魯西亞

史記

政治

海陸軍

錢貨出納

卷之五

佛蘭西

史記

政治

海陸軍

錢貨出納

卷之六

葡萄牙

史記

政治

海陸軍

錢貨出納

日耳曼總論

普魯士

史記

政治

海陸軍

錢貨出納

西洋事情卷之一

小引

晴保氏日記

洋籍ノ我邦ニ舶来スルヤ日既ニ久シ其翻譯ヲ  
 經ルモノ亦尠カラス然シテ窮理、地理、兵法、航海  
 術等ノ諸學日ニ闢ケ月ニ明ニシテ我文明ノ治  
 ヲ助ケ武備ノ闕ヲ補フモノ其益豈亦大ナラス  
 ヤ然リト雖凡余竊ニ謂ラク獨リ洋外ノ文學技  
 藝ヲ講窮スルノミニテ其各國ノ政治風俗如何  
 ヲ詳ニセサレハ假令ヒ其學藝ヲ得タリ凡其經  
 國ノ本ニ及ラサルヲ以テ帝ニ實用ニ益ナキノ



ミナラス却テ害ヲ招レモ亦計ルヘカラス抑々各  
國ノ政治風俗ヲ觀ルニハ其歴史ヲ讀ムニ若ク  
モノナシ然レ氏世人夫ノ地理以下ノ諸學ニ於  
テ其速成ヲ欲スルカ為ニ或ハ之ヲ讀ムモノ甚  
稀ナリ實ニ學者ノ欠典ト云フヘシ余項日英亞  
開版ノ歴史地理誌數本ヲ閱シ中ニ就テ西洋列  
國ノ条ヲ抄譯シ毎条必ス其要ヲ掲テ史記政治  
海陸軍錢貨出納ノ四目ト為シ即チ史記以テ時  
勢ノ沿革ヲ顯ハシ政治以テ國體ノ得失ヲ明ニ  
シ海陸軍以テ武備ノ強弱ヲ知リ錢貨出納以テ  
政府ノ貧富ヲ示ス蓋シ此四者既ニ世人ノ眼目  
ニ觸レハコレニ由テ略外國ノ形勢情實ヲ了解  
シ果シテ彼ノ敵視ス可キモノカ其友視ス可キ  
モノカヲ辨別シ友ハ則チ之ニ交ハルニ文明ヲ  
以テシ敵ハ則チ之ニ接スルニ武經ヲ以テシ文  
武ノ兩用其所ヲ錯ルナキニ庶幾ラン乎此レ  
余カ是擧ノ目的トスル所ナリ徒ニ世間海防家  
ノ口吻ニ云ヘルカ如キ彼ヲ知テ後ニ彼ヲ伐夕  
シトスルノミノ趣旨ニハ非ラサルナリ  
一書中本邦ト通信ノ國ヲ先ニスル所以ハ唯其近

キニ取ルノ趣意ノミ尚<sup>ホ</sup>其他諸國ノ条モ次テ翻譯ニ及フヘシ

一本編ノ翻譯ハ今茲三月ヨリ公務ノ暇業ヲ起シ六月下旬ニ至リ初編初テ稿ヲ脱セリ之ヲ校正スルニ及テ或人余ニ謂ヘル者アリ此書可ハ則チ可ナリト雖<sup>モ</sup>氏文體或ハ正雅ナラサルニ似タリ願クハ之ヲ漢儒某先生ニ謀テ正刪ヲ加ヘハ更ニ一層ノ善美ヲ盡シテ永世ノ寶鑑トスルニ足ル可シト余笑テ云ク否ラス洋書ヲ譯スルニ唯華藻文雅ニ注意スルハ大ニ翻譯ノ趣意ニ戾

レリ乃チ此編文章ノ體裁ヲ飾ラス勉メテ俗語ヲ用ヒタルモ只達意ヲ以テ主トスルカ為ナリ然ルニ今之ヲ某先生ニ謀ルモ徒ニ難字ヲ用ヒ讀者ヲシテ困却セシムルノ外決シテ他事ナカルヘシ加之漢儒者流力頑僻固陋ノ鄙見ヲ以テ原書ノ情實ヲ誤認ムルモ亦圖ル可ラス是余カ甚夕欲セサル所ナリ且方今文運隆盛世人洋籍ヲ學フモノ一日一日ヨリ多シ蓋シ數年ノ後ハ人皆原文ヲ解シ此編ノ如キモ亦牖下覆瓿ノ故紙トナラン<sup>ト</sup>必セリ又余カ本志ト雖<sup>モ</sup>氏敢テ不

朽ヲ計ルニ非ラス畢竟唯一時新聞紙ノ代用ニ  
供スルノミ故ニ淺日急成シ疎漏杜撰ノ罪道ル  
、ニ所ナシト雖氏讀者冀クハ余カ意ヲ體シ文  
字ニ拘泥セスシテ主意ノ大槩ヲ失フヲナクハ  
則チ幸甚シ

書中各國ノ条ニ掲載セル四目ハ唯其一國ニ限  
ル所ノ事件トス然レ氏亦其西洋一般普通ノ制  
度風俗アリテ我國俗ト異ナルモノ多シ今其大  
槩ヲ左ニ條舉件説シテ本編ノ備考ト爲ス乃チ  
此条ハ去ル文久辛酉ノ年余カ歐羅巴ニ航シテ

現ニ聞見セシ所ノモノヲ手録シ旁ラ經濟論等  
ノ諸書ヲ引テ編輯スルモノナリ但シ吾歐羅巴  
ノ旅行ト雖氏僅カ期年ヲ踰ヘサレハ固ヨリ一  
時ノ觀光ノミニシテ詳ニ彼國ノ事情ヲ探索ス  
ルニ暇アラス故ニ又傳聞ノ誤謬事件ノ遺漏ナ  
キヲ能ハス是ノ如キハ唯後來博雅ノ訂正ヲ待  
ツノミ

慶應二年丙寅七月

福澤諭吉誌

備考

政治

政治ニ三様アリ曰ク立君ルモ禮樂征伐一君ヨ  
 リ出ツ曰ク貴族合議カアリ國內ノ貴族名家  
 相集テ國政ヲ行フ曰ク共和政治レホ門地貴  
 賤ヲ論セス人望ノ屬スル者ヲ立テ、主長トナ  
 シ國民一般ト協議シテ政ヲ為ス。又立君ノ政治  
 ニ二様ノ區別アリ唯國君一人ノ意ニ隨テ事ヲ  
 行フモノヲ立君獨裁デト云フ魯西亞支那等  
 ノ如キ政治是ナリ、國ニ二王ナシト雖亦一定ノ

國律アリテ君ノ權威ヲ抑制スル者ヲ立君定律  
 コンスチキトシト云フ現今歐羅巴ノ諸國此制  
 ナルモナルキト云フ現今歐羅巴ノ諸國此制  
 度ヲ用ユルモノ多レ○斯ノ如ク三様ノ政治各  
 其趣ヲ異ニスレトモ一國ノ政ニ之ヲ兼用スル  
 モノアリ即英國ノ如キ血統ノ君ヲ立テ王命ヲ  
 以テ國內ニ號令スルハ立君ノ体裁ナリ國內ノ  
 貴族上院ニ會シテ事ヲ議スルハ貴族會議ノ政  
 治ナリ門閥ヲ問ハス人望ノ屬スル者ヲ撰舉シ  
 テ下院ヲ建ツルハ共和政治ナリ故ニ英國ノ政  
 ハ三様ノ政治ヲ混同セル一種無類ノ制度ナリ

又立君獨裁ト稱スル政治ニテモ事實ニ於テ生  
 殺與奪ノ權ヲ一人ノ手ニ執ルモノナシ魯西亞  
 皇帝ノ如キ人民ノ之ヲ尊仰スルヲ神ノ如シト  
 雖<sub>ホ</sub>臣一人ノ私意ヲ以テ國政ヲ專ラニスル  
 能ハス又共和政治ト雖<sub>ホ</sub>或ハ有名無實ナルモ  
 ノアリ千八百四十八年佛蘭西ノ共和政治ハ其  
 法律ノ苛酷ナルヲ當時立君獨裁ト稱シタル壞  
 地利ヨリモ尚<sub>ホ</sub>甚シ純粹ノ共和政治ニテ事實人  
 民ノ名代人ナル者相會シテ國政ヲ議シ毫モ私  
 ナキハ亞米利加合衆國ヲ以テ最トス亞米利加

ハ建國以來既ニ百年ニ近シト雖凡嘗テ國法ノ破レタルコトナシ

一 歐羅巴政學家ノ説ニ凡ソ文明ノ政治ト稱スルモノニハ六條ノ要訣アリト云ヘリ即左ノ如シ

第一條 自主任意國法寛ニシテ人ヲ束縛セス

人々自カラ其所好ヲ為シ士ヲ好ムモノハ士ト

ナリ農ヲ好ムモノハ農トナリ士農工商ノ間ニ

必シモ區別ヲ立テス固ヨリ門閥ヲ論スルコトナ

ク朝廷ノ位ヲ以テ人ヲ輕蔑セス上下貴賤各其

所ヲ得テ毫モ他人ノ自由ヲ妨ケスシテ天稟ノ

才カヲ伸ヘシムルヲ趣旨トス但シ貴賤ノ別ハ

公務ニ當テ朝廷ノ位ヲ尊フノニ其他ハ四民ノ

別ナク字ヲ知り理ヲ辨シ心ヲ勞スルモノヲ君

子トシテ之ヲ重シシ文字ヲ知ラスシテ力役ス

ルモノヲ小人トスルノミ本文自主任意自由ノ

法ヲモ恐レストノ義ニ非ラズ我儘放盪ニ居リ

人ト交テ氣兼子遠慮ナク自カケ存分ノコトヲ

ナスベシトノ趣意ナリ英語ニ之ヲブリドム

又ハリベルナト云フ未タ的當ノ譯字アラス

第二條 信教人々ノ歸依スル宗旨ヲ奉シテ政

府ヨリ其妨ヲナサ、ルヲ云フ古來宗旨ノ爭論

ヨリシテ人心ヲ動搖シ國ヲ滅シ人命ヲ害スル

西洋事情 卷之二 七

ノ例歟カラス英國ニテモハノオール家ノ世  
 ニ至テヨリ以來ハ專ラプロテスタントノ宗旨  
 ヲ奉シ一時ハ國內ニ令ヲ下シテ他宗ヲ禁シタ  
 レル<sup>アイランド</sup>阿爾蘭人ノ如キハ古來天主教ヲ信シテ政  
 府ノ命ニ服セス由テ又法ヲ改メ宗門ハ人々ノ  
 意ニ任スベシト定メタリ然レル政府ハ固ヨリ  
 プロテスタントヲ奉セシメントスル意ナルカ  
 故 或ハ大ニ其寺院ヲ建立シ或ハ他宗ノ教師  
 ヲ擯斥シテプロテスタントノ教師ニ大祿ヲ與  
 フル等ノコトアリテ動モスレハ人心ニ戾リ又近

來ハ一法ヲ立テ國政ニ關ル大臣ハプロテスタ  
 ント宗ノ人ニ非サレハ才徳アル者ト雖<sup>レ</sup>擢用  
 スルコトナシ右等ノ故ヲ以テ天主教ニ歸依スル  
 者ハ家ヲ擧テ他國へ移住スト云フ是即<sup>チ</sup>政府ニ  
 テ信教ノ趣意ヲ失スル一例ナリ  
 第三條 技術文學ヲ勵マシテ新發明ノ路ヲ開  
 ク  
 第四條 學校ヲ建テ人才ヲ教育スル  
 第五條 保任安穩政治一定シテ變革セス號令  
 必ス信ニシテ欺偽ナク人々國法ヲ頼ミ安シテ

産業ヲ營ムヲ云フ譬ヘハ或ハ國債ヲ償ハス或ハ通用金ノ位ヲ卑クシ或ハ商人會社ノ法ヲ破リ或ハ為替問屋ノ分散スル等皆其政治ニ保任ノ趣意ヲ失フモノナリ現今佛蘭西帝所有ノ金ヲ英國ノ為替問屋ヘ預ケシト云フモ其制度ノ固クシテ頼ムヘキ所アルノ一證ナリ第六條 人民飢寒ノ患ナカラシムルヲ即病院貧院等ヲ設テ貧民ヲ救フヲ云フ

収税法

西洋各國ハテ作貿易ヲ以テ國ヲ立ルノ風ニテ其収税ノ法日本支那等ノ制度ニ異ナリ今コニ英國ノ税法ヲ舉テ一例ヲ示ス

港運上 歳入第一ノ高ナリ此内酒類烟草ノ運上最モ重シ千八百五十二年港運上ノ高三千一百十七万<sup>ポンド</sup>余ナルニ運上所役人ノ給料并ニ不時ノ褒美等諸雜費ヲ合セテ六十五万<sup>ポンド</sup>トニ足ラス収税ノ法ノ簡便ナルヲ推テ知ルヘシ  
國內產物並ニ官許ノ運上 國內ノ產物ヨリ盡ク運上ヲ取ルニハ非ラス又物ニ由テ運上ノ輕



重アリ有税品ノ大略ハ酒類、糶、烟草、紙、石鹼、蠟燭、  
 石炭、材木、硝子、等ナリ例ヘハ麥酒百樽凡七ヲ釀  
 スモノハ一「ポント」十一「シルリング」ノ運上ヲ納  
 ヲ千樽以下ヲ釀スモノハ二「ポント」ニ「シルリン  
 グ」四万樽以上ヲ釀スモノハ七十八「ポント」十五  
 「シルリング」ヲ納ム○官許ノ運上トハ商賣柄ニ  
 ヲリ官府ノ免許ヲ受ケテ別段ノ運上ヲ出スモ  
 ノヲ云フ即酒ヲ賣リ、糶ヲ賣リ、烟草ヲ製スルモ  
 ノ、茶店、料理屋、馬車ヲ以テ家業ヲナス者江戸ノ  
 シノ如等是ナリ又冬ノ間、遊獵ノ免許ヲ受ルニモ  
 定リノ運上アリ

證印税 屋宅ノ貸借金銀ノ「」ニ就テノ約書、兩  
 替屋ノ手形、為替手形、借財、質入、貨物讓渡シ、弟子  
 入、職人等ノ年期ヲ定テ 婚姻、離縁、遺言、任官、火災  
 請負弟子トナルヲ云フ 新聞紙出版、金錢請取等皆書  
 面ヲ用ユル片ハ官府ノ印ヲ押シテ後日ノ證ト  
 ナシ其證印ノ税トシテ定リノ高ヲ納ム例ヘハ  
 金錢ノ「」ニ就テ約束スル片其金高二十「ポント」  
 ニシテ約書ノ字數二千百六十字以下ナレハ證  
 印税ニ「シルリング」半ヲ納メ借財質入ノ高二百

五十ポントヨリ三百ポントナレハ證印稅七シ  
ルリング半ヲ納メ三百ポントヨリ以上ハ百ポ  
ントヲ増ス毎ニ二シルリング半ヲ納ムル等夫  
タノ定法アリ若シ官府ノ證印ヲ押サステ私  
ニ證書ヲ取替ス片ハ後日ニ至リ爭論ヲ生スル  
トモ官ノ裁判ヲ願フコト能ハス且斯ノ如キモノ  
ハ政府ヲ欺クノ罪トシテ過料ヲ出サシムルヲ  
法トス

地稅家稅等 地稅ハ都下ト田舎トノ區別ナク  
唯土地ノ廣狹良否ニ準シテ之ヲ定ム其法大九

歲入二十五分ノ一ヲ收ムルヲ基則トス例ヘハ  
今都下或ハ田舎ニ一區ノ土地アリ之ヲ賣買ス  
ルニ價千ポント之ヲ人ニ貸セハ其地代土地ノ  
本價百分ノ三四即チ三四十ポントナルヲ通法ト  
ス政府ヘ納ル二十五分ノ一トハ即チ此三四十ポ  
ントノ二十五分一ナリ右ハ土地ヲ他人ヘ貸ス  
片ノ法ナレバ若シ自分所持ノ土地ヘ家ヲ建テ  
或ハ自カラ耕作スル者ハ政府ヨリ吏人ヲ遣シ  
テ其地ヲ監定シ人ニ貸シテ一歲ニ收ムヘキ地  
代ノ高ヲ設ケ其二十五分ノ一ヲ政府ヘ收ムル

税ト定ム家税ノ法モ全ク地税ト異ナルヲナシ  
 地税家税共ニ定法二十五分ノ一ナルニ貧院ノ  
 入用等アリテ大抵二十分ノ一ノ割合トナルト云  
 ○地税家税ノ外ニ奴僕、犬、馬、車等ノ税アリ十八  
 歳以上ノ奴僕一人ヲ任用フレハ其主人ヨリ一  
 ポント一シルリングノ税ヲ納ム十八歳以下ナ  
 レハ十シルリング半ヲ納ム二馬ヲ駕スル四輪  
 車一輛ヲ所持スレハ其税三ポント十シルリン  
 グ一馬ヲ駕スルモノハ十五シルリング馬一足  
 ノ税ハ十シルリングニシテ犬一足ノ税ハ十二  
 シルリングナリ

家産税 商賣ヲ為シ或ハ學術ヲ教授スル等ニ  
 由テ家産ヲ營ムモノハ一歳所得ノ利潤二十五  
 分ノ一ヲ官ニ納ム之ヲ家産税ト云フ又仕官ス  
 ル者ハ其給料ヲ以テ家産ト為スカ故ニ税ヲ納  
 ムルヲ商人ト異ナルヲナシ  
 飛脚印 西洋諸國ニテ飛脚ノ權ハ全ク政府ニ  
 屬シ商人ニ飛脚屋ナルモノナシ故ニ外國へ文  
 通スル者ハ勿論、國內ニテモ私ニ書翰ヲ送ルヲ  
 得ス必ス政府ノ飛脚印ヲ用ユ其法政府ニテ飛  
 脚印ト名ル印紙ヲ作り定價ヲ以テ之ヲ賣ル諸

人之ヲ買ヒ書翰ヲ送ルトキハ路ノ遠近書翰ノ  
 輕重ニ從ヒ夫々ノ印紙ヲ上封ノ端ニ張テ飛脚  
 屋ニ投スレハ直ニ先方へ達ス此飛脚屋ト稱ス  
 ルモノハ所謂飛脚印ヲ賣ル政府ノ飛脚場ニハ  
 非ラス大抵市中一町毎ニ箱ヲ戶外ニ出セル家  
 アリ此箱ニ書翰ヲ投シ漸ク集レハ同時ニ之ヲ  
 諸方へ送ル但シ此飛脚屋ハ政府ノ飛脚場ニ屬  
 スル者ニテ書翰ヲ送ル賃錢ハ政府ヨリ取ルナ  
 リ○印紙ノ大サハ大抵七八分許其價ニ從テ色ヲ  
 分テリ現今世界中ノ飛脚印凡ソ二千四百種ア  
 リト云フ各國互ニ飛脚ノ條約ヲ結テ双方ノ便

ノ為ス例へハ佛蘭西ヨリ英國へ書翰ヲ送ル者  
 ハ佛ニテ價ハ「シュ」ズノ印紙ヲ用ユ佛ノ飛脚場  
 ヨリ龍動ノ港マテ之ヲ送り佛ノ政府へハ四「シ  
 」ズヲ取り龍動港ヨリ英國ノ諸方へ届ル為英  
 ノ政府ニテニ「シュ」ズヲ取ル合テ六「シュ」ズナリ  
 印紙ノ元價ハ「シュ」ズヨリ六「シュ」ズヲ引キ残り  
 ニ「シュ」ズコレヲ運送ノ賃錢雜費トス故ニ佛英  
 ノ間ニ文通スレハ飛脚賃四分ノ三八兩國政府  
 ノ利潤トナルナリ「シュ」ズハ佛蘭西貨  
 幣ノ名附録ニ出ス

國債

一 西洋各國貧富同シカラスト雖在太平ノ其ハ歲入歳出大抵相平均スルヲ常トス若シ戦争ニ由テ非常ノ費アル其ハ國內ニ令ヲ下シ政府ヨリ手形ヲ出シテ國人ノ金ヲ借ルヲアリ之ヲ國債ト名ク但シ令ヲ下スト雖在富商大賈ニハ必ス金ヲ出サシムルトノ趣意ニハ非ラス唯人々ノ意ニ任せ出スヲ好マサル者ハ捨テ問ハス又他國ノ人ニヲモ金ヲ出サント云フ者アレハ拒マシテ之ヲ借ル九ツ西洋諸國ノ政府ニ國債

アラサルモノナシ英國ニテハ古來ノ國債次第ニ増加シ千八百六十二年ニ至テ其高八億九千四百萬<sup>ポント</sup>トナレリ此利息ヲ一年三分ノ割合トシテ二千六百八十二萬<sup>ポント</sup>トナリ<sup>國債ノ利息ハ</sup>大抵三分ヨリ三分半ヲ通常トス四分以上ノ利息ハ甚稀ナリ政府ハ毎年此利息ヲ拂フノミニテ元金ヲ返スハ甚稀ナリ金ヲ出シタル者モ政府ノ手形ヲ所持シテ毎年三分ノ利息ヲ得レハ恰モ現金ニ異ナルヲナキヲ以テ強テ元金ヲ返スヲ求メス故ニ此手形ハ國中ニテ互ニ賣買シ現金ノ代用トナスヲ紙幣ニ

同シ然レモ其國ノ政體貧富又利息ノ高下ニ由  
 テ手形ノ價各國同シカラス政府ヨリ年々必ス  
 利息ヲ拂ヒ時トシテハ元金ヲモ返スルハ手形  
 ノ相場自カラ貴シ政府貧ニシテ固ヨリ元金ヲ  
 返サス年々ノ利息ヲモ十分ニ拂フコト能ハサル  
 歟又ハ利ヲ拂ヒ元金ヲ返ストモ其國ノ政法屢  
 變革シ昔シヨリ國債全ク崩レタルコトアル國ニ  
 テハ手形ノ價自カラ低シ左ニ二三例ヲ擧ク但  
 シ此相場ハ去ル文久壬戌ノ年夏ノ新聞紙ニ出  
 ルモノナリ

英國

國債八億九千四百萬ポンド

利三分

手形ノ價九十三

十兩高ノ手形ナレハ私ニ賣買  
シテ九百三十兩トナルナリ

佛蘭西

國債九十五億二千九百萬フラン

利三分

手形ノ價七十

荷蘭

國債十億零三千五百萬ギルデン

利四分

手形ノ價百一〇荷蘭ニテハ手形ノ相場元價ヨ

リモ貴シ其故ハ利息モ他國ヨリ高ク且政府ヨ

リ時々元金ヲ返シ古來國債ノ崩レタルヲナケ  
レハナリ昨年モ元金七百萬ギユルデシヲ返シタ  
リト云フ

魯西亞

國債十六億二千萬ルーブル

利三分四釐

手形ノ價七十

葡萄牙

國債甚多カラス

利三分

手形ノ價四十六

西班牙

國債ノ高大抵英國三分ノ一

利三分

手形ノ價五十

十兩ノ手形ヲ私ニ賣買シテ僅ニ五  
十兩トナルナリ西班牙政府ノ貧ナ

ルヲ推テ  
知ルヘシ

紙幣

西洋諸國大抵皆紙幣ヲ用ユ但シ其價五十兩或  
ハ百兩以上ナルモノハ之ヲ銀坐手形ト名ツク  
紙幣ト唱フルモノハ價一二兩許ニシテ市中日  
常ノ賣買ニ用ユルモノナリ佛英蘭等ニハ紙幣  
ナクシテ唯銀坐手形ノミヲ用ユ總テ紙幣及ヒ  
手形ハ政府ノ銀坐ヨリ出タス此銀坐ニハ固ヨ

リ紙幣手形丈ケノ現金ヲ備置クヘキ理ナレ  
法アリテ必シモ其元金ノ備ヲナサスシテ紙  
幣手形ヲ引替ルニ指支ヘナカラシムヘシ其法  
何人ニテモ金ヲ貸サント欲スルモノアレハ官  
ノ銀坐ヨリ通法三四分ノ利息ヲ以テ之ヲ預リ  
其金ヲ以テ紙幣局ノ元金トナス故ニ政府ニテ  
ハ之カ為別ニ元金ノ用意ヲ為スヲナシ金主ヨ  
リ預ケ金ノ返濟ヲ願フキハ即時ニ其元利ヲ返  
ス但シ出入ノ手數銀トシテ元金ニ釐五毛四百  
ヲ官ニ収ム右ハ政府ヨリ建ル銀坐ノ法ナリ

商人ニテモ銀坐ヲ設テ手形ヲ出タスヲ免ス其  
法政府ノ銀坐ト同シ唯其異ナル處ハ商人ヨリ  
出タス手形ハ其通用人々ノ意ニ任セテ若シ之  
ヲ取ルヲ欲セサレハ強テ用ユルヲ得ス政府  
ノ手形ハ然ラス全ク現金ト同様ニテ國內ノ人  
民其通用ヲ拒ムヲ得ス

商人會社

西洋ノ風俗ニテ大商賣ヲ為スニ一商人ノ力ニ  
及ハサレハ五人或ハ十人仲間ヲ結テ其事ヲ共  
ニス之ヲ商人會社ト名ツク既ニ商社ヲ結メハ



商賣ノ仕組元金入用ノ高年々會計ノ割合等一切書ニ認メテ世間ニ布告シ「アクシヨ」ト云ヘル手形ヲ賣テ金ヲ集ム其法例ハ商賣ノ元金百萬兩入用ナレハ手形百萬枚ヲ作り一枚ノ價ヲ一兩ト定メ自國他國ノ人ニ拘ハラヌ此手形ヲ買フモノニハ商社ヨリ年々四五分ノ利息ヲ拂ヒ且其商賣繁昌シテ利潤多クレハ右定タル利息ノ外ニ別段ノ割合ヲ與フヘシトノ約束ヲ為ス或ハ商社ニテ速ニ金ヲ集メント欲スルハ定價一兩ノ手形ヲ三步又ハ三步ニ朱ニテ賣ルヲモアリ手形ヲ買タル者ハ商社ヨリ隨意ニ元金ヲ取返ストヲ得スト雖モ若シ一時ニ金ノ入用アレハ世間相對ニテ手形ヲ賣ルヘシ且其商賣ヨク繁昌シテ年々定式ノ利息ノ外ニ別段ノ割合多クレハ手形モ自カラ高價トナリ最初百兩ニテ手形百枚ヲ買タルモノモ世間賣買ノ相場ニテ百三四十兩ニモ賣ルヘシ商人會社ヲ結フニ其政府ニ告ケ官許ヲ受ケサレハ行フヘカラサルモノアリ即チ鐵路ヲ造リ傳信線ヲ通シ通船ノ川ヲ堀ル等總テ其國ノ土地ニ關ルモノ

是ナリ此類ノ事ヲ爲ス者ハ先ツ政府ニ願ヒ官  
許ヲ受ケテ後初テ手形ヲ賣ル可シ官許ヲ受タ  
ル商社ハ分散スルヲ得ス若シ此商社分散スル  
片ハ其賣タル手形ノ代金ヲ政府ヨリ償フノ法  
ナリ故ニ初ノ商社ヨリ政府ニ願フニモ其元金  
ニ相當スヘキ引當ナクレハ官ヨリ商社ヲ結ヒ  
手形ヲ賣ルヲ許サス○又商社ニ自分ノ元金ア  
レモ商賣ヲ企ルニ足ラスシテ其不足丈ケヲ手  
形ニ作り金ヲ集ルヲアリ其法手形ヲ買タル者  
ニ定リノ利息ヲ拂ヒ年々別段ノ割合ヲ與フル  
ハ上ニ云ヘルモノト異ナルヲナシト雖モ此商  
社ハ既ニ金ヲ集メテ事ヲ始レハ其時ヨリ年々  
手形ノ元金ヲ返ス譬ヘハ手形千枚ヲ賣レハ年  
々五十枚宛ノ元金ヲ拂ヒ二十年ニテ元金皆濟  
トナリ商賣ノ株ハ全ク商社ノ有トナルナリ手  
形ノ元金ヲ拂フ法、手形千枚アレハ千枚ニ番号  
ヲ附テ毎年闔ヲ取り此闔ニ當ル者ハ初メ手形  
ヲ買タル丈ケノ元金ヲ受取り商社ノ組合ヲ離  
ル故ニ此手形ヲ世間相對ニテ賣買スルモ其元  
金ヨリ高價ニ買フモノアレモ若シ之ヲ買テ其

年或ハ翌年ニモ右ノ闇ニ當リ手形ノ元金ヲ受  
取テ商社ノ組合ヲ離レハ高價ニ買ヒシタケ其  
者ノ損亡トナルナリ  
右ハ西洋各國ニ行ハル、商社ノ通法大略ナリ  
總テ商船ヲ造テ外國ト交易シ飛脚船ヲ以テ世  
界中ニ往来シ為替問屋ヲ設テ各國ト互ニ取引  
ヲ為シ鐵路ヲ造リ製造局ヲ建テ瓦斯燈ヲ設ル  
等ノ大商賣ヨリ國內ノ諸商賣ニ至ルマテ皆此  
商社ノ為ス所ナリ

外國交際

西洋ノ諸國ハ其風俗言語各異同アレ元新ニ開  
サル支那日本ノ風俗ト西洋ノ風俗ト相異ナル  
カ如クナラス其各國交際ノ模様ヲ譬ラ云ヘハ  
日本ノ諸侯ノ國々ニテ互ニ附合スルカ如シ各  
國ノ人民此彼相往来シラ商賣ハ勿論婚姻ヲモ  
取結ヒ其君主モ互ニ好ヲ結ヒ吉凶相賀吊シ緩  
急相救ノノ風ナリ然レ元何レモ獨立ノ國ニ  
テ制度一樣ナラサルカ故ニ其爭端ヲ防ク為各  
國互ニ約束ヲ結テ懇親ヲ固クシ交易ヲ便ニス  
ルモノ之ヲ條約ト名ツク既ニ條約ヲ結ノハ此

國ヨリ彼國へ全權ノモノ一人ヲ遣テ其都府へ  
 在留セシメ交際ノ事務ヲ商議セシムル者之ヲ  
 「ミニストルト」ト稱ス「ミニストルト」ノ職掌ハ條約ノ  
 大義ニ基キ兩國ノ親睦ヲ保全スルヲ趣旨トセ  
 リ故ニ交際上ニ争端ヲ起シ和親ノ破レントス  
 ルニ至ルモ之ヲ周旋シテ再ヒ平和ニ挽回スル  
 ハ「ミニストルト」ノ功ナリ又外國ノ交易場ニ於テ  
 自國商人ノ取締ヲ為シ交易ノ事ヲ周旋セシム  
 ルタメ官吏一人宛ヲ置ク之ヲ「コンシユルト」ト名ツ  
 ク故ニ一國へ遣差スル「ミニストルト」ハ一名ナレ  
 凡「コンシユルト」ノ員數ハ其國交易場ノ數ニ準シテ  
 多寡アリ

兵制

一 往昔歐羅ノ諸國ハ封建世祿ノ制度ヲ以テ臣下  
 ヲ養ヒ各國ノ帝王互ニ相攻メ國內ノ貴族互ニ  
 相鬪ヒ専ラ武ヲ重シシテ文ヲ勉メス、字ヲ知ル  
 モノハ唯僧徒ノミ凡ソ國內ノ人、騎馬ノ戰士ニ  
 非ラサルヨリ以下ノ者ハ之ヲ輕蔑スルヲ甚シ  
 且其戰鬥ニ於ケルモ劍戟一人ニ敵スルヲ以テ  
 功名ト為シ、所謂兵法ナルモノナシ其戦法、武人

ノ階級ヲ三ツニ分チ貴族ハ必ス馬ニ騎シテ重大  
ノ兵器ヲ携ヘ其次キノ者ハ輕使ナル兵器ヲ携  
フ。輕兵ヲ以テ戰ヲ開キ重兵ヲ以テ之ヲ支ユ。第  
三等ハ歩兵ニテ其兵器ハ槍劍弓矢ナリ  
千三百年代火器ヲ發明シテ之ヲ戰爭ニ用ユル  
ニ至テ歐羅巴ノ兵制一變セリ各國ノ貴族等火  
器ヲ以テ卑賤ノ具トシ之ヲ蔑視シテ携ヘサレ  
氏事ニ臨テ敵ニ近ツクコトヲ得ス百歩ノ外ニ在  
テ一小彈ノ爲ニ斃サル、コトアリコレヨリ世人  
匹夫ノ勇ヲ貴ハスシテ智術ヲ重ンシ貴族武人  
ノ勢大ニ衰ヘタリ然レ氏貴族等ハ尚遊怠ノ風  
ニ慣レテ躬カラ事物ヲ研究スルヲ好マス乃チ  
一法ヲ設ケ給金ヲ出シテ人ヲ雇ヒ新發明ノ砲  
術ヲ學ハシメテ戰ニ用ヒタリ之ヲ兵卒ノ初ト  
ス兵卒ハ英語ニテソルヂー此ト云フソルヂー  
此トハ給金取りノ義ナリ  
前条ノ如ク火器ノ發明ヨリシテ遂ニ兵卒ヲ雇  
フノ法ヲ立テ古來世祿ノ制度次第ニ止ミ且文  
武ノ職掌初テ相分レタルハ帝ニ兵備ノ改正ノ  
ミニ非ラス國政ノ一大變革ト云フヘシ爾後ハ

唯兵卒ノ多寡ヲ以テ國ノ強弱ヲ競フカ故ニ太平ノ時モ給金ヲ與ヘテ兵卒ヲ養フノ風俗トナリ千四百五十年佛蘭西王第七世チャールズ英國ト戰テ勝テ後患ヲ恐レテ國中ノ貴族ニ命シ平常ノ時モ兵卒ノ備ヲナサシメタリ之ヲ常備兵ノ初トスコレヨリ各國ニテモ其法ニ效ヒ今日ニ至ルマテ皆常備兵アリ

兵卒タラン者ハ其業前ヲ巧ニセサレハ給金ヲ得サルニ由リ皆爭テ之ヲ鍛練シ且之ヲ任用スル君將モ用兵ノ新法ヲ發明シテ敵ニ勝タント欲シ無事ノ時モ兵卒ヲ集メテ戰爭ノ誓古ヲナス即チ訓練ノ初ナリ訓練ノ法ヲ立テタルハ千五百年代ノ末、荷蘭合衆政治ノ大統領マウリツトヲ以テ始祖トス

右ノ如ク常備兵ヲ設ケ平日訓練ヲ怠タラスト雖氏步兵騎兵、坐作進退ノ法未タ整ハスシテ戰爭ノ際、動モスレハ混雜ヲ生スルコトアリ千六百年代ノ初ニ瑞典王ゴスターフ測量窮理ノ學ニ達シ用兵ノ才略ニ富テ諸兵運動ノ法ヲ立テ小銃隊ヲ改正シ人數ヲ密ニ列子テ同時ニ發砲ス

ルヲ發明シ從來ノ輕砲隊ニ重砲ヲ交ヘ騎兵ノ廢シタルヲ再興シ步騎砲三兵ノ活法初テ整齊セリ

ゴスターズノ後ハ各國ニテ火器ノ數日ニ増加シ其用法益々盛大ト為リ天下ノ利器銃砲ノ右ニ出ルモノナシ千七百五十年ノ頃普魯士王第二世フレデリック文武兼備ノ英才ヲ抱テ世ニ出テゴスターズノ餘業ヲ繼テ專ラ意ヲ火器ニ用ヒ新規ノ工夫ヲ運ラシテ舊法ノ闕ヲ補ヒ數年ニシテ普魯士國ノ軍法俄ニ進歩シ其威名歐羅巴

全州ニ轟テ之ヲ恐怖セサルモノナシコレヨリ各國皆普魯士ノ法ヲ採用シ世ノ兵制更ニ一變セリ此時ニ當テ算數測量ノ學漸ク明ニシテ陣列進退ノ法ヲ節スルニモ數學ノ理ニ基ヒテ其遲速ヲ定ム蓋シ樂器ヲ鳴ラシテ兵卒ノ歩法ヲ節スルヲモフレデリックノ時ヨリ始レリ步兵ノ陣列ハ前後三人並ヒノ横陣トナシ小銃ニ玉込ヲナスニ鉄ノ込矢ヲ製シ火門ノ形ヲ改メテ口藥ヲ用ヒス之ニ由テ大ニ急發ノ便利ヲ増シ野戰砲ヲ輕便ニシ騎兵ノ甲冑ヲ輕クシ戰鬥ノ

法總テ猛烈迅速ヲ趣旨トス騎馬ヲ以テ大砲ヲ引クヲモ當時ノ發明ナリ但シ散兵ヲ用ユルハ亞米利加合衆國獨立ノ師ヲ初トス當時戰爭ノ地ハ山林多ク亞米利加人散兵ヲ用ヒテ屢英人ヲ窘メタリト云フ

ラレデリツキノ後ニ天下ノ兵制ヲ一新シタル者ハ千八百年代ノ初佛蘭西帝拿破ナポレオン破崙ナリコレヨリ先キ歐羅巴ノ兵ハ唯雇ヒ人足ヲ戰場ニ驅逐スルノミニテ或ハ死物ヲ用ユルニ齊シキノ弊ナキニ非ラス拿破崙コニ注意シ國內ノ人ヲ

盡ク兵武ニ用ヒ國民自カラ國ノ為ニ戰フノ趣旨ヲ以テ法ヲ立テ將士ヲ愛シ兵卒ヲ惠ミ有功ノ者ヲ賞スルニハ一擲千金モ亦少惜ム所ナシコヽニ於テ人々皆報國盡忠ノ心ヲ抱キ戰ニ臨テ死ヲ顧ミス之ヲ分テ散兵トカセハ一人ノ力ヲ盡シ之ヲ合シテ密隊トナセハ先ヲ争テ敵ニ向ヒ兵ヲ用ユルヲ手足ノ如ク進退意ニ隨ハサルハナシ是レ拿破崙ガ拔山蓋世ノ勢ヲ以テ歐羅巴全州ヲ壓倒セシ所以ナリ現今西洋諸國ノ兵法ハ皆拿破崙ニ擬ルト云フ



右ハ西洋ノ兵制沿革ノ大略ナリ其詳ナルハ三  
兵活法等ノ諸書ニ就テ見ルヘシ

文學技術

一 往古希臘ノ學一度衰ヘ之ヲ恢復シタルモノ  
ハ亞喇伯人ニテ其科ハ專ラ測量學醫學理學ヲ  
勉メリ西洋學術ノ大趣意ハ萬物ノ理ヲ究メ其  
メニ人々ヲ明ニシテ天稟ノ智カヲ盡サシムルニ在  
リ夫ノ脩徳正行ノ道ノ如キハ別ニ其教アリテ  
ト云フ再後歐羅巴諸邦ニテ文學技術ノ開ケ  
タルハ皆亞喇伯人ノ賜ナリト云フ千二百年代  
ノ央ニ及テ英國ノ僧ニローゼル、バーコンナル

者アリ博識多才古來遵奉セル究理ノ道ヲ以テ  
不足ナリトシ初テ實驗ノ說ヲ唱ヘ天文視學光線  
ノ性質ヲ論シ目鏡望遠化學萬物ノ性質ヲ探索  
鏡等ノ組立ヲ說ク學科シテ之ヲ分析シ調  
合スル醫學器械學等ノ大略ヲ發明シテ一時大  
學者ト稱セリ然レ氏當時尙草昧ノ世ニテ此大  
學者ト雖氏長命ノ神丹ヲ鍊リ諸種ノ金屬ヲ黃  
金ニ變化セントテカヲ費シ星行ヲ見テ吉凶ヲ  
占スル等ノ奇談アリ○コレヨリ千四百年代ニ  
至ルマテハ世ノ學者詩歌ヲ玩ヒ小説ヲ悅テ實  
學ヲ勉ルモノ少シ千四百二十三年版刺ノ發明

アリシ後モ文學大ニ進歩シ經學、性理、詩歌、歴史ノ學ハ其盛美ヲ極メタレバ獨リ究理學ニ至テハ然ラス世人皆古聖アリストツル紀元前三  
臘ノ大學者ノ學流ニ心醉シ附會奇異ノ神說ヲ唱ヘテ有用ノ實學ニ志スモノナク千六百年ノ頃ニ至ルマテモ其形勢依然タリ此時ニ當テフランシス、バリーコンデス、カルテス等ノ賢哲世ニ出テ專ラ試驗ノ物理論ヲ唱ヘテ古來ノ空談ヲ排シ千六百年ニハ伊多利ノ學者ガリレオ初テ地動ノ說ヲ建テ千六百十六年ニハ英國ノ醫師ハル<sup>ル</sup>「ル」ル人身體血液運行ノ理ヲ發明スル等世ノ學風漸ク實際ニ赴ク千六百年ノ末英國ノ大家ニ「ニ」ニトク<sup>ト</sup>千古不世出ノ英才ヲ以テ日新世ニ生レ齡未タ二十四歳ニ滿タス大空ニ行ハル、引力ノ理ヲ發明シ地球ノ引カハ前既ニ其發明アリ光線ノ功用ヲ說キ物色ノ根源ヲ明ニシ造化ノ秘訣一トシテ明了ナラサルハナシ其著述「フ」フリンシヒヤト題セル書ハ究理學ノ大本ヲ說クモノニテ世ノ學者皆之ヲ宗トスコレヨリ西洋ノ學風更ニ一面目ヲ改メ衆傑輩出シテニ「ニ」ニトク<sup>ト</sup>氏ノ余業ヲ

繼キ切瑳琢磨今日ノ盛ナルニ及ヘリ千七百年  
 代ノ初ヨリ現今ニ至ルマテ大發明ト稱スヘキ  
 モノハ蒸氣機關、蒸氣船、蒸氣車、傳信機、牛痘、麻布  
 綿布ノ染形、紡績織物ノ機關、石版、瓦兒華尼<sup>ニ</sup>鍍金  
 同模形、避電線、瓦斯光、空船等是ナリ此外越列機<sup>エレキトル</sup>  
 瓦兒華尼<sup>ニ</sup>ノ論說、視學、天文學ニ就テ改正ヲ加ヘ  
 新器械ヲ發明シタルヲ枚舉スルニ遑アラス

學校

西洋各國ノ都府ハ固ヨリ村落ニ至ルマテモ學  
 校アラサル所ナシ學校ハ政府ヨリ建テ教師ニ  
 給料ヲ與ヘテ人ヲ教ヘシムルモノアリ或ハ平  
 人ニテ社中ヲ結ヒ學校ヲ建テ教授スルモノア  
 リ人生レテ六七歳男女皆學校ニ入ル或ハ校ニ  
 止宿スル者アリ或ハ家ニ眠食シテ毎日校ニ行  
 ク者アリ初テ入ル學校ヲ小學校ト云フ先ツ文  
 字ヲ學ヒ漸クシテ自國ノ歴史地理算術、天文、窮  
 理學ノ初步、詩、画、音樂等ヲ學フ斯ノ如クスル  
 七八年諸學漸ク熟シ又大學校ニ入ル此學校ニ  
 テモ學科以前ト異ナラスト雖モ稍高上ノ教ヲ  
 受ク且此所ニテハ盡ク諸科ヲ學ハスニテ各其

志ス所ノ一二科ヲ研究ス或ハ暫クコ、ニ入り  
 兵家タラント欲スレハ兵學校ニ移リ醫師タラ  
 ント欲スレハ醫學校ニ移リ專ラ一業ノミヲ勉  
 ル者アリ右ノ如ク六七歳ヨリ初テ學ヒ十八歳  
 若クハ二十歳ヲ成業ノ年齢トス右ハ大小學校  
 ニ入ル一般ノ順序ナレト或ハ一所ノ學校ニテ  
 大小相兼ルモノアリ龍動ギンクスコルレトジ  
 府中最モ大ナル如キハ學生五百人余アリテ樓  
 上ハ大學校ノ教ヲ授ケ樓下ハ小學校ノ教ヲ設  
 タ○毎日教授ノ時ハ朝第九時ヨリ始リ第十二

時ニ終リ中食シ午後第二時ヨリ晚第五時ニ終  
 ル七日毎ニ一日休業寄宿生皆家ニ歸ル學校ノ  
 法ハ最モ嚴正ナリ教授ノ間言語セス親指セス  
 法ヲ犯ス者ハ罰アリ然レト間時ハ隨意ヲ遊ソ  
 フヲ禁セス是カタノ學校ノ傍ニハ必ス遊園ヲ  
 設テ花木ヲ植ヘ泉水ヲ引キ遊戯奔走ノ地トナ  
 ス又園中ニ柱ヲ立テ梯ヲ架シ綱ヲ張ル等ノ設  
 ヲナシテ學童ヲシテ柱梯ニ攀リ或ハ綱渡リノ  
 藝ヲナサシメ五禽ノ戯ヲ為テ四肢ヲ運動シ若  
 學ノ鬱閉ヲ散シ身體ノ健康ヲ保ツ○一歳ノ學

費ハ各國大同小異但シ學校ノ良否ト教ヲ受ル  
 學科ノ多寡ニ由テ一様ナラス又貧人其子ヲ教  
 ルヲ能ハサル者ハ一種ノ學校アリテ學費ナク  
 教ヲ受クヘシ此學校ノ費ハ租稅ノ如クシテ國  
 民ヨリ出サシムルモノアリ或ハ有志ノ人會社  
 ヲ結テ自カラ金ヲ出シ又ハ國中富貴ノ人ニ説  
 テ金ヲ集メ貧學校ヲ建ルヲアリ○歐羅巴ニテ  
 文學ノ盛ナルハ普魯士ヲ以テ第一トス國內ノ  
 人民大抵字ヲ知ラサル者ナシベルリ別林普魯士ノ首府ニハ  
 獄屋ノ内ニモ學校ヲ設ケ三四日毎ニ罪人ヲ出  
 シテ教授ス他ハ推テ知ルヘシ

新聞紙

新聞紙ハ會社アリテ新ラシキ事情ヲ探索シ之  
 ヲ記シテ世間ニ布告スルモノナリ即チ其國朝  
 廷ノ評議官命ノ公告吏人ノ進退市街ノ風説外  
 國ノ形勢學藝日新ノ景況交易ノ盛衰耕作ノ豐  
 凶物價ノ高低民間ノ苦樂死生存亡異事珍談總  
 テ人ノ耳目ニ新ラシキ一ハ逐一記載シテ圖画  
 ヲ附シ明詳ナラサルハナシ其細事ニ至テハ集  
 會ノ案内ヲ為シ開店ノ名ヲ弘メ失物ヲ探索シ

拾ヒ物ノ主ヲ求ムル等皆新聞紙局ニ託シテ其次第ヲ記ス故ニ一室ニ閉居シテ戶外ヲ見ス萬里ノ絶域ニ居テ鄉信ヲ得サルモノト雖凡一度ヒ新聞紙ヲ見レハ世間ノ情實ヲ摸寫シテ一目瞭然恰モ現ニ其事物ニ接スルカ如シ西人新聞紙ヲ見ルヲ以テ人間ノ一快樂事トナシ之ヲ讀テ食ヲ忘ル一云フモ亦宜ナリ凡ソ海内古今ノ書多シト雖凡聞見ヲ博クシ事情ヲ明ニシ世ニ處スルノ道ヲ研究スルニハ新聞紙ヲ讀ムニ若クモノナシ○新聞紙ハ每日出版スルモノアリ

七日ニ一回出版スルモノアリ西洋諸國及ヒ海外ノ地ニテモ西人ノ居留セル地ニハ必ス之ヲ出版スルモノアリ其最モ盛ニ行ハルハ英國ノ龍動亞米利加ノニューヨークヲ天下第一トス龍動ニテハ萬國ノ新聞ヲ集メ自國ノ新聞ト共ニ記シテ世界中ニ布告ス所謂龍動新聞ナリ新聞紙ノ報告ハ速ナルヲ趣意トシ蒸氣機關ヲ以テ版ヲ摺リ一時間ニ一萬五千枚ヲ得ヘシ制本終レハ蒸氣車蒸氣船等ノ急使ニテ諸方ニ達ス其神速ナルヲ人ノ耳目ヲ驚カス一例ヲ擧クル

ニ嘗テ龍動ノ議事院ニ終夜大議論アリテ曉第  
四時<sup>七</sup>時ニ終リシトキ即時ニ議事ノ次第ヲ記シ  
出版シテ國中ニ布告シ同日第十二時<sup>九</sup>時ニハ百  
里外ノ「ブリストル」ニ達セシ「アリ」○新聞紙ノ  
説ハ其國ニ由リ其人ノ意見ニ從テ偏頗ナキニ  
シモアラサレ氏元<sup>ト</sup>官許ヲ受ケ出版スルモノニ  
テ其議論公平ヲ趣旨トシ國ノ政事ヲ是非シ人  
物ヲ褒貶スル「妨」ナシ故ニ世人皆之ヲ重ンシ  
其大議論ニ由テハ一時人心ヲ傾ケ政府ノ評議  
モ之カ為變革スル「アリ」譬ヘハ此國ニテ師ヲ  
起シ彼國ヲ攻メントノ評議アル氏彼國ノ人。理  
非曲直ヲ辨論シ之ヲ新聞紙ニ載テ世上ニ布告  
スレハ師ヲ止ルノ一助トモナルヘシ

文庫

西洋諸國ノ都府ニハ文庫アリ「」ブリオテ「キ  
ト云フ日用ノ書籍圖画等ヨリ古書珍書ニ至ル  
マテ萬國ノ書皆備リ衆人來リテ随意ニ之ヲ讀  
ムヘシ但シ毎日庫内ニテ讀ムノミニテ家ニ持  
歸ルコトヲ許サス龍動ノ文庫ニハ書籍八十萬  
卷アリ彼得堡<sup>トトスヒユグ</sup>魯西亞<sup>ノ</sup>首府ノ文庫ニハ九十萬卷巴理

斯ノ文庫ニハ百五十萬卷アリ佛人云フ巴理斯  
文庫ノ書ヲ一列ニ並ルキハ長サ七里ナルヘシト  
○文庫ハ政府ニ屬スルモノアリ國中一般ニ屬  
スルモノアリ外國ノ書ハ之ヲ買ヒ自國ノ書ハ  
國中ニテ新ニ出版スル者ヨリ其書一部ヲ文庫  
ヘ納メシム

病院

一 病院ハ貧人ノ病テ醫藥ヲ得サル者ノ為ニ設ル  
モノナリ政府ヨリ建ルモノアリ私ニ會社ヲ結  
テ建ルモノアリ 英國及ヒ合衆國  
ニ此法最モ多シ 私ニ建ルモノ  
ハ社中ヨリ王公貴人富商大賈ニ説テ寄附ヲ請  
ヒ病院既ニ成ル後モ尚<sup>ホ</sup>年々定タル寄附ノ金高  
ヲ集メテ長ク病院ヲ持續ス又病院ニ入ル者モ  
極貧ノ者ハ全ク費ヲ出サ、レ氏稍<sup>ヤ</sup>産アル者ハ  
貧富ニ應シテ醫療ノ費ヲ拂フ、各國ノ首府都會  
ニハ病院アラサル所ナシ ○病院ノ法ハ各國大  
同小異左ニ佛蘭西病院ノ法ヲ示ス  
巴理斯ニ病院大小十三所アリ一院附屬ノ醫師  
各八人ヨリ十五人最モ大ナル病院ニハ三十人  
アリ介抱人ハ男女兩様アリテ男子ハ病男ニ屬



シ婦人ハ病婦ニ屬ス病人五十人ニ介抱人十名  
ヲ附ルヲ定則トス又ハシト稱スル者アリコレ  
ハ老若婦人不幸ニ遇フ歟又ハ他故アルモノ神  
明ニ誓テ若干年ノ間病者ヲ扶ケント自カラ約  
シ其年期内ハ男女ノ交ヲ絶チ清潔ヲ守ルコト  
本邦ノ尼ノ如クシテ病院ニ入ル者ナリ故ニ此  
ハシハ病者ヲ介抱スルニ男女ヲ辨セス卧床ニ  
近ツクヲ妨ナシ又ハ固ヨリ自カラ好テ院  
ニ入ルモノナルカ故ニ俸金ヲ受ケス唯衣食ノ  
給アルノニ院ニ留ル時日モ定限ナク今日院ニ  
入ルトモ意ニ適セサレハ明日出ルヲ得○十三  
院各所ニ布在スト雖王宮ノ近傍ニ官ノ役所  
アリテ官ヨリ吏人ヲ置キ總病院ヲ支配ス故ニ  
都下ノ人民病院ニ行ント欲スル者ハ先ツ此役  
所ニ至リ官ノ免許ヲ受ケテ然ル後病院ニ入ル  
○病院ノ費用ハ總テ政府ヨリ出ツルヲナシ初  
メ之ヲ建ルハ都下ニ命ヲ下シ各戸ヨリ貧富  
ニ應シテ出銀セシメ其後院ヲ脩理シ或ハ病者  
ニ與フル藥品衣服ノ價及ヒ婢僕給料等ノ費ハ  
左ノ法アリテ金ヲ集ム

第一 都下ノ人各其志ニ從テ病院ニ金ヲ納ル  
「本邦ノ寺社ニ寄附スルカ如シ

第二 都下ノ芝居見セ物其外遊樂ヲ以テ利ヲ  
得ルモノハ得ル所ノ金十分ノ四ヲ病院ニ納メ  
シム

第三 貧困未タ甚シカラサレモ自家ニ醫師ヲ  
招クノカナクシテ病院ニ入ル者ニハ醫藥ノ價  
トシテ一日ニ二フランク乃至四五フランクヲ  
納メシム

第四 政府ヨリ貸附所ヲ建テ質物ヲ取ル其法  
一年ヲ期限トナシ利息六分ヲ收ム品物ヲ質入  
シタル者期限ニ至テ金ヲ償ハサレハ其物ヲ出  
シテ<sup>糶</sup>賣トナス例ヘハ初ノ質入レシタル片百  
兩ヲ貸シタル品物糶賣ニテ百三十兩トナレハ  
一年百兩ノ利息六兩ヲ引キ残り二十四兩アリ  
之ヲ病院ノ費用トス

第五 西洋諸國ニハ養子ノ法ナシ故ニ父母妻  
子ナキモノ死スレハ其家産盡ク近キ親屬ニ歸  
ス若シ親屬モナクシテ家産歸スル所ナキ片ハ  
之ヲ政府ヘ收テ病院ノ費用ニ供ス

右ハ佛蘭西病院ノ通法ナレハ海陸軍病院ノ如キハ其費用全ク政府ヨリ出ツ

貧院

一老院ト云ヒ幼院ト云ヒ之ヲ總稱スレハ貧院ナリ老幼或ハ身體不具ナル歟若シクハ虚弱ナル者貧困ニシテ活計ナキトキハ之ヲ貧院ニ入レ老人ハ終身コヽニ養ヒ幼少ノ者ハ學術技藝ヲ教ヘ年十八歳若シクハ二十歳トナリ活計ノ方ヲ知ルニ至テ之ヲ出クス或ハ中年ノ者ト雖氏貧困極ル氏ハ暫ク院ニ入テ急ヲ凌キ活計ノ方ヲ求テ再ヒ出ツル者アリ又貧人子ヲ生ミ之ヲ養育スレハ毎日職業ノ妨トナリ之カ為窮スル者ハ晝間ノミ其子ヲ院ニ預ケ置キ夜ハ家ニ連レ歸ル者アリ○貧院ノ内孤院ト稱スル院アリ貧兒ノ父母ナキ者ノミヲ集メテ養フ所ナリ又棄兒院ナルモノアリ貧人ノ子ヲ養フコト能ハサルモノ或ハ貧人ニアラスト雖氏密通シテ子ヲ生ミ之ヲ公ニスヘカラサル者ハ皆其子ヲ棄兒院ニ棄ツ西洋ニテ密通ハ固ヨリ嚴禁ナレ氏藥ヲ用テ脱胎スル者ハ其罪密通ヨリ重シ且子

ヲ棄ルトキモ固ヨリ公ニハセサレヒ子ヲ棄ル  
ヲ見テ之ヲ咎ル者ナシ院ノ戶外ニ鈴アリテ子  
ヲ棄ル者戶外ニ子ヲ置キ鈴ヲ鳴ラシテ去レハ  
院ヨリ出テ其子ヲ拾テ之ヲ棄ル者ヲ問ハス既  
ニ院ニ入レハ衣服ヲ與ヘ乳母ヲ附ク丁寧ニ養  
育シテ次第ニ成長スレハ其才ニ應シテ學術技  
藝ヲ教ヘ活計ノ方ヲ知ルニ及テ之ヲ出タス棄  
兒院ハ魯西亞ニテ最モ之ヲ重シシ院ノ費用全  
ク政府ヨリ出テ棄兒養育ノ法甚厚シ蓋シ魯西  
亞ハ土地廣ク人口少キカ故ナリ○貧院ハ政府  
ヨリ建ル者アリ又平人私ニ會社ヲ結テ建ルモ  
ノアリ龍動府中ニ貧院大小四十所アリ最大ナ  
ル院ニハ四五百人ヲ置クヘシ四十所ノ内政府  
ニ屬スルモノハ僅ニ四五ノミ政府ニ屬スル貧  
院ノ費用ハ府中ノ戸毎ニ定式家税ノ外貧院税  
ト唱ヘ余ヲ出サシム私ニ會社ヲ結テ貧院ヲ建  
ル法ハ病院ヲ建ル法ト同シ二三ノ富人相謀テ  
一貧院ヲ建ント欲スレハ其趣意ヲ述ヘ新聞紙  
ニ記シテ周ク布告シ世人ノ此社中ニ加ハラシ  
トヲ願フ世間此新聞紙ヲ讀ミ富テ仁ナルモノ

西洋事情

卷之一

三

ハ社中ニ入り毎年若干ノ金ヲ出サント約ス若シ此金ニテ初メ貧院ヲ建立スルニ足ラサレハ尚<sup>ホ</sup>又富貴ノ人ニ説テ寄附ヲ請ヒ院既ニ成レハ頭取ヲ立テ、其取締ヲナサシムコレヨリ毎年ノ費用ハ社中ヨリ出タシ又院ニ養フ者ニモ遊怠ニ日ヲ消セシメス男子ハ籠子ヲ作り繩ヲナヒ婦人ハ洗濯シノリヤスヲ作ル等相應ノ手業ヲ為サシメ其利潤ヲ以テ院ノ入用ニ供ス又貧院社中、毎年一度大ニ會食スル例アリ此會席ノ前數日新聞紙ヲ出シ某日某處ニ貧院社中ノ集會ヲ催フスヘキニ由リ何人ニテモ來テ共ニ會食スヘシト布告ス世人此新聞紙ヲ見テ志アル者ハ其會ニ行キ共ニ飲食シ各其意ニ隨ヒ多少ノ金ヲ投シテ歸ル此金モ亦一歲ノ費用トナル

啞院

啞院ハ啞人ヲ教ユル學校ナリ啞子數百人ヲ集メテ語學算術天文地理學等ヲ教授スルヲ尋常ノ學校ト異ナルナシ其法初テ院ニ入ル者ニハ指ヲ以テ「エ、ビ、シ」二十六文字ノ記號ヲ為スヲ教ユ指ノ形ヲ色々ニシテ文字ノ記號ヲ為シ又様子ハ日本人ノ拳ヲ打ツ手様ノ如シ次テ

他人ノ言フ片其唇舌齒喉ノ運動ヲ見或ハ之ヲ  
觸レ其運動ノ機ヲ效テ音聲ヲ發スルヲ學ハ  
レム既ニ音聲ヲ發スルヲ學ヘハ他人ノ言ヲ  
耳ニ聞クヲ能ハスト雖唇舌齒喉ノ動機ヲ見  
テ其語ヲ解シ共ニ談話スル得啞子ハ天性音聲  
ヲ發スル機ノ  
具ハラサルニ非ラヌ唯耳ノ不具ナルニ由テ人  
ノ言語ヲ聞キ之ニ效テ五音ヲ調和スルヲ能ハ  
サハモノナリ其證據ニハ喜笑哀哭ノ  
聲ハ啞子ト雖在常人ト異ナルヲナシ

盲院

盲院ノ法モ大抵啞院ニ同シ盲人ニ讀書ヲ教ル  
ニハ紙ニ凸ノ文字ヲ印シ地圖等ハ針ニテ紙ニ  
孔ヲ穿テ海陸ノ形ヲ畫キ指端ニテ之ヲ觸レ  
シム算術ニモ別ニ器械アリ其形ヲ算木ノ如シ  
之ヲ轉用シテ加減乘除ヨリ天文測量ノ難算ニ  
至ルマテ成ラサルモノナシ此外盲人ノ學フ事  
業ハ男女共ニ音樂ヲ勉ム又男子ノ手業ニハ機  
ヲ織リ籠子ヲ造リ婦人ハメリヤ込ヲ組ム其品  
物ハ市ニ賣テ院ノ費用ニ供ス英國ニテ盲院ニ  
入ルモノハ長幼ニ拘ハラヌ教授スルヲ六年ヲ  
限トス此年限中ニ學術大抵成業ニ及ヘトモ貧  
ニシテ活計ナキ者ハ尚院内ニ留テ養ハルヲ

許ス但シ年限ヨリ長ク養ハル、モノハ手業ヲ  
 勤メサルヲ得ス○盲院ニ他ノ諸院ノ如ク富メ  
 ル者ハ學費ヲ拂ヘトモ貧シキ者ハ之ヲ出タサ  
 スシテ院ニ入ルヘシ

癲院

一癲院ハ發狂セル者ヲ養ヒ治療スル病院ナリ患  
 者一人毎ニ一室ヲ與ヘ病症ノ輕キ者ハ晝間室  
 ヨリ出シ院内ヲ歩行シ或ハ庭園ニ遊テ花ヲ採  
 リ或ハ歌舞シ鞠ヲ玩ヒ或ハ繪ヲ畫ク者アリ或  
 ハ音樂スル者アリ院内殊ニ清楚ニシテ他諸院  
 ト異ナリ諸處ニ小禽ヲ飼ヒ金魚ヲ養ヒ鉢物ヲ  
 置ク等總テ閑靜幽微ノ風致ヲ設ケテ人意ヲ樂  
 マシムルヲ主トス此院ハ發狂人ヲ療治スルノ  
 ミニ非ラス或ハ狂心ニテ人ヲ殺シ或ハ火ヲ放  
 テ家ヲ燒ケル者等皆此院ニ入ル但シ狂心ニテ  
 モ死罪ヲ犯シタル者ハ其病平癒ノ後モ外ニ出  
 タサスシテ癲院内ニ身ヲ終ラシム壬戌ノ夏余  
 カ龍動ノ癲院ニ行キシ片モ此類ノ狂人三名ヲ  
 見タリ一人ハ國王ヲ弒セントシ一人ハ其父ヲ  
 殺シ一婦人アリ自カラ三子ヲ殺セリト云フ

痴兒院

一 痴兒院ハ兒童ノ天稟智惠ナキモノヲ教ユル學  
 校ナリ讀書算術等ヲ教ユルモ尋常ノ學校ト同  
 シカラス書ハ皆大文字ヲ用ユ語ヲ教ユルニモ  
 繪ニ由テ解サシム例ヘハ犬ト云フ字ヲ教ユル  
 ニハ犬ノ繪ヲ画キ買ト云フ語ヲ教ユルニハ物  
 ヲ買フ模様ヲ画キ繪ノ傍ニ其語ヲ附シ幾度モ  
 之ヲ讀テ漸ク解サシメ遂ニ讀書ニ導ク算術ヲ  
 教ユルモ初ハ形ヲ以テス種々ノ器アレト今  
 其一ヲ擧ク教師小丸數個ヲ持チ二個ヲ出シテ

衆痴兒ニ示シ此丸ハ幾個アルヤト問フ答曰二  
 個又二個ヲ加ヘ幾個ナルヤト問フ答曰四個又  
 問フ此四個ニ三個ヲ加ヘテ幾個トナルヤ三個  
 ヲ加ヘテ一個ヲ引ケハ幾個トナルヤ此總數ヲ  
 ニツニ分テハ幾個ナルヤト一問一答次第ニ教導  
 シテ遂ニハ物ノ數ヲ知リ筆算ヲモナシ得ルニ  
 至ル讀書算術ノ外本邦ノ智惠ノ輪、智惠ノ板ノ  
 類ヲ玩テ工夫ヲ用ルヲ教ユ智惠ノ板ノ最モ  
 簡約ナルモノハ廣キ版ニ方圓屈曲ノ穴ヲ穿チ  
 此穴ニ符合スル小板ヲ作テ之ヲ穴ニ拮ノ方圓



屈曲ヲ分ツ工夫ヲナサシム此外女子ニハ歌舞  
ヲ教ヘ男子ニハ樹ニ攀リ梯子ニ登リ或ハ調練  
ノ真似ヲナサシメ身體ヲ強壯ニス○此學校ア  
ル國ハ現今只佛蘭西、荷蘭、普魯士ノミニテ他國  
ニハ未タ之ヲ建テスト云フ

博物館

一博物館ハ世界中ノ物産古物珍物ヲ集メテ人ニ  
示シ見聞ヲ博クスル為ニ設ルモノナリ「ミ子ラ  
ロジカル、ミヂエムト云ヘルハ礦品ヲ集ムル館  
ナリ」凡世界中金石ノ種類ハ盡ク之ヲ集メ各其  
名ヲ記ルシテ人ニ示ス「ゾーロジカル、ミヂエム  
ト云ヘルハ禽獸魚蟲ノ種類ヲ集ムル所ナリ」禽  
獸ハ皮ヲ取り皮中ニ物ヲ填テ其形チヲ保チ魚  
蟲ハ藥品ヲ用テ其儘干シ固ク之ヲ皆生物ヲ見ル  
カ如シ小魚蟲ハ火酒ニ浸セルモノモアリ○又  
動物園植物園ナルモノナリ動物園ニハ生ナカ  
ラ禽獸魚蟲ヲ養ヘリ獅子犀象虎豹熊罷狐狸猿  
兔駝鳥鷲鷹鶴雁燕雀大蛇蝦蟇總テ世界中ノ珍  
禽奇獸皆此園内ニアラサルモノナシ之ヲ養フ  
ニハ各其性ニ從テ食物ヲ與ヘ寒温濕燥ノ備ヲ

ナス海魚モ玻璃器ニ入、時々新鮮ノ海水ヲ與  
ヘテ生ナカラ貯ヘリ植物園ニモ全世界ノ樹木  
草花水草ノ種類ヲ植ヘ暖國ノ草木ヲ養フニハ  
大ナル玻璃室ヲ造リ内ニ鉄管ヲ横クヘ管内ニ  
蒸氣ヲ通シテ温ヲ取ル故ニ此玻璃室内ハ嚴冬  
モ常ニ八十度以上ノ温氣アリテ熱帶諸國ノ草  
木ニテモヨク繁殖ス○ノヂカル、ミ、ヂエムトハ  
專ラ醫術ニ屬スル博物館ニテク體ヲ解剖シテ  
或ハ骸骨ヲ集メ或ハ胎子ヲ取リ或ハ異病ニテ  
一スル者アレハ其病ノ部ヲ切取り經驗ヲ遺シ  
テ後日ノ為ニス此博物館ハ多ク病院ノ内ニア  
リ

博覽會

前条ノ如ク各國ニ博物館ヲ設ケテ古來世界中  
ノ物品ヲ集ムト雖凡諸邦ノ技藝工作日ニ關ケ  
諸般ノ發明随テ出随テ新ナリ之カ為昔年ハ稀  
有ノ珍器ト貴重セシモノモ方今ニ至テハ陳腐  
ニ屬シ昨日ノ利器ハ今日ノ長物トナル間少  
ナカラス故ニ西洋ノ大都會ニハ數年毎ニ產物  
ノ大會ヲ設ケ世界中ニ布告シテ各其國ノ名產

便利ノ器械、古物奇品ヲ集メ萬國ノ人ニ示ス  
 アリ之ヲ博覽會ト稱ス凡、當時世ニ行ハル、諸  
 種ノ蒸氣機關、エニキトル越列機、ガルハニ瓦兒華ノ器械、火器、時計、龍  
 吐水、農具、馬具、臺場軍艦家作等ノ雛形衣服冠履  
 文房具、化粧道具、古代ノ名器、書画等一々枚舉ス  
 ルニ遑アラズ之ヲ概スレハ人間衣食住ノ需用、  
 備ハラサルモノナシト云テ可ナリ斯ク千萬種  
 ノ品物ヲ一大厦ノ内ニ排列シテ五六月ノ間、諸  
 人ノ展觀ニ供シ器品ノ功用ハ各、其主人アリテ  
 之ヲ辨解ス諸人之ヲ觀テ買ハント欲スレハ直  
 ニ博覽場ノ物ハ得ヘカラサレ凡之ヲ産シ之ヲ  
 製スル所ヨリ定價ヲ以テ買取ルヘシ又博覽會  
 ノ終ニ至レハ會ニ出シタル品物モ入札ノ賣買  
 アリ○都會ニ博覽場ヲ開ク間ハ諸邦ノ人皆是  
 ニ輻湊シテ一時都下ノ繁昌ヲ致ス千八百六十  
 二年龍動ニ博覽場ヲ設ケ毎日場ニ入ルモノ四  
 五萬人ニ下ラス來卯年ハ佛蘭西ノ巴理○博覽  
 會ハ元、相教ヘ相學フノ趣意ニテ互ニ他ノ所長  
 ヲ取テ己ノ利トナス之ヲ譬ヘハ智力工夫ノ交  
 易ヲ行フカ如シ又各國古今ノ品物ヲ見レハ其

國ノ沿革風俗、人物ノ智愚ヲモ察知ス可キカ故  
ニ愚者ハ自カラ勵ミ智者ハ自カラ戒メ以テ世  
ノ文明ヲ助クルト少ナカラスト云フ

蒸氣機關

一 蒸氣トハ湯氣ナリ湯氣ニカアルトハ鍋釜鉄瓶  
ニ湯ヲ沸カシテ其蓋ヲ吹上ルヲ見テ知ルヘシ  
今一合ノ水ヲ沸騰セシメ次第ニ火力ヲ強クシ  
テ其水全ク蒸發シ盡クルニ至レハ一石七斗ノ  
蒸氣トナル即チ七百倍ノ容ナリ蒸氣機關トハ  
斯ク非常ニ膨脹スル蒸氣ヲ捕ヘテ密器中ニ封

シ其發カヲ藉リテ機關ヲ動カスモノナリ其大  
略、密閉シタル釜ニ石炭ヲ以テ湯ヲ沸カシ其蒸  
氣ヲ細キ管ヨリシリンドルト云ヘル筒ニ移ス  
此筒ハ水鉄砲ノ如キ仕掛ケニテ筒ノ内ニ符合  
スル鏢アリ鏢ニ心棒ヲ付ケテ心棒ハ筒ノ外ニ  
出テ鏢ハ筒ノ内ヲ彼此ニ進退スヘシ蒸氣膨脹  
ノカヲ以テ筒内ノ鏢ヲ壓シ一進一退其カヲ心  
棒ニ傳ヘテ機關運轉ノ元トナル既ニ心棒ノ運  
動ヲ起セハ種々ノ仕掛ケニテ次第ニカヲ移シ  
上下左右進退圓轉、意ノ如クナラサルトナシ○

蒸氣機關ノカハ「シリンドル」ノ大小ニ由テ強弱アリ此強弱ヲ馬ノ力ニ擬ヘテ計算ス所謂蒸氣ノ馬力ナリ一馬力トハ三萬三千「ポント」ノ重サヲ一分時間ニ一「フート」ノ高ニ舉ルカヲ云フ○西洋ニテモ往昔ハ物ヲ製スルニ皆人カヲ用ユル「本邦及ヒ支那等ニ異ナル」ナカリシニ千七百二十年「日耳曼」ノ人「レオボルド」蒸氣ヲ以テ人カニ代ントスルノ説ヲ起シ次テ千七百六十九年ヨリ千七百八十五年ニ至ルマテノ間ニ英國人「ワット」初テ蒸氣機關ヲ大成シ爾後英亞諸國ニテ益、工夫ヲ用ヒ其装置ヲ改正シ其用法ヲ廣クシ「ル川」ヲ浚ヘ、水ヲ汲干シ、田地ヲ耕シ、山ヲ堀リ、銅鉄ノ荒金ヲ製鍊シ、材木ヲ鋸リ、金物ヲ製シ、木具ヲ造リ、毛綿ヲ紡績シ、機ヲ織リ、紙ヲ製シ、版ヲ摺リ、砂糖ヲ造リ、麥粉ヲ磨ル等大小ノ工作皆蒸氣ヲ用ヒサルモノナシ職人ハ唯機關ノ運轉ニ注意スルノミニテ嘗テ手足ヲ勞セス一人ノ力ヲ以テ數百人ノエヲ成シ其費冗ハ少クシテ其製作ハ美ナリ蒸氣機關一「度」ニ行ハレテヨリ世界中之カ為ニ工作貿易ノ風ヲ一變セリト

云フ

蒸氣船

蒸氣船ハ亞米利加合衆國ノ發明ナリ千七百八十年ノ頃ヨリエ夫ヲ始メタレ<sub>ニ</sub>屢失錯シテ功ヲ成サス千八百七年<sub>ニ</sub>ニューヨルク<sub>ノ</sub>合衆國ノ都府<sub>ノ</sub>ブルト<sub>ン</sub>ナル者百二十馬力ノ蒸氣船ヲ造テ初テ大成シ之ヲ試ミシニ三十二時ノ間二百二十里ヲ走レリ之ヲ蒸氣船ノ初トスコレヨリ其用法漸ク世ニ弘マリ初メハ川船及ヒ内海ノ渡船ニ用ヒ次第ニ之ヲ改正シテ遂ニ軍艦商船飛脚船ト爲シ萬里ノ大洋ヲ往來シテ暴風激浪ノ難ヲ凌キ攻防ノ勢力ヲ強クシ貿易ノ便利ヲ増シ航海者ノ勇氣昔時ニ百陪セリ○蒸氣船ニ用ユル機關モ其大略ハ陸上ノ工場ニ用ユルモノト異ナル<sub>ト</sub>ナシ船腹ニ機關ヲ据ヘ船ノ兩側ニ輪ヲ附ケトナシ船腹ニ機關ヲ据ヘ船ノ兩側ニ輪ヲ附ケ此輪ヲ轉回シテ船ヲ進ム之ヲ兩輪ノ蒸氣船ト云フ蒸氣ヲ焚ク石炭ノ煙ハ甲板上ニ突出セル煙出シヨリ散ス○兩輪船ハ風浪ニ由テ船ノ傾ク<sub>ク</sub>一方ノ輪水ヲ離レテ船行ヲ妨クル<sub>ル</sub>アル

西洋事情 卷之一 四十一

ヲ以テ又エ夫ヲ運ラシ機關ヨリ船ノ軸ニ達ス  
ルマテ大ナル鐵ノ心棒ヲ通シ棒ノ端ニ羽根ヲ  
附ケ楫ト軸トノ間ニテ之ヲ轉回セシメ兩輪ノ  
代用トナスヲ發明セリ此羽根ハ元螺旋ノ道  
理ニ基テ造リタルモノニテ其形チ兒竟ノ玩具  
ニ用ユル蜻蛉ノ如シ故ニ之ヲ螺旋仕掛ケノ蒸  
氣船ト云フ大洋ヲ航ルニハ螺旋仕掛ノ便利  
ナルヲ以テ近來ハ兩輪船ヲ造ルモノ少シ○蒸  
氣船ノ進行ハ機關ノ大小ニ由テ遲速アリ大九  
一晝夜ニ百二三十里乃至三百四五十里ヲ走ル  
其最モ輕便ナルモノハ飛脚船ナリ飛脚船ハ人  
ノ商賣品ヲ積ミ旅客ヲ乗セテ諸處ニ往來ス大  
抵帆前ヲ用ヒス蒸氣ノミニテ走り、風ノ順逆ニ  
拘ラス着發必ス日ヲ限ル歐羅巴ヨリ日本支那  
等ノ間ニ往來スルモノハ英佛商社ノ船ニテ往  
來ノ間諸處ノ港ニ寄テ船ヲ替へ宿次キニテ彼  
此ニ達ス日限ヲ誤ルナシ大抵日本ヨリ歐羅  
巴ノ地へハ海路六十日ニテ達スヘシ

蒸氣車

一蒸氣車トハ蒸氣機關ノ力ヲ藉リテ走ル車ナリ

車一輛ニ蒸氣ヲ仕掛ケ之ヲ機關車ト名ク機關  
 車一輛ヲ以テ他ノ車二十輛乃至三四十輛ヲ引  
 クヘシ一輛ノ車ニ人数其製作重大堅牢、四個ノ  
 鉄輪ニテ走ルカ故ニ尋常ノ道ヲ行クヘカラス  
 必ス之カ為道ヲ平ニシ車輪ノ當ル所ニ巾二寸  
 厚、四寸許ノ鉄線二條ヲ填メテ常ニ此上ヲ往来  
 ス之ヲ鉄道ト云フ 鉄道ヲ作ル費ハ地形ノ險易  
 シテ日本ノ里法一里ニ由テ同シカラス大九平均  
 ニ萬七八千兩ナリト云フ 鉄輪ヲ以テ鉄道ヲ  
 走ル車重大ナリト雖、凡之ヲ動カス其容易ナ  
 リ、此車ヲ蒸氣カニテ引クカ故ニ其迅速ナルヲ

蒸氣船ノ比類ニ非ラス文久壬戌ノ秋余輩魯西  
 亞ノ彼得堡ヨリ佛蘭西ノ巴理斯ニ至ル其道  
 程日本ノ里法ニテ七百五十里余アリ此道ヲ三  
 十一時ノ間ニ走レリ休息ノ時刻此蒸氣車ハ甚  
 疾キモノニアラス英國ニテ最モ急行ノ車ハ一  
 時ニ五十里余ヲ走ル○蒸氣車ノ發明モ大抵蒸  
 氣船ト同時代ナリ但シ之ヲ實地ニ用ヒタルハ  
 蒸氣船ヨリモ晚シ千七百八十四年井ルレム、ム  
 ルドク初テ蒸氣車ヲ製シタル氏輕小ノ玩具ノ  
 ニ爾後二十年ノ間之ヲ改正スルモノナク十八



百二年ニ至テリチャルド、トレス、カク、機關ノ工夫  
 ヲ大成シタレ、氏尚<sup>ホ</sup>之ヲ實用ニ施サス千八百十  
 二年英國人「ジョージ・ステュンソン」蒸氣車ヲ造テ  
 石炭ヲ運送セリ之ヲ蒸氣車ノ初トス但シ未タ  
 鉄道ヲラス千八百二十五年同人ノ工夫ニテ「トックト」  
 シヨリ「ダールリント」ノ間ニ鉄道ヲ造レ  
 リ日本ノ里法ニテ即<sup>チ</sup>世界中第一着ノ鉄道ナリ  
 コレヨリ歐羅巴諸國及ヒ亞米利加ニテ皆其法  
 ニ效ヒ國內縱横ニ鉄道ヲ作り車ヲ製スル一  
 年ハ一年ヨリ多シ旅客ヲ乗セ荷物ヲ運送シ東  
 西ニ驅セ南北ニ走ル恰モ是レ陸路ノ良舟千里  
 ヲ遠シトスルニ足ラス蒸氣車ノ法世ニ行ハレ  
 テヨリ以來、各地產物ノ有無ヲ交易シテ物價平  
 均シ、都鄙ノ往來ヲ便利ニシテ人情相通シ世間  
 ノ交際俄ニ一新セリ西人云フ近來ハ西洋諸國  
 ノ人、旅中ニテ父母妻子ノ病ヲ聞キ遠路ノ故ヲ  
 以テ其死期ニ及ハサル等ノ如キ迂遠ノ談ヲ聞  
 カスト

傳信機

傳信機トハ越<sup>エ</sup>列<sup>レ</sup>機<sup>キ</sup>篤<sup>ト</sup>兒<sup>ル</sup>ノ氣力ヲ以テ遠方ニ音

信ヲ傳フルモノヲ云フ越列機篤児ノ力ハ古來  
 支那人ノ全ク知ラサル所ニテ自カラ本邦人ノ  
 耳目ニモ慣レス之ヲ簡約ニ辨明スル<sub>ト</sub>甚難シ  
 故ニ今コヽニハ越力ノ性質ヲ論セスシテ唯其  
 作用ノ大略ヲ記ルス<sub>ニ</sub>鍛鉄ニ越列機篤ノ氣  
 カヲ通スレハ其鍛鉄磁石カヲ起シテ他ノ鉄片  
 ヲ引ク氣力ノ流通ヲ絶テハ之ヲ放ツ傳信機ハ  
 此理ニ基テ製シタルモノナリ此所ニ越列機篤  
 兒ノ仕掛ヲ置キ彼所ニ鍛鉄ノ仕掛ヲ設ケテ此  
 彼ノ間ニ銅線ヲ張り此線ヨリ越氣ヲ通スレハ  
 距離ノ遠近ニ拘ハラス其氣忽チ鍛鉄ニ感シテ  
 他ノ鉄片ヲ引ク随テ其氣力ノ流通ヲ絶テハ乃  
 チ復タ之ヲ放ツ斯ノ如クシテ一通一絶隨意ニ  
 鉄片ノ運動ヲ起スヘシ既ニ鉄片ノ運動ヲ得レ  
 ハ其動機ヲ針端ニ傳ヘテ紙ニイ、只、ハ、ノ記號ヲ  
 印シ之ニ由テ音信ヲ通スヘシ其神速イル<sub>ト</sub>千  
 萬里ト雖<sub>レ</sub>一瞬ニ達ス各處ニ線ヲ通スルニハ  
 其道筋三四十間毎ニ柱ヲ立テ高<sup>サ</sup>八九尺ノ所ニ  
 線ヲ掛ク水底ニ沈ルモノハ線ノ外面ヲ覆テ水  
 ヲ防ク  
線ヲ通スル費日本ノ一里ニ付キ陸上ノ  
 モノハ九、三百兩水底ニ通スルモノハ四

千 現今西洋諸國ニハ海陸縱横ニ線ヲ張ル<sub>レ</sub> 恰  
 兩 蜘蛛ノ網ノ如シ互ニ新聞ヲ報シ緊要ノ消息  
 ヲ通シ千里外ノ人ト對話スヘシ公私ノ便ヲ十  
 ス<sub>レ</sub> 擧テ言フヘカラス西洋人ノ諺ニ傳信機ノ  
 發明ヲ以テ世界ヲ狹クセリト云フモ亦溢言ニ  
 非ラス○西洋ニテ急報ノ法往昔ハ唯相圖ヲ以  
 テ事變ヲ報スルノミナリシカ千六百年代ノ初  
 ヨリ其相圖ニテ事ノ次第ヲ告クヘキ仕掛ヲ設  
 ケテ高キ所ニ番所ヲ建テ望遠鏡ヲ以テ互ニ相  
 圖ヲ見テ次第ニ遠方ニ報告スル<sub>レ</sub> ヲ發明シ千  
 七百年代ノ末ニ至テハ此法益精巧トナリ諸國  
 一般ニ之ヲ用ヒタリ越列機篤兒ノ力ヲ傳信ニ  
 用ユルハ千七百七十四年佛蘭西人<sub>レ</sub> ヲサジノエ  
 夫ナリ此人初テ其仕掛ヲ製シ爾後越列機篤兒  
 ノ學次第ニ開ク随テ傳信機ヲモ改正シタレ<sub>レ</sub> 氏  
 之ヲ大仕掛ニシテ實用ニ施ス<sub>レ</sub> ヲ知ラス千八  
 百二十七年亞米利加ノ人<sub>レ</sub> モールス五年ノ試験  
 ニ由テ大ニ發明シ之ヲ實地ニ試ントス<sub>レ</sub> 氏貧  
 ニシテ資ナシ乃<sub>チ</sub> 合衆國ノ政府ニ願ヒ三萬<sub>ドル</sub>  
 ラ<sub>レ</sub> ヲ得テ千八百四十四年華盛頓<sub>府</sub> 合衆國  
 ノ首府ヨ

リバルチモール府マテ十七八里ノ間ニ線ヲ通シ兩府ノ消息ヲ報シタリ之ヲ世界中傳信線ノ初トス水底ノ傳信線ハ千八百五十一年英國ノ  
ドール 英國南岸 ヨリ佛蘭西ノ海岸ニ通スルモノヲ初トス爾後此法ニ效テ諸處ノ海底ニ線ヲ沈メ千八百五十八年ニハ亞多喇海ヲ横キリ亞米利加ト英國トノ間ニ線ヲ通シタリ其長日本ノ里數ニテ殆ント千里ニ近シ但シ此傳信線ハ成功ノ後錯テ其働ヲナサス由テ之ヲ廢シ近日再興ヲ企ツト云フ

瓦斯燈

一 石炭ヲ釜ノ内ニ密閉シテ之ヲ蒸燒キニスレハ炭ノ氣ヲ發ス此氣ハ炭化水素瓦斯ト云フモノニテ之ニ火ヲ點スレハ空氣ト合シテ燃ヘ其光油、蠟燭ノ火ヨリモ明ナリ千七百九十八年英國ニ於テ初テ瓦斯燈ヲ用ユルヲエ夫シ爾後其用法漸シ盛大ニ及ヒ各國ノ人、商社ヲ結テ瓦斯ヲ製シ之ヲ市中ニ賣ル其仕掛ノ大略大ナル釜ニ石炭ヲ燒テ瓦斯ヲ集メ街道ノ地下ニ鉄管ヲ埋メテ其瓦斯ヲ受ケ管ヲ以テ管ニ接シ市中綴

横ニ通達スルコト本邦ノ水道ノ如シ此鉄管ヨリ  
小管ヲ枝別シテ市中ノ戸毎ニ引キ火ヲ點シテ  
燈トナス又街道及ヒ橋上ノ處々ニ瓦斯ノ燈臺  
ヲ設ケテ往来ヲ照ラシ光明晝ノ如シ方今西洋  
諸國ニハ燭ヲ携テ夜行スルモノナシ

附録

西洋ニテハ大陽曆ヲ用ヒ平年三百六十五日ト  
定ム故ニ數年ヲ經ル間ニハ我邦ノ月日ト一月  
モ違フコトアリ或ハ正シク双方ノ月日相符合ス  
ルコトアリ何レモ我邦閏月ノ有無ニ由テ然ルナ  
リ

一 晝夜ハ二十四時ニ分チ子午ヲ第十二時トシ  
復タ第一時ニ返ル故ニ西洋ノ一時ハ我半時ナ  
リ時ノ順序左ノ如シ

- 第一時 我九時 第二時 我八時 第三時 我八時半 第四時 我七時
- 第五時 我七時半 第六時 我六時 第七時 我六時半 第八時 我五時
- 第九時 我五時半 第十時 我四時 第十一時 我四時半 第十二時 我三時半

一時ヲ六十分チ之ヲ一分時ト云ヒ一分時テ  
六十分チ之ヲ一秒時ト云フ一秒時ハ大抵脈  
三三三

ノ一動ニ同シ

一物ノ大數ヲ記ルスニ億ト云ヒ兆ト云ヒ諸說一定セス今此書中ニアル物數ハ一、十、百、千、萬、十萬、百萬、千萬、一億、十億、百億ト十陪ツ、ニテ次第ニ計ヘ上ルナリ

一寒暖ニ幾度々ト云フモノハ水ノ凍ル寒ヲ三十二度トシ湯ノ沸騰スル熱ヲ二百十二度ト定メ其間ノ度數ニテ寒暖ヲ計ルナリ大抵春秋ノ氣候ハ五六十度夏ノ暑ハ八十度以上百度トナルトハ稀ナリ

一英亞ノ一「ブ」トハ我一尺強ニ當リ一「イ」ン「チ」ハ「フ」ト十二分ノ一ニテ八分三釐強ニ當ル  
同陸ノ一里ハ我十四町四十三間弱ニ當ル  
同海ノ一里ハ我十六町五十七間強ニ當ル  
一佛蘭西ノ一「メ」トハ我三尺三寸弱ニ當ル  
一英亞ノ一「ポ」トハ我百二十一匁強ニ當ル  
同一「ト」シハ我二百七十一貫目強ニ當ル即チ米六石七斗七升余ノ重ナリ  
一合衆國ノ一「ド」ルラハ我三步ニ當ル方今我邦ノ貿易場ニ行ハル「ド」ルラモ大抵合衆國ノ

ドルラルト同量ナリ此ドルラルトハ合衆國ノ鄰國メキシコノ通用金ナリ

同一セントハドルラルト百分ノ一ナリ

一荷蘭ノ一ギルデンハ我十八匁ニ當ル金一兩六十分ノ相

場

一英國ノ一ポントステルリング書中ニ唯ポント記スハ我

三兩ニ當ル

同一シルリングハ我九匁ニ當ル

同一マンズハ我七分五釐ニ當ル

佛蘭西ノ一フランクハ我八匁ニ當ル

同一シューズハ我四分ニ當ル

一通用金ノ割合ハ時ノ相場ニ由テ一定セス前条記ルス所ハ唯其大概ナリ

一 本編ハ專ラ英亞ノ書ヲ翻譯セルカ故ニ度量皆

兩國ノ制ヲ用ニ遇他國ノ度量ヲ舉ル氏ハ其下

ニ割註ヲ附シテ之ヲ區別ス各國度量ノ比例ハ

西洋度量考ト云ヘル刊行ノ書アリ就テ見ルヘ

シ

西洋事情卷之一終  
西洋事情卷之二

福澤諭吉

纂輯

亞米利加合衆國

史記

千四百九十二年<sup>イヌバ</sup>西班牙ノ船將<sup>コロンブス</sup>閣羅亞米利加國ヲ  
發見セシヨリ爾後歐羅巴各國ノ政府並ニ商社其  
轍ニ效ヒ爭テ船艦ヲ遣リ諸方ヲ探索シテ便利ナ  
ル地方ヲ發見スレハ隨テ人民ヲ移シ其地ヲ本國  
ノ所領トナセリ千七百六十年ノ頃今ノ合衆國ノ  
地英國ノ所轄ニ屬スルモ十三州アリ千七百六

西洋事情 卷之一



十五年英國議事院ノ定議ニテ九十三州ノ内ニ用  
 ニル物品ハ盡ク其證印稅ヲ取ルヘシト法令ヲ下  
 シタリ此法令ハ各州ノ服セサル所ニテ速ニ廢シ  
 タレ其後又種々苛刻ノ法ヲ立テ、收斂シ州民  
 之ニ堪ヘスシテ屢愁訴スレ其用イラレス失望ノ  
 餘リ州内一般ノ利益ヲ謀ルトテ各州ヨリ人物ヲ  
 推舉シテ千七百七十四年第九月四日「スレデル」  
 ヤニ會同シ種々商議ヲ盡シテ英國政府ノ公平ナ  
 ル處置ヲ得ント願訴シタレ其更ニ之ヲ聽カス却  
 テ益暴威ヲ張り且政府ノ法令ヲ拒ムモノハ威力  
 ヲ以テ之ヲ壓伏スヘシトテ本國ヨリ兵ヲ送リタ  
 リ此勢ニテ州民政府ノ命ニ背ケハ戦ハサルヲ得  
 ス命ニ從ヘハ苛刻ノ法ニ束縛サレテ終身奴隸ト  
 為ラサルヲ得ス戦和ノ兩議且夕ニ迫リタレ其  
 心ノ向フ所遂ニ戰議ニ決シテ竊ニ「コンコルド」  
 武器ヲ集メリ于時千七百七十五年第四月ナリ英  
 國ノ將軍「ゲージ」之ヲ聞キ同月十九日指揮官「ヒ  
 ケー」ルンヲシテ一隊ノ兵ヲ卒ヒテ「コンコルド」  
 向ハシメシニ途中「レキシントン」ニ於テ武器ヲ携  
 へタル者ヲ見タリ依テ命ヲ下シ其武器ヲ置カシ

ノントシタレハ聽カス乃チ之ニ放發シテ數人ヲ  
 殺シ又コルドニテモ戰鬪シテ双方死傷多シ  
 之ヲ血戰ノ初トシ遂ニ數年ノ騷乱ニ及ヘリ○コ  
 ノ日未タ暮レス迄傍ノ寺院ニテ一時ニ鐘ヲ鳴  
 ラシ此合圖ニ從テ衆民皆武器ヲ携ヘボースト  
 ニ集マルモノ百ヲ以テ計フ第六月十七日ブンケ  
 ル山ノ戰ハ亞米利加人千五百人英ノ兵三千人ト  
 接戰シ三度ハ敵ヲ退ケタレハ遂ニ我兵利ナクシ  
 テチャルストニ引キタリ此時ニ我勇將クルレン  
 戰死セリ總計亞人ノ戰死四百五十人英人ヲ殺ス  
 千餘ナリブンケル山ノ戰爭後華盛頓ヲ推シ  
 テ總督將軍ト為シボーストニ會同セル議事官  
 並ニ兵卒ヲ名ケテ大州ノ軍勢ト稱セリ第七月一  
 日ヨリ華盛頓惣軍ノ指揮ヲ司リ先ツボースト  
 ニ赴キ翌年第三月英國ノ將軍ホーウガボースト  
 ニ去テヨリ其近傍ニ敵國ノ兵ナシ○レキシ  
 トン及ヒブンケル山ノ合戰ニテ人心益々意ヲ決シ  
 テ防戰セントシ遇千七百七十六年ノ春英國王ヨ  
 リ命ヲ下シ亞米利加人ヲ征スルニ付テハ劇烈ノ  
 カヲ盡シテ之ヲ制壓スヘントノ報告アリシヨリ

諸州一般之奮激シテ合衆獨立ノ意ヲ生シ第六  
 月九日會同協議シテ合衆諸州ハ固ヨリ獨立スル  
 ノ理ヲ以テ獨立シ、英國ト交ヲ絶チ、英國ノ支配ヲ  
 受ケス、固ヨリ之ト離別スルノ理ヲ以テ之ト離別  
 スルトノ大論ヲ發シ次テ獨立ノ檄文ヲ作ルタメ  
 ゼツェルソン<sup>アダムス</sup> フラレキリン<sup>シエルマレ</sup> ライ  
 井ントンノ五人ヲ推テ作文ノ職ニ任シ第六月二  
 十八日<sup>ゼツェルソン</sup> 草稿ヲ起シテ之ヲ評議所ニ出  
 シ第七月一日マテ机上ニ置キ五名ノ人ニテ増補  
 刪正シテ其文ヲ定メ各州ノ名代人ニ示セシニ之  
 ニ同意スルモノ九州之ヲ拒ムモノ二州アリ依テ  
 又衆人一般ニ商議シタレバ獨立ノ議ニ左祖スル  
 モノ多ク加之第七月四日ニ至テ諸方ヨリ獨立ノ  
 論ヲ唱フルモノ蜂起雲集シ遂ニ十三州同意一定  
 シテ獨立不羈ノ國ト稱シ爾後益兵ヲ募リ英ノ兵  
 ト戰テ互ニ勝敗アリ又千七百七十八年第二月佛  
 蘭西ト條約ヲ結テヨリ防戰ノ助力ヲ得タリ○騷  
 乱ノ初ヨリ七年ノ間二十九戰シ或ハ勝チ或ハ敗  
 シ千七百八十一年<sup>ヨークタウン</sup> ノ一戰ヲ以テ事  
 ヲ終レリ此戰ハ第十月十九日華盛頓一萬六千ノ

兵ヲ指揮シ英國ノ將軍コルンワリストト接戦シテ  
 大ニ勝テ敵兵五百五十人ヲ殺傷シ七千二百四十  
 七人ヲ生捕リコルンワリスモ降参シタリ此ヨリ  
 英軍カヲ失テ遂ニ和睦ヲ議シ千七百八十三年第  
 一月二十日仮條約ヲ結ビ翌年第九月三日本條約  
 ヲ取り替シ合衆國ノ不羈獨立ヲ周ク布告シタリ  
 千七百七十六年第七月四日亞米利加  
 十三州獨立ノ檄文

人生已ムヲ得サルノ時運ニテ一族ノ人民他國  
 ノ政治ヲ離レ物理天道ノ自然ニ從テ世界中ノ  
 萬國ト同列シ別ニ一國ヲ建ルノ時ニ至テハ其  
 建國スル所以ノ原因ヲ述ヘ人心ヲ察シテ之ニ  
 布告セサルヲ得ス

天ノ人ヲ生スルハ億兆皆同一轍ニテ之ニ附與  
 スルニ動カス可カラサルノ通義ヲ以テス即チ其  
 通義トハ人ノ自カラ生命ヲ保シ自由ヲ求メ幸  
 福ヲ祈ルノ類ニテ他ヨリ之ヲ如何トモス可ラ  
 サルモノナリ人間ニ政府ヲ立ル所以ハ此通義  
 ヲ固クスル夕メノ趣旨ニテ政府ヲランモノハ  
 其臣民ニ満足ヲ得セシメ初テ眞ニ權威アルト

云フヘシ政府ノ處置此趣旨ニ戾ル片ハ則チ之ヲ  
 變革シ或ハ之ヲ倒シテ更ニ此大趣旨ニ基キ人  
 ノ安全幸福ヲ保ツヘキ新政府ヲ立ルモ亦人民  
 ノ通義ナリ是レ余輩ノ辨論ヲ俟タスシテ明了ナ  
 ルヘシ○因循姑息ノ意ヲ以テ考フレハ舊來ノ  
 政府ハ一旦輕卒ノ舉動ニテ變シ難シト思フヘ  
 シ然レモ同一ノ人民ヲ目的ト爲ンテ強奪ヲ恣  
 ニシ惡俗ヲ改メシメスンハ遂ニハ自主自裁ノ  
 特權ヲ以テ國內ヲ惱マヌニ至ルヘシ故ニ斯ノ  
 如キ政府ヲ廢却シテ後來ノ安全ヲ固クスルハ  
 人ノ通義ナリ亦人ノ職掌ナリ○方今我諸州正  
 シク此ノ難ニ羅レルカ故ニ政府舊來ノ法ヲ變  
 革スルハ諸州一般止ムヲ得サルノ急務ナリ英  
 國王ノ行ヒヲ論スレハ不仁慘酷ノ他ニ記スヘ  
 キモノナク專ラ暴政ヲ以テ我諸州ヲ抑壓セリ  
 今其事實ヲ枚擧シ之ヲ世界ニ布告シテ其明論  
 ヲ待ツヘシ

英國王世上一般ノ利益ノ夕メ夕ク可ヲサルノ  
 良法ヲ採用セス○急要ノ事件指起ル片其土地  
 ノ奉行ニテ法ヲ立ントスルモ英國王。之ヲ禁シ

テ王ノ免許ヲ得ルニ非サレハ之ヲ施行セシメ  
 ス知之斯ク其施行ヲ禁シ王ハ自カラ之ヲ忘却  
 シテ意ヲ用ユルヲナシ○英國王州内一般ニ的  
 當セル法令ヲ施スヲ拒ミ其人民ヲシテ國法  
 ヲ會議セシムルノ通義ヲ破レリ此通義ハ人民  
 ニ於テハ甚ク貴重ニシテ暴政ヲ行ハントスル  
 者ノ恐ル、所ナリ○英國王其國法ヲ會議スル  
 場所ヲ不都合ナル遠地ニ設ケテ人民ノ議論ヲ  
 避ルハ人ヲシテ奔走ニ疲レ余議ナク其法ニ從  
 ハシメント欲スルナリ○英國王果斷ヲ以テ人  
 民ノ通義ヲ破ラント欲シ屢國民ノ會議局ヲ廢  
 シタリ○英國王此會議局ヲ廢シテ更ニ再建ヲ  
 拒ミ之ニ由テ國政ヲ議スルノ權ハ自カラ國民  
 ニ歸シ其本國ハ内外ノ危害ヲ蒙ルニ至レノ○  
 英國王我諸州ニ人口ノ繁殖スルヲ妨ケント欲  
 シ外人歸化ノ法ヲ廢シテ其移住ヲ禁シ土地令  
 配ノ新法ヲ立タリ○英國王此國ニ裁判ノ權ヲ  
 附與スルヲ拒テ裁判局ヲ廢シタリ○英國王特  
 權ヲ恣ニシテ官爵ヲ與奪シ俸祿ヲ増減セリ○  
 英國王新ニ官吏ヲ命シテ此國ニ送り國內ニ群

集シテ我州民ヲ煩ハシメ我州民ノ膏血ヲ竭サ  
 シメタリ○英國王我輩ノ衆議ニ戾テ無事ノ時  
 モ州内ニ常備兵ヲ設ケタリ○英國王文武兩局  
 ヲ別チ武局ヲ以テ文局ノ右ニ置タリ○英國王  
 我法律ニ戾リ我政治ニ異ナル一殊ノ政ヲ以テ  
 我人民ヲ制伏セント欲シ徒黨ヲ結テ其黨ノ議  
 定シタル偽法ヲ許シタリ○蓋シ其趣旨ヲ察ス  
 ルニ斯ノ如クシテ我國內ニ大兵ヲ送ラントス  
 ル為ナリ大兵ヲ送テ我州民ヲ殺害スルトモ空  
 論ヲ述テ其罪ヲ遁レントスル為ナリ我國ト世  
 界中トノ貿易ヲ絶ントスル為ナリ我州民ノ承  
 服セサル賦稅ヲ収歛セントスル為ナリ我輩ヲ  
 海外ニ送テ安ニ害ヲ加ヘントスル為ナリ我近  
 傍ニ一州ノ地ヲ占其州内ニ元來英國寬裕ノ法  
 律ヲ廢ンテ自主自裁ノ政ヲ施シ漸ク其境界ヲ  
 廣ノテ遂ニ其例ヲ以テ我諸州ヲモ獨裁ノ政治  
 ニ屬セントスル為ナリ我州民ノ自カラ法令ヲ  
 議定スヘキ權ヲ奪却シテ國王ノ徒黨ヨリ我輩  
 ヲ制スルノ權柄ヲ執ルトテ之ヲ一般ニ布告セ  
 ントスル為ナリ○英國王ハ我州民ノ保護ヲ廢

シ我諸州ニ向テ師ヲ遣リサルニ由テ自カラ此  
 諸州ヲ支配スルノ權ヲ棄タルナリ○英國王我  
 近海ヲ掠メ我海岸ニ寇シ我都府ヲ燒キ我人民  
 ノ命ヲ害セリ○英國王殺人滅國ノ暴政ヲ遂ケ  
 ント欲シ方今ハ外國ノ大兵ヲ雇テ我國ニ送リ  
 タリ其不義慘酷往古ノ夷狄ト雖モ為サル所ニ  
 テ豈文明ノ世ニ出テ人ノ上ニ立ツ者ノ舉動ナ  
 ランヤ○英國王洋中ニ於テ我國人ヲ捕ヘ強テ  
 之ニ武器ヲ與ヘ其本國ニ向テ其親戚朋友ヲ伐  
 タシメントセリ○英國王我諸州ニ内乱ヲ起サ  
 シメテ我州内ノ人民ヲ印度ノ野人ト同様ニ御  
 セント欲スレモ印度人殺伐不仁ノ戰ト之ヲ同  
 日ニ論ス可ケンヤ

苛刻ノ法令ヲ出ス毎ニ余輩言ヲ身ヲシ謹テ願  
 訴シタレモ嘗テ之ヲ聽カス隨テ願訴スレハ隨  
 テ之ニ報ユルニ慘毒ヲ以テシ一令出ル毎ニ其  
 暴政タルヲ證スルニ足レリスノ如キ暴君ハ自  
 由寛裕ナル人民ノ上ニ置ク可ラズ  
 又我輩我本國タル英國ノ人民ニモ注意セサル  
 ニ非ラス英國ノ人民カ法ヲ議シテ非道ノ政治



ヲ我諸州ニ加フルトニ付テハ我輩屢之ニ忠告  
シ昔我輩ノ英國ヲ去テ此國ニ移住セシキノ景  
況ヲモ述ヘ英國人一般ノ正論ヲ請ヒ或ハ骨肉  
ノ縁ヲ以テ懇談シ斯ク暴政ヲ行ヒナハ遂ニハ  
双方ノ交際モ絶ニヘキカ故ニ之ヲ辯論周旋ス  
ヘシト反覆請求シタレト英國人民モ共ニ是レ  
聾盲ニシテ嘗テ之カ為正論ヲ唱ヘス又骨肉ノ  
縁ヲモ顧ミス故ニ我輩止ムヲ得スシテ交ヲ絶  
チ英人ヲ見ルト猶他國人ヲ待遇スルノ如クシ  
テ戰ニハ之ヲ敵トシ太平ニハ之ヲ友トスヘシ

ト決意シタリ

故ニ亞米利加合衆國ノ名代人タル我輩其論說  
ノ正否ヲ世界中ノ公評ニ質サンカ為コ、ニ會  
同シテ州内良民ノ名ニ代リ州内良民ノ權ヲ藉  
リ謹テ次件ヲ布告ス合衆諸州ハ固ヨリ獨立マ  
ルノ理ヲ以テ獨立シ、英國ト交ヲ絶チ英國ノ支  
配ヲ受ケス固ヨリ之ト離別スルノ理ヲ以テ之  
ト離別シ且既ニ不羈獨立ノ國ト為リタルカ故  
ニ或ハ師ヲ出シ或ハ和睦ヲ議シ或ハ條約ヲ結  
ビ或ハ貿易ヲ為ス等都テ獨立國ニテ行フヘキ

事件ハ我國ニ於テモ之ヲ施行スルノ全權アリ  
○右布告ノ趣旨ハ余輩天道ノ扶助ヲ固ク信シ  
テ幸福ト榮名ヲ此一舉ニ期シ死ヲ以テ之ヲ守  
ルモノナリ

十三州ノ名代人四十八名調印

合衆國獨立ヲ布告シテヨリ以來專ラ國內一般ノ  
利益ヲ謀リ同盟ノ定議ヲ以テ國法トナシテレバ  
多年ノ干戈初テ止テ全國太平ニ歸シ從テ貿易商  
賣諸術工業モ舊ニ復スルニ付テハ其法律不便ノ

人ヲレデルズヤニ會シテ國政ヲ定メリ即今ノ合

衆政治ナリ又華盛頓ハ騷亂ノ初期ヨリ亞米利加  
ノ兵ヲ指揮シタル人物ナルヲ以テ之ヲ推テ大統  
領トナシ千七百八十九年第四月三十日ニトコル  
クニ於テ統領ノ職ニ任シタリ○華盛頓職ニ任シ  
テヨリ國用ヲ節シ賦稅ヲ平ニシ國內ノ經濟ヲ脩  
メテ富國ノ基ヲ立テ外國ノ交際ヲ厚クシテ信義  
ヲ失ハス此時ニ當テ歐羅巴ノ諸國ニ爭戰アリシ  
カ氏合衆國ハ固ク中立ヲ守リ嘗テ之ニ關係セシ  
トノシ在職八年ノ間内外無事ニシテユルモント

ケンチュッキテンゴシトノ三州合衆國ノ版圖ニ歸  
シタリ○千七百九十七年華盛頓職ヲ辞シジョン  
ダムス代テ大統領ニ任シタリ是ヨリ先キ我政府  
外國トノ交際ニ中立ヲ守テ他國ヲ助ケサルヲ以  
テ佛蘭西人之ヲ憤リ合衆國ノ貿易ヲ妨ケ或ハ兵  
ヲ舉テ來リ攻シトスルノ勢アリ是ニ於テ大統領  
アダムス陸軍ヲ備ヘ海軍ヲ増シ華盛頓ヲ以テ陸  
軍ノ總督ニ命シタレ其後華盛頓ハ病死ニ且又  
幸ニシテ佛蘭西ノ事モ平キタリ千八百一年アダ  
ムス職ヲ去リゼツスルノ代テ大統領ト為リ其後  
佛蘭西ト約束ヲ定メ千五百萬ドルヲ以テ佛ニ與  
ヘテ其領地ロイシヤナ州ヲ合衆國ニ并ヒタリ○  
ゼツスルノ在職ノ間盛大ノ政ヲ施シ貿易ヲ勉メ  
外交ヲ脩メ合衆國ノ威名歐羅巴諸國ニ轟クニ至  
レリ然ル所先キニ亞米利加騷亂ノ由英人屢大敗  
ヲ取テ既ニ其勇氣ヲ失ヒ加之建國ノ後ハ亞米利  
加ノ貿易次第ニ盛ナルヲ見テ嫉妬ノ意ヲ生シ力  
ヲ以テ敵對スルヲ能ハサレ其竊ニ之ヲ忿怒シテ  
屢亞米利加人ヲ凌辱セルヲアリ亞人之ニ堪ヘス  
遂ニ千八百十二年大統領マデソン在職ノ代ニ至

テ兵ヲ舉テ英國ト戰ヒ千八百十五年再ヒ和睦シ  
 テ條約ヲ結ヒ夕リ此戰爭ニテ合衆國ノ軍費九ツ一  
 億ドルラル兵士ヲ失フ一三萬人許ナリ英國トノ  
 戰爭終ラントスルノ時ニ當テアルゼリ<sup>イ</sup>國<sup>地中海ノ</sup>  
 南岸ニアル亞非利加州ノ一國ノ海賊亞米利加ノ  
 ニテ後佛蘭西ノ所領トナレリノ貿易ヲ妨ケ商船ヲ掠奪シタルニ付キ千八百十五  
 年第五月水師提督<sup>デカクル</sup>軍艦ヲ卒ヒテ地中  
 海ニ入りアルゼリ<sup>イ</sup>國ノ罪ヲ討シ夕リシニ不日  
 ニシテ罪ニ伏シ償金ヲ出シテ和睦ヲ為シ夕リ○  
 ガツン在職ノ間ニヨハヨ及ヒインガキナノニ

州版圖ニ入ル○千八百十七年<sup>モリス</sup>モ<sup>ン</sup>ル<sup>イ</sup>  
 マテソ<sup>ン</sup>ニ代テ大統領トナリモ<sup>ン</sup>ル<sup>イ</sup>在職ノ間  
 ハ無事ニシテ外國トノ戰爭ナシ唯<sup>セ</sup>ミノ<sup>ール</sup>ノ  
 土人ト一小戰シタルノニ千八百十九年<sup>西班牙人</sup>  
 東西<sup>フロリダ</sup>ノ地及ヒ近傍ノ屬島ヲ盡ク合衆國  
 ニ附與セリ○ヒ<sup>ン</sup>ル<sup>イ</sup>在職ノ間ニ<sup>ミ</sup>ス<sup>シ</sup>ッ<sup>ピ</sup>リ<sup>イ</sup>  
 リノイス<sup>アラバマ</sup>ノ<sup>ン</sup>シ<sup>ミ</sup>ス<sup>ソ</sup>ウ<sup>リ</sup>ノ五州版圖  
 ニ入ル千八百二十年<sup>ミ</sup>ス<sup>ソ</sup>ウ<sup>リ</sup>州ヲ并スル片初  
 テ奴隸論ヲ發シ州内ノ南北部ニテ其說齟齬セリ  
 依テ千八百二十二年議定シテ南方ノ獨立ヲ許シ

夕リ如奴隷論トハ舊來合衆國ノ南部ニテハ亞非  
 スル風習ナリ然ルヲ買北終身ノ正論ニトシテ之  
 一ノ類ナリ之ヲ馬ノ如ク仕役シテ人同  
 タル通義ヲ許サ、ルハ天理ニ如ク其風習ヲ人  
 改メシメハ耕作ノ南産業ニテハ舊來ノ習俗ヲ俄  
 フヲ聽カス依テ南北ノ不和ヲ起シテ後數十年  
 内乱ヲ生シ四年間南北部ノ大戦争ニ及ヒタル  
 モ其前徴ナリ此ノ間南北部ノ大戦争ニ及ヒタル  
 時ニ在ルナリ此ノ間南北部ノ大戦争ニ及ヒタル  
 去テク井ンシ、アダムス大統領トナリ在職ノ間太  
 平ニシテ記スヘキコトナン千八百二十九年アダム  
 ス職ヲ去リジャクソン代テ職ニ任ス此時税法ノ  
 ニ付キ南部乱ヲ起シテ千八百三十一年ヨリ翌年

ニ至ルマテ騷乱アリ此外亞米利カノ土人ト戦フ  
 一ニ度ニシテアルカシサスミチカシノ二州ヲ合  
 衆國ニ并セリ土人トハ本來ノ亞米利加人種ナリ  
 ノ人コ、ニ移住スルニ及テ終始ヒテ後歐羅巴諸邦  
 モスレハ戰闘ヲ起スト雖比後來此土人ハ風俗野  
 陋唯強勇ナルミテ文學技術ヲ知ラマ、因テ野  
 歐羅巴人ニ敵サレテ山野ニ遁ル獵ヲ以テ業トシ  
 以テ絶テ海岸ノ地ニハ出ルコト得ス時々黨ヲ結  
 ナシヨリ出テ合衆國內ハ出ルコト得ス時々黨ヲ結  
 テ山ヨリ出テ合衆國內ハ出ルコト得ス時々黨ヲ結  
 地ヲ侵マ、ア、リト云フ千八百三十七年ジャクソン  
 職ヲ去テマルチン、フ、ン、グ、ー、ン、之ニ代ルブ、  
 在職ノ間ニカナダ合衆國ノ北境ニマ、ノ人、乱ナ  
 起シ合衆國ノ人民之ヲ助ケタルニ付キ英亞兩政

府ノ不和ヲ生シテ殆ント戦争ニ及ントセリ千八百四十二年グーレン職ヲ去リハリノシ之ニ代リ  
タレ氏大統領ノ職ニ在ル十一月ニシテ死シ副統  
領クイルル次テ大統領トナレリカイレル在職ノ  
間ニ税法ヲ改革ン又テキサス及ヒフロリダノ二  
州ヲ合衆國ニ并セタリ千八百四十五年カイレル  
職ヲ去リゼームス、ポルク代テ職ニ任シマキシコ  
合衆國ノ南境ニアル國ノト戦争ニ及ヘリ此戦争  
名此國モ合衆政治ナリ  
ハテキサス州ヲ合衆國ニ并セタル事件ヨリ起リ  
タルノテ陸軍總督テローロル小勢ヲ卒ヒテテキ

サス州ニ赴キノキシコノ國境ニ臨テ不意ノ備ヲ  
為シ千八百四十六年第五月ノキシコノ兵ト二戰  
シテ互ニ勝敗アリ其後數度接戦シ終ニグーテナウ  
スタト云ヘル所ニテ大利ヲ得タリ此時敵兵ノ數  
我兵ヨリ多キ一四倍ナリ此勢ニ集シテマキシコ  
ト條約ヲ結ヒカリホルニヤ及新ノキシコノ地ニ  
合衆國ニ并セリ又此時ヨロワ井スコンシンノ  
二州モ版圖ニ入りタリ○千八百四十八年ポルタ  
職ヲ去リ將軍テローロル後職ニ任ステローロル在職  
ノ間ニカリホルニヤノ地方ニ金礦ヲ發見シ太平

洋ノ海岸ヲ開拓シテ新ニ所轄ノ地ヲ廣ノリ千八百五十年第七月九日大統領テーロル急病ヲ以テ死シ副統領モール代テ職一任スモール在職ノカリホルニヤヲ定メテ一州トナセリ千八百五十三年モール死シフランキンピールス職ニ任ス即チ華盛頓ヨリ第十四代ノ大統領ナリ

政治

千七百八十七年議定シタル合衆國ノ政治ハ國民集會シテ國政ヲ議スルノ趣意ニテ國法ヲ議定スルノ權ハ議事院ニアリ議事院ヲ上下二區ニ分チ

上院ノ議事官ハ各州ノ評議官ニテ撰擧シテ一州ヨリ二人出シ其人數六十二名在職六年ヲ限トス此人數ノ内三分一ヲ二年毎ニ交代センソ六年ニシテ惣人數一新スルノ割合ナリ之ヲ撰擧スルニ定律アリ年三十歳ニ滿タサル者及ヒ合衆國ノ戶籍ニ入テ九年ヲ經サル者ハ此撰擧ニ當タル可ラス上院ノ議事官ハ人物ヲ撰擧シテ官ニ命シ外國ト條約ヲ結フ其事ヲ議論シ諸有司ノ過失ヲ論シテ之ヲ廢黜スルノ權アリ○下院ノ議事官

各州一般ニ人民ノ撰擧スルモノニテ其人數二  
 百三十三名在職二年ヲ限トス之ヲ擧ルノ法十年  
 毎ニ合衆國內ノ人口ヲ計ヘ其惣數ヲ二百三十三  
 ニ分テ之ヨリ一人宛ヲ出ス千八百五十年ノ人口  
 ハ二千一百七十一萬人アリ之ヲ二百三十三ニ分  
 テ九萬三千百七十トナル故ニ國內ノ人民九萬三  
 千百七十人ノ内ヨリ一人ヲ出スノ割合ナレハ各  
 州人口ノ多寡ニ由テ撰擧ノ數一様ニラス撰擧ノ  
 定律ニ年二十五歳ニ滿タサル者及ヒ合衆國ノ戶  
 籍ニ入テ七年ノ經カル者ヲ禁ス下院ノ議事官ハ  
 諸有司ノ過失ヲ論シテ之ヲ廢黜スルノ權アルハ  
 上院ト同様ニシテ特ニ錢穀ノ權柄ヲ執ル○議事  
 院ノ會同ハ每年第十二月初旬月曜日ヲ以テ例日  
 トス上下院各其議事官ノ内ヨリ一名ヲ推テ上席  
 トナス上院ノ上席ハ即副統領ナリ又國政ノ事柄  
 各異ナルニ從テ兩院共ニ其主役ヲ命ス此主役モ  
 入札ヲ以テ議事官ノ内ヨリ撰擧スルナリ○議事  
 官ノ給料ハ兩院共一人ニ付キ一日ハ「ドル」ラルト  
 別ニ旅行ノ雜費トシテ二十人毎ニハ「ドル」ラルト  
 與ヘ兩院ノ上席ハ一日ニ十六「ドル」ラルト與フ○



每事其可否ヲ論シテ既ニ一定スレハ之ヲ一國ノ  
 法律トナシテ國中ニ施行スルノ權ハ大統領ノ手  
 ニ在リ大統領ノ在職ハ四年ヲ限トス其給料一年  
 ニ萬五千ドルラ此撰擧ニ當ル者ハ合衆國ノ産  
 ニシテ年三十五歳ニ滿テ生來本國ニ住居スル  
 十四年ヨリ少ナカル可ラス大統領ノ職掌ハ合衆  
 國海陸軍ノ總都督ニシテ上院ノ議事官ト同議シ  
 外國ト條約ヲ結ビ文武士官ヲ命スルノ全權アリ  
 又上下院ニテ既ニ議定セル事ニテモ大統領ニ於  
 テ異存アレハ一人ノ特權ヲ以テ之ヲ拒ミ兩院ニ  
 下シテ再議セシムベシ但シ之ヲ再議シ兩院ノ議  
 事官惣人數ノ内三分ノ二ニテ同意一定スルハハ  
 仮令ヒ大統領ノ免許ナクモ定テ法ト為スヘシ○  
 大統領附屬ノ國老六名アリ第一大閣老第二國用  
 ノ出納ヲ司ル執政第三軍務ヲ司ル執政第四海軍  
 ヲ司ル執政第五飛脚場ノ事務ヲ司ル執政第六刑  
 罰ノ事ヲ司ル執政是ナリ其給料一年六千ドルラ  
 此在職ノ年限ナシ○右ハ合衆國ノ中心タル華盛  
 頓府ノ政治ナレモ國內一州毎ニ各議事局ヲ設ケ  
 人物ヲ撰擧シテ評議官ヲ命シ一州内ノ政ヲ施ス

ニ於テハ自カラ獨立ノ體裁ヲナセリ但シ外國ト  
條約ヲ結ビ強償ノ令ヲ出シ非常ノキ一國ノ主長  
ヨリ其臣民へ免許状  
ヲ度シ海上ニ於テ敵國ノ船ヲ取押ヘ強ヒテ味方  
ノ損失ヲ償ハシムルヲアリ之ヲ強償ノ令ト云フ  
以下貨幣ヲ造リ銀券ヲ出シ紳ノ爵位ヲ許ス等  
同ニ各州ニ禁スル所ナリ

千七百八十七年議定セル合衆國ノ律例

合衆國ノ人民タル余輩我合衆ヲ益固クシ正道ヲ  
行テ國ノ静穩ヲ謀リ災害ヲ防キ平安ヲ求人人民  
ノ寛裕ヲナサンタメコヽニ亞米利加合衆國ノ律  
例ヲ定ルル左ノ如シ

第一條

第一類 國政ヲ議定スルノ權ハ合衆國ノ議事院ニ在

リ議事院ハ上下二區ニ合ツ

第二類 下院ノ議事官ハ國民一般ヨリ撰舉シ國民ノ  
名代人トシテ職ニ在ルル二年ヲ限トス

○年二十五歳ニ滿チ合衆國ノ戸籍ニ入テ七年

ヲ經ル者ニ非レハ此撰舉ニ當タル可ラス

○諸州ヨリ下院ノ議事官ヲ出クムノ員數ハ分

頭税ト同様ノ割合ニテ州民ノ衆寡ニ由テ異

ナルハシ諸州人口ノ數ハ此度定議ノ後三年

ノ内、會計シ爾後八十年毎ニ一度改計スヘシ  
議事官ノ數ハ州民三萬ニ付キ一人ノ割合ヨ  
リ多クスベカラス但シ一州ヨリ少クトモ必  
ス一人ハ撰擧スベシ

○各州ヨリ撰擧シタル議事官ノ内、缺員スル  
アレハ其州ヨリ令ヲ出シ不時ニ人ヲ撰擧シ  
テ其缺位ヲ滿ツヘシ

○下院ノ議事官ハ其官員ノ内ヨリ上席ノ者一  
人及ヒ他ノ主役ヲ推擧シ又諸有司ノ過失ヲ  
論シテ之ヲ廢黜スルノ權アル可シ

類第

上院ノ議事官ハ各州ノ評議官ニテ撰擧シテ  
一州ヨリ二人宛ヲ出シ在職六年ヲ限ルヘシ

○此度初テ諸州ヨリ上院ノ議事官ヲ會スル所  
ハ惣人數ヲ三部ニ分チ第一部ハ二年ノ後ニ  
新員ト交代シ第二部ハ四年ノ後ニ交代シ第  
三部ハ六年ノ後ニ交代シ爾後此順序ニ從テ  
二年毎ニ新員三分一ヲ撰擧シテ舊員ト交代  
セシムヘシ若シ各州ノ議事局、休會ノ間ニ上  
院ノ議事官缺員スルヲアレハ其州ヨリ不時  
ニ人ヲ撰擧シテ其缺位ヲ滿タシ次ノ發會ヲ

待ツヘシ

○年三十歳ニ満タス合衆國ノ戸籍ニ入テ九年ヲ經ナル者ハ上院ノ議事官トナルヲ許サス合衆國ノ副統領ハ上院ノ上席ナレト別ニ特權アルトナシ

○上院ノ議事官ハ副統領及ヒ他ノ主役ヲ推舉シ又副統領ニテ大統領ノ代任ヲ司ルハ別ニ臨時ノ副統領ヲ推舉スヘシ

○上院ノ議事官ハ諸有司ノ失過ヲ吟味シテ之ヲ廢黜スルノ權アリ大統領ノ失過ヲ吟味スル片ハ裁判役ノ總督之ニ列坐ス、シ都テ吟味ノ片ハ其席ニ列坐セル人數ニ合ノ二ノ裁斷ニ從フヘシ

○諸有司ノ過失ヲ吟味シテ之ヲ廢黜スト雖亦唯其官爵ヲ褫キ給料ヲ奪フノ、ニテ在職中ニ刑ヲ加フルトナシ但シ爵祿ヲ奪フノ後ハ尚又裁判局ニ於テ之ヲ糾問シテ罪ヲケレハ之ヲ免シ罪アレハ法律ニ從テ罰スヘシ

兩院ノ議事官ヲ撰舉スル日限、場所等ハ預メ各州ノ評議局ニテ定メ置クト雖此時宜ニ白

類 席 四

リ華盛頓府ノ議事院ニテ之ヲ變スルコトアル  
ヘシ

○議事院ノ集會ハ每年第十二月初旬月曜日ヲ  
以テ例日トス但シ時宜ニ由テ他日ニ催スコ  
トアルヘシ

第五類

兩院ノ議事官ハ其同僚ノ一人ヲ撰擧シ或ハ之  
ヲ撰擧スルヲ拒ミ或ハ其人ヲ議論スルニ  
付キ同說ノ多キニ從テ事ヲ審斷スヘシト雖  
凡異說ノ者ハ直ニ之ト雷同スルヲ要セス法  
ヲ犯スニ至ラサレハ其持論ヲ主張シテ可ナ  
リ

○上下兩院各其局内ノ規則ヲ設ケ此規則ニ背  
ク者ハ之ヲ罪ス可シ但シ之ヲ議論スル片議  
事官惣人數ノ内、同說ナルモノ三分ノ二ニ至  
レハ其同說ニ從テ一員ヲ放逐スヘシ

○兩院各日記ヲ作テ院ノ議事ヲ記シ秘密ノ事  
件ニ非サレハ時々之ヲ申告スヘシ

○議事官、集會ノ間ハ兩院相互ヒノ承諾アルニ  
非サレハ事ヲ議スルニ三日以上ヲ延引ス可  
ラス又定タル議事院ノ外他所ニ於テ商議ス

ルヲ許サス

第六類

兩院ノ議事官ハ合衆國ノ金庫ヨリ給料ヲ受ケ在職ノ間ハ罪アリト雖モ直ニ之ヲ捕フルヲ許サス第三類コ但シ謀反ヲ企ツル者、死罪ヲ犯ス者、國亂ヲ起ス者ハ格外ナリ又議事官ハ其院内ニ於テ何等ノ事ヲ商議シ爭論スルトモ他所ニ於テ之ヲ咎ム可ラス

○兩院ノ議事官、在職ノ間、仮令モ他ニ給料ノ多キ官職アルトモ轉移スルヲ許サス又他ノ官職ニ在ル者ヲ擢テ議事官ト為スヲモ禁

第七類

賦稅ヲ取ル法令ハ下院ニテ議定スヘシ然レモ上院ニテモ之ヲ參議シテ或ハ改正スルヲ得ヘシ

○都ラ法令ノ案文ヲ作り兩院ノ同議ヲ經レハ必ス之ヲ大統領ニ呈シテ可否ヲ質スヘシ大統領其案文ヲ見テ同意ナレハ之ニ調印スヘキナレモ若シ異存アレハ其異存ノ趣意ヲ述ハテ之ヲ返スヘシ然ル片ハ初メ此案文ヲ作タル局ニテ別ニ大統領ノ異旨ヲ書記シ案文

ニ副テ再議ヲ發ス若シ再議ノ上尙前説ヲ持  
 張スル者局内ノ總人數三分ノ二ニ至レハ此  
 局ノ評議ヲ一定シテ更ニ之ヲ彼局ニ送ルヘ  
 シ彼局ニテモ再議シテ同意ノ者總人數三分  
 ノ二ナル片ハ大統領ノ異存ニ關、ラス定メ  
 テ國法トナスヘシ但シ斯ク再議スル片ハ局  
 内ノ總人數ヲシテ逐一其可否ヲ述ヘシメ其  
 姓名ヲ日記ニ誌シ置クヘシ○又兩局ヨリ評  
 議ヲ建白スル片大統領十日ノ内ニ其可否ヲ  
 決シテ之ヲ下ケサレハ兩局ニテハ此建白ヲ  
 統領ノ調印シタルト同操ノモノニ視做シ之  
 ヲ施行シテ國法ト為スヘシ但シ兩院ヨリ一  
 度建白スル上ニテ延引ヲ願フ片ハ此例ニア  
 ラス

第八類

- 議事院ノ權ハ左ノ件々ヲ取扱フヘシ
- 出入港稅及ヒ國內ノ諸賦稅ヲ集メ國ノ逋債  
 ヲ拂ヒ國內ノ防禦ヲ固クシ一般ノ平安ヲ謀  
 ル
- 合衆國ノ名ヲ以テ金ヲ借ル可キ事
- 外國ノ通商及ヒ國內諸州并ニ亞米利加土人

トノ貿易ヲ勉メ其法則ヲ立ル

○外國人歸化ノ法ヲ平ニスル

ト并ニ合衆國中商人分散ノ

○貨幣ヲ造テ其位ヲ調理シ外國ノ貨幣ト平均

スル

○合衆國ノ貨幣證書ヲ偽作スル者ヲ罰スル法

度ヲ立ル

○飛脚場ヲ設テ驛路通報ヲ便利ニスル

○書ヲ著シ事物ヲ發明スル者ニハ官許ヲ以テ

專賣ノ利ヲ與ヘ文學技藝ヲ進歩セシムル

○洋中ニ於テ人ヲ殺シ人ノ物ヲ掠奪シ或ハ國

内ニテ合衆國ノ法律ヲ犯スモノヲ審斷シテ

刑ニ處スル

○敵國ト戰爭ヲ始メ強償ノ令ヲ出シ其他海陸

奪掠ノ規則ヲ定ムル

○師ヲ出シ軍費ヲ集ムル

ト但シ軍費ヲ集ムルトモ二年ノ用意ヨリ多ク

○軍艦ヲ造リ海軍ヲ養フ

○海陸軍ノ法則ヲ建ル

○合衆國ノ法律ヲ施行シ叛賊ヲ壓伏シ敵國ノ



侵襲ヲ防ク夕ノ郷兵ヲ募ル

○郷兵ヲ教ヘテ令衆國ノ軍役ニ供シ且議事院ニテ定メタル軍律ニ從テ諸州各其士官ヲ命シ郷兵ヲ調練スル

○諸州ニ城砦ヲ築キ武庫ヲ建テ、海軍ノ造船場ヲ設クル

○右ノ諸個條并ニ此度ノ律例ニ定メタル合衆

國ノ政權ヲ施行スル夕ノ法則ヲ設クル

第九類

外國ヨリ歸化スル者ヲ諸州ニ容ル、其ハ議

事院ヨリ之ヲ禁スヘカラス又初テ歸化シタ

ル者ヘハ十ドル以上ノ賦稅ヲ取ルヘカ

ラス

○大罪アルトモ罰子孫ニ及ハス貨財ヲ没入セ

ス又既往ノ舊惡ヲ糾シテ之ヲ罰スル

ルヘ

○分頭稅ヲ收ルニハ必ス先ツ人口ヲ計ヘテ其

數ニ準スヘシ

○國內各州ヨリ互ニ貨物ヲ出納スル片稅ヲ取

ル可ラス

○貿易并ニ收稅ノ法ニ於テ諸州ノ港ニ偏頗ノ

處置ヲ為スヘカラス又商船モ必ス某州ヨリ  
某州ニ通ヒ某州ニ於テ稅ヲ拂フヘシト限ヲ  
立ヘカラス

○法律ノ許ス所ニ非サレハ金庫ヲ開クヘカ  
ス且錢穀ノ出納ハ時々之ヲ國中ニ布告スヘ  
シ

○合衆國ニ於テハ縉紳ノ爵位ヲ人ニ與ルヲ禁  
ス又合衆國ノ職祿ヲ受ル者ハ議事院ノ免許  
ヲ待タスシテ外國ノ王公ヨリ俸祿爵位并ニ

贈物ヲ受ルヲ禁ス

類 國內一州ノ權ヲ以テハ外國ト條約ヲ結フヘ

カラス強償ノ令ヲ出スヘカラス貨幣ヲ造ル  
ヘカラス金銀ノ手形證書ヲ出タスヘカラス  
連債ヲ拂フニ金銀貨幣ヲ除クノ外他物ヲ用  
ユヘカラス縉紳ノ爵位ヲ人ニ與フヘカラス

○一州ノ權ヲ以テハ輸出輸入品ノ稅ヲ收納ス  
ルニ唯收納ノ雜費ヲ取ルノミニテ税金ハ精  
密ニ會計シテ合衆國ノ金庫ニ納ムヘシ是等

法則ハ議事院ニテ再校改正スヘシ  
○一州ノ權ヲ以テハ噸稅船ノ入津スルトキ其  
大小ニ從テ收納スル

銀ヲ取ル可ラス又太平ノ片兵卒ヲ養ヒ軍艦  
ヲ備フ可ラス此州彼州ト徒黨シ或ハ外國ト  
約束ヲ結フ可ラス兵ヲ起ス可ラス但シ現在  
敵ノ襲攻ヲ蒙リ或ハ危急ノ事變有テ猶豫ス  
可ラサル時ハ此例ニ非ス

第二條

定法ヲ施行スルノ權ハ亞米利加合衆國大統  
領ノ手ニ在リ大統領及ヒ副統領ハ在職四年  
ヲ限トス之ヲ撰舉スルノ法左ノ如シ

第一類

○大統領及ヒ副統領ヲ人撰スルハノ諸州ニ法

ヲ立テ之ヲ撰舉スル人ヲ命ス其人員ハ上下  
院ノ議事官ノ數ニ同シ但シ議事官及ヒ其他  
合衆國ノ職祿ヲ受ル者ハ此員ニ入ルヲ得  
ス

○此撰舉人ニ命スルノ時節并ニ統領ヲ撰舉ス  
ル日ハ議事院ニテ之ヲ定ム但シ其日限ハ合  
衆國中同日タルヘシ

○合衆國ニ生タル人ニ非サレハ大統領ト為ル  
ヲ得ス又合衆國ノ産ニテモ年三十五歳ニ滿  
タス生來十四年ノ間合衆國ニ住居シタル者

ニ非サレハ此撰舉ニ當ル可ラス

○大統領不時ニ退職シ或ハ死シ或ハ其職掌ヲ盡ス才徳ナケレハ副統領之ニ代ルヘシ副統領代任シテ亦不時ニ退職シ或ハ死シ或ハ其職掌ヲ盡ス才徳ナケレハ議事院ニテ一人物ヲ撰ヒ仮ニ大統領ト為シテ次ノ大統領ヲ撰舉スルキヲ待ツヘシ

○大統領ハ例年定式ノ給料ヲ受ケ在職ノ間決シテ其高ヲ増減スヘカラス又在職ノ間ハ給料ノ外ニ諸州ヨリ利潤ヲ受クヘカラス

○大統領職ニ即ッ片ハ指ヲ發ス可シ其詞ニ云ク

余謹テ誓ヲ發シ余誠實ノ意ヲ以テ合衆國大統領ノ職掌ヲ遂ク余カ才力ヲ盡シテ合衆政治ヲ保護スヘシ

第二類  
大統領ハ合衆國海陸軍ノ總都督ニシテ諸州ノ郷兵ヲモ合衆國ノ軍役ニ用ル片ハ之ヲ指揮スヘシ又諸局ノ職掌ニ付キ其長官ノ意見ヲ試ルタノ書札ヲ出サシムヘシ又罪人ヲ刑罰ニ處スル片其期限ヲ延ハシ或ハ罪ヲ謝ス

ル者ヲ赦スノ權アリ但シ諸有司其職掌ヲ謬  
ルノ罪ハ此例ニ非ラス

○大統領ハ上院ノ議事官ト商議シテ議事官ノ  
全員三分ノ二同意スレハ外國ト條約ヲ結  
ヘシ又上院ノ議事官ト商議シテ外國へ遣差  
スル使節ニニストハコンシユル及ヒ上局ノ裁  
判司其外合衆國ノ諸有司ヲ命ハルノ權アリ  
但シ卑賤ノ吏人ヲ命スルニハ議事院ニ謀ラ  
スシテ大統領ノ獨斷ヲ以テ之ヲ處置シ或ハ  
各局ノ長官ヨリ之ヲ命スルトモ法ニ戻ルト  
セス

第三類

大統領ハ合衆國內ノ形勢ヲ察シ之ニ應シテ  
施サント欲ル策略ヲ設ケ時々之ヲ議事院ニ  
下タシテ議論セシムヘシ又不時ニ上下兩院  
或ハ一院ノ官員ヲ集メテ事ヲ議スルヲ得ヘ  
シ若シ其時ノ衆議一時ニ決シ難キハ獨意  
ヲ以テ期日ヲ延ハシ再ヒ集會セシムルヲ得  
ヘシ○大統領ハ外國ノ使節ニニストハ  
待  
遇スヘシ又法令ヲ施スニ必ス信實アラレ  
テ  
ヲ注意シ合衆國ノ諸有司ニ委任狀ヲ附與ス

ルノ權アリ

類第四 大統領副統領及ヒ其他合衆國ノ諸政官謀及

ヲ企テ或ハ賄賂ヲ貪ル等ノ大罪ヲ犯ストキ

ハ上下兩院ノ商議ヲ以テ先ツ其職祿ヲ奪フ

ヘシ

第三條

類第一 合衆國裁判ノ權ハ上下兩局ニ分與シ下局ノ

裁判司ハ議事院ヨリ之ヲ命ス上局ノ裁判司

ハ大統領ト上院トノ同議ニテ命スハ大統領ト上

ル者ナリ前ニ出ツ 兩局ノ裁判司ハ職ニ在

ルト年限ナシ例年定式ノ給料ヲ受ケ此給料

ハ在職ノ間決シテ減スルトナカルヘシ

類第二 裁判局ノ權ノ達スル所ハ左ノ件々ナリ

○此律令ニ定クル規則其他合衆國ノ諸法ヲ論

駁レ又外國ノ條約ニ關ハルヲ審判ス

○外國へ遣差スル使節ミニストシンコンシユルニ

關ハルヲ審判ス

○海軍ノ法則ニ關ハルヲ審判ス

○各州ノ間ニ起ル

○各州ノ間ニ起ル爭論一州中ノ人々ノ間ニ起

ル爭論及ヒ州人ト外國人トノ間ニ起ル爭論

ヲ審判ス

○外國へ遣差スル使節ニストルコシニ  
 關係セル事并ニ一州黨ヲ結テ起タル争ハ上  
 局ニテ其裁判ノ主役ヲ司ルヘシ其他ノ裁判  
 ハ議事院ノ規則ニ從ヒ上局ハ立合ト為テ越  
 訴ヲ聽クヘシ 訴訟ハ先ツ下局ハ裁判ヲ  
 受ケテ之ニ心服セサルキ等  
 テ越テヒ局ニ訴フヘシ  
 シ之ヲ越訴ト云フ  
 ○罪人ヲ裁判スルハ其罪ヲ犯タル土地ニ於テ  
 スヘシ外國ニテ罪ヲ犯シタル者ハ議事院ニ  
 テ法ニ從ヒ其裁判ノ場處ヲ定ムヘシ

第三類 謀反ノ名ヲ下タス者ハ合衆國ニ敵對シテ兵  
 ヲ擧ク或ハ敵國ニ貳心ヲ抱ヒテ敵ヲ助クル  
 者ニ限ルヘシ

○謀反ノ罪ヲ糾スニハ確證ヲ以テ證人ト為ル  
 モノ二人アル歟或ハ裁判局ニ於テ躬カラ白  
 状スルニ非サレハ謀反ノ名ヲ下タス可ラス  
 ○謀反者ヲ刑スルノ權ハ議事院ニ在リ然レモ  
 既ニ之ヲ刑スレハ其罪親屬ニ及ハス又貨財  
 ヲ没入スルヲモナカルヘシ

第四條

第一類 各州ノ法律及ヒ裁判ハ互ニ相信用スヘシ

類第二 一州ノ人民ニ附與スル特恩ハ各州ノ人民ヘ

モ許シテ此彼偏頗スルコトナカルヘシ

○此州ニテ罪ヲ犯シタル者裁判ヲ適レ他州ニ

出奔シテ其住處發露スルキ本州ヨリ之コ返

サントヲ求レハ直ニ之ニ引渡ス可シ

○此州ニテ法律ニ從ヒ人ニ仕役サル、者其仕

役ヲ適レテ他州ニ出奔スルキモ前ノ例ニ從

フヘシ

類第三 議事院ノ協議ニ由テハ新ニ州ヲ立テ合衆國

ノ版圖ニ入ルヘシト雖モ從來諸州ノ界内ニ

州ヲ立テ或ハ二州ヲ合シテ一州ト為ス可ラ

ス

第五條

○爾後議事院ノ全員三分ノ二ニテ說ヲ發シ或

ハ諸州評議局ノ内三分ノ二ヨリ建白シテ此

度ノ律例ヲ改革セント欲スルキハ之カタソ

集會ヲ催フス可シ集會ノキ全員四分ノ三其

說ニ同意シテ調印スルキハ定メテ國律トナ

シ此律例ト並ヒ行フヘシ

第六條



○此度、律例ヲ施行スル前ニ借用シタル國ノ  
逋債及ヒ約束ハ此律例ニ從テ同盟シタル合  
衆諸州ノ責トナルヘシ

○此律例並ニ合衆國ノ權ヲ以テ外國ト結フ條  
約ハ一國內無上ノ定律トシテ之ヲ守リ此定  
律ヲ守ルト否トニ由テ各州ノ正非ヲ斷スヘ  
シ或ハ此定律、各州一個ノ法則ト齟齬スルコ  
アル氏之ヲ顧ルコトナカルヘシ

○上下兩院、議事官、各州ノ評議官、其他合衆國  
並ニ各州ノ裁判司、諸有司ハ誓ヲ發シテ此律  
例ヲ守ルヘシト雖モ人ヲ黜陟スルニ其宗旨  
ヲ論スルコトナカルヘシ

第七條

○諸州ノ内九州同議シテ此律例ニ調印スレハ  
乃チ之ヲ施行スヘシ

紀元千七百八十七年即合衆國  
ノ建國第十二年第九月十七日  
諸州ノ同議ヲ以テ之ヲ定ム

大統領沙夕、華盛頓誌

爾後千七百八十九年ヨリ千八百四年マテノ間ニ

此律例ヲ増補改正シタル條々左ノ如シ

○宗旨ヲ開クニ付キ議事院ヨリ其法則ヲ立ツルヲナク自由ニ之ヲ許スヘシ又事ヲ議論シ或ハ書ヲ著スヲ禁スヘカラス又人民平穩ニ集會シテ政府ニ愁訴スルヲ勝手タルヘシ

○法律ノ寛ナル國ニ於テハ郷兵ヲ養フヲ緊要ナルカ故ニ國民皆武器ヲ貯ヘ武器ヲ携ルヲ許スヘシ

太平ノ時ハ兵卒ノ家ニ行キ其主人ノ許ヲ待タスシテ之ニ宿ス可ラス但シ戰爭ノ間ハ此例ニ非ラスト雖モ亦法ヲ越ユ可ラス

○妄ニ人ヲ捕ヘ或ハ家内ヲ搜索シ或ハ書類ヲ奪ントスル者アルハ人民躬カラ之ヲ防クノ權アルヘシ但シ其搜索スヘキ場處人物及ヒ品物等ニ付キ疑慮スル所ヲ述ヘ摺ヲ發シテ其實情ヲ告ルハ其搜索ヲ許スヘシ

○罪人ノ吟味ハ其罪ヲ犯シタル土地ニ於テシ先ツ罪人ヘ其罪ノ次第ヲ告ケ其證人ト對決セシメ又本人ノ夕ノニ其無罪ヲ證スル者ヲモ出シテ其說ヲ述ヘシノ速ニ裁判スヘシ

○非常ノ例ヲ以テ罪ヲ赦ス可ラス非常ノ罰金ヲ取ル可ラス又慘酷非常ノ刑ヲ行フヘカラス

○律例中ニ某ハ某ノ權アリ云々ト記シタレモ此權ヲ以テ人民ノ權ヲ壓制スヘシトノ趣旨ニ非ラス決シテ之ヲ誤解スルヲ勿レ

○大統領及ヒ副統領ヲ撰舉スルノ任ヲ蒙リタル人ハ各一州ノ内ニ會合シテ入札ヲ為スヘシ但シ同州ノ人ヲ撰舉シテ大統領トナシ或ハ副統領トナスコトハ禁制ニ非ラスト雖モ大副二人ノ内一人ハ必ス他州ノ人ヲ撰フヘシ入札ノ法撰

舉人各其意ニ從テ大統領トシ或ハ副統領トシント欲スル者ノ姓名ヲ札子ニ記ルシテ箱ニ投シ終テ之ヲ開キ其撰舉ニ當ル人ノ姓名並ニ員數ヲ紙ニ書記シ又其一人毎ニ撰舉ヲ受ケタル數ノ多寡ヲ各姓名ノ下ニ記シテ之ニ調印シ密封シテ合衆國ノ政府ニ呈ス政府ニ於テハ上院ノ上席各州ヨリノ呈書ヲ受ケ上下兩院ノ議事官ヲ會シテ之ヲ開封シ逐一點見シテ撰舉ヲ受タル數ノ最多キ者ヲ大統領ト為シ或ハ副統領トナス若シ數人ノ内撰舉ヲ受ルノ數此彼同等

ナルキハ上等ヨリ以下三人ヲ擧ケ下院ノ入札  
ヲ以テ三人ノ内ヨリ一人ヲ撰テ大統領トナス  
ヘシ副統領ノ方ハ上等ヨリ以下二人ヲ擧ケ上  
院ノ入札ヲ以テ一人ヲ撰定スヘン○又律例ニ  
從テ大統領ト為ス可カラサルモノハ亦副統領  
ノ撰擧ニモ當ル可ラス  
年三十五歳ニ滿タサル者ノヲラ云

○合衆國ノ北部ニ於テハ兒童ヲ教育スル小學校  
最多ク其法甚善シ亞米利加政治ノ一美事ト云ヘ  
シ學校ノ費用ハ賦稅ヨリ出シ或ハ又別ニ學校ニ  
附屬セル元金ナルモノ有テ年々其金ノ利息ヲ集  
メ州内ノ諸府ニ學童ヲ教育スル員數ニ準シテ之  
ヲ分配ス一都府ノ内ニ必ス小學校一所ヲ設ケ府  
外ニテモ人家アルノ地ハ凡二里四方ノ内ニ一所  
ヲ設ケテ往來ノ便利ヲ為ス又一郡毎ニ人物十二  
名ヲ撰擧シ學校ノ知事ト為シテ郡内諸學校ノ事  
務ヲ司ラシハ學校ニ入ラントスルモノハ何人ノ

子タルヲ論セス直ニ之ヲ許シ且本人ハ唯書籍ヲ  
買フノミニテ一切他ノ出費ナシ小學校ノ教ハ英  
語ノ初步、算術、地理學等ナリ又都府ノ學校ニハ兼  
テ羅<sup>フ</sup>甸<sup>テ</sup>語希臘<sup>ギリヤ</sup>語ヲモ學ハシム  
大學校ノ教モ甚盛ニシテ其法寛裕ヲ主トセリ大  
學校ハ政府ヨリ建ルモノアリ或ハ私ニ會社ヲ結  
テ設ルモノアリ凡ソ合衆國中、所トシテ此學校ア  
ラサル、ナシ其學科ハ新古語ヲ探索シ文法ヲ學  
ヒ歴史ヲ讀ミ理學、作文學、究理學、修身學等ヲ研究

國中ニテ毎年出版スル新聞紙ノ數凡ソ四億二千  
六百萬葉又歐羅巴諸國ニテ良書ヲ著述スル者ア  
レハ直ニ其書ヲ再板<sup>ホ</sup>テ自國ノ裨益ト為ス  
文學技藝ヲ開クタメ會社ヲ結フモノ甚多ク又各  
處ニ病院貧院等ヲ設テ人ヲ救フノ備ヲ為セリ

海陸軍

○合衆國內ヲ三部ニ分テ陸軍ノ備ヲナス東方ノ  
本陣ハトロイ及ヒ<sup>ニ</sup>ニューヨーククニ在リ西方ノ本陣ハ<sup>ニ</sup>  
ニューラルリオン<sup>ス</sup>ニ在リ太平洋海岸ノ本陣ハ<sup>ニ</sup>  
ノマ及ヒカリホルニヤニ在リ千八百五十年ノ常

備兵ハ歩兵八隊、大砲四隊、騎兵二隊ニテ惣人數一萬零三百二十人ナリシカ翌年又其數ヲ増シタリ

○陸軍將士一月ノ給料左ノ如シ「マジョール、ゼネラル」二百「ドル」ラ「ル」コロ子「ル」七十五「ドル」ラ「ル」カヒ「テ」一「シ」四十「ドル」ラ「ル」リ「テ」ナン「ト」二十五乃至三十「ドル」ラ「ル」セル「ジャント、マジョール」十七「ドル」ラ「ル」コ「ル」ホ「ラ」ール「ス」九「ドル」ラ「ル」士卒七「ドル」ラ「ル」都「テ」陸「軍」將士ヘハ致仕ノ後、扶助ノ給料ヲ與ル「ト」ナシ右ノ如ク陸軍ハ仕役ニハ恩典薄シ「ト」雖「モ」固ヨリ怪ムニ受ラ「ス」其故ハ合衆國ニ於「テ」ハ一旦軍務ヲ辭スルトモ他ニ仕役ノ路、ナキカ故ニ更ニ尋常ノ職業ヲ得ル「ト」容易ナレハナリ○常備兵ノ外、郷兵ノ軍籍ニ入ルモノ甚多シ千八百四十九年ニ至「テ」ハ其數百九十一万四千一百人アリ

○千八百五十年ノ記載ニ據ルニ大小軍艦七十七隻アリ○海軍ノ仕役ニハ恩典厚クシ「テ」其給料モ陸軍ニ比スレハ甚多シ即「チ」一歳ノ給料次ノ如シ「カ」ビ「テ」一「シ」二千五百乃至四千五百「ドル」ラ「ル」リ「テ」ナン「ト」千二百乃至千八百「ドル」ラ「ル」上等醫師一千乃至二千七百「ドル」ラ「ル」下等醫師六百五十乃至千百

五十「ドル」ラ此警古士官四百五十乃至七百五十「ドル」測量方七百五十乃至一千百「ドル」ラル水夫頭、帆前司等三百六十乃至七百五十「ドル」ラル右ノ割合ハ英國海軍ノ給料ヨリモ遙ニ多シ然ルニ亞米利加ノ海軍士官、等盡ク此給金ヲ費シテ一錢ヲ餘マスモノナキハ蓋シ亞米利加ニ於テハ英國ヨリモ物價貴ク且其七官、他ニ活計ヲ營マスシテ唯給料ノミヲ以テ衣食ノ用ニ供スルカ故ナリ又合衆國ニ於テハ何人ニテモ數年ノ間産業ヲ勉レハヨク獨立シテ他ノ恩澤ヲ蒙ルヲ要セサルニ至ル

ヘキカ故ニ政府ニテモ海軍士官等ヘハ其給料ヲ厚クスルニ非サレハ之ヲ仕役スヘカラサルナリ合衆國ニ海軍ノ造船局七所アリ「ワシントン」ノ造船局ニテハ專ラ錨、鎖、綱具等ヲ製ス

錢貨出納

合衆國歳入ノ主タルモノハ出入港税、土地ヲ賣却スル代金及ヒ飛脚場ノ税ナリ千八百三十四年ヨリ千八百四十九年ニ至ルマテ十六年ノ間、土地ヲ賣ル<sup>一</sup>共計七千二百四十四萬<sup>一</sup>ア<sup>一</sup>ク<sup>一</sup>ル<sup>一</sup>ハ<sup>一</sup>百<sup>一</sup>十<sup>一</sup>坪<sup>一</sup>余<sup>一</sup>ニ<sup>一</sup>當<sup>一</sup>ル<sup>一</sup>余<sup>一</sup>ニ<sup>一</sup>シ<sup>一</sup>テ<sup>一</sup>代<sup>一</sup>金<sup>一</sup>九<sup>一</sup>千<sup>一</sup>二<sup>一</sup>百<sup>一</sup>三<sup>一</sup>十<sup>一</sup>八<sup>一</sup>萬<sup>一</sup>二<sup>一</sup>千<sup>一</sup>「ドル」

ルラ此余ヲ得タリ飛脚場ノ税ハ厘カニ其雜費ヲ  
償フニ足ルノミ其他ノ諸賦税モ記スヘキモノナ  
シ千八百五十年錢貨ノ出納左ノ如シ

歳入

三千五百九十五萬二千四百五十六ドルラ

港運上

百七十四萬八千七百十五ドルラ

土地ノ代金

百十五萬六千三百八十二ドルラ

皆運上

總計三千八百八十五萬七千五百六十八ドルラ

歳出

千四百三十七萬四千六百二十九ドルラ

國內定式ノ入用

千百九十七萬三千百十二ドルラ

陸軍ノ入用

七百七十七萬五千四百十ドルラ

海軍ノ入用

三百七十七萬零八百四十五ドルラ

國債ノ利息



總計三千七百八十九萬三千七百五十九「ドル」ラル  
 ○千八百十二年ヨリ英國ト戦争シ千八百十五年  
 和睦ノ成ニ至テハ國債漸ク増シテ一億五千八百  
 七十一萬三千零四十九「ドル」ラルト為リタレ凡千  
 八百三十五年盡ク之ヲ拂ヒ尚其後數年ノ間歳入  
 ノ余金ヲ積ミ政府ヨリ諸州へ貸スニ至レリ「メキ  
 シ」トノ戦争ニ軍用ヲ費シ且和議ノ後「ソキシ」コ  
 政府へ二億一千七百萬「ドル」ラルヲ與へテ「カクホ  
 ルニヤ」ノ地方ヲ買ヒ之ニ由テ又國中ニ金ヲ借り  
 千八百四十九年ニ至テ國債ノ總計六千四百七十  
 萬零六百九十三「ドル」ラルト為レリ然レ凡此高ハ  
 合衆國ノ歳入ニ比スレハ歴々ノミ

○合衆國ノ諸州ハ固ヨリ華盛頓府ノ政治ニ從フ  
 ト雖凡一州内ノ事ヲ治ムルニ於テハ各別ニ評議  
 司ヲ命シ法則ヲ建テ裁判所ヲ設ケ賦稅ヲ收ル等  
 全ク獨立ノ體裁ヲ為セリ又水道ヲ掘リ鉄道ヲ造  
 クル等其土地ノ工業ヲ起ス凡ハ世間一般ヨリ金  
 ヲ借ル「ト華盛頓」ノ政府ニ異ナル「トナシ」千八百五  
 十年「ニ」ヨルク一州ノ逋債二千四百萬「ドル」ラル  
 余一歳ノ賦稅ヲ收ル「ト」五百五十四萬「ドル」ラル余

ナリト云フ故ニ合衆國ノ經濟ヲ計ルニハ華盛頓  
 府ノ出納ニ各州自己ノ出納ヲ合セテ算定セサル  
 可ラス

荷蘭國

史記

羅馬ノ世ニ當テ「バタフミヤ」ト唱ル人種荷蘭ノ地  
 ニ住居シ好テ戰爭シタルハ紀元前百年ノ「ナリ  
 其頃。近傍ノ地ニ在ル「ベルジ」人ハ草昧ノ世ニ於  
 テ既ニ貿易ヲ勉メ此風習後世ニ傳テ荷蘭國貿易  
 ノ基礎ヲナセリ紀元前九年「レイ」河ト「アイスル  
 湖」トノ間ヲ堀テ水道ヲ通シ全國ノ地理ヲ一變シ  
 タルハ大土エト云フヘシ其後「バタフミヤ」人ハ羅  
 馬帝國ノ保護ヲ蒙リ羅馬人ニ接シテ國內漸ク開

化ニ進ミ又紀元五百年ノ間ハフランク

佛蘭西ノ始祖

ニ屬シ八百年代ノ央ニ至テシャルレマン

佛蘭西ノ皇帝

日耳曼一

統ノ國帝ノ為一押領サレタリシカ此時代ハ封建

ノ風世ニ行ハレテ「バタフヒヤン」人モ再々獨立シ分

レテ數小國ト為レリ即チ「ゴルドレス」「ブラバント」「リ

クセン」「ビュルグ」「リム」「ビュルグ」「アントエル」「プ」「ホルラン

ド」「セーランド」「ソット」「フェン」「フランドル」「アルト」「イス」「ハ

イノート」「ナームル」「ユトレフ」「ト」「オーフル」「アイスル

ゴロニンゲン」「フリースラン」「ド」「ノクリン」是ナリ之

ヲ荷蘭十七州ノ舊地トス右十七小國ノ内「フラン

デル」國ヲ上位ニ定メテ他諸國ノ總督ヲナセシカ

千三百年代ニ至リ其君、婚姻ノ縁ヲ以テ位ヲ「ビュル

ゴレ」家ニ讓リタリ爾後「ビュルゴン」家ノ君モ其

例ニ效テ位ヲ「オー」ストリヤ」家ニ讓リ第五世「チャー

レス」ニ至テ十七國ヲ一統シ其太子第二世「モリッブ

ニ」國位ヲ傳ヘタリ「フヒリッブ」位ニ即テヨリ苛刺ノ令

ヲ下シテ異端ノ宗門ヲ攻メントシ其他種々慘酷

ノ政ヲ行ヒタルニ由テ遂ニ人心ヲ失ヒ國內ノ七

州謀反シテ別ニ合衆政治ヲ建テ「井ルレム」オラ「レム」オラニ

ヲ推シテ大統領トナセリオラ「ニ」ハ現今「千五百

年代マラッカ諸島ヲ取テ海外ノ所領ト為シ其地ニ  
 産スル胡椒ノ類ヲ諸方ニ貿易シテ獨り利ヲ專ラ  
 ニセリ千六百年代ノ末ニ至テハ荷蘭人ノ貿易盛  
 大ヲ極メ凡ソ歐羅巴ノ商船半ハ荷蘭ヨリ出テタ  
 リシカ其後屢戰爭ヲ起シ且諸國ノ商船漸ク増加  
 シテ貿易ヲ勉ルニ及テ荷蘭ノ貿易モ遂ニ其名譽  
 ヲ落セリ佛蘭西王第十四世ロイス兵ヲ舉テ荷蘭  
 ヲ攻タル凡ハ荷蘭人皆船ニ乘テ遁逃シ返テ其海  
 岸ヲ襲ヒ遂ニ佛蘭西ノ兵ヲ逐テ國ヲ全フスルヲ  
 得タリ其後大亂ノ始メナポレオンノ亂ヲ云フ佛蘭西ニ併セ  
 ラレ千七百九十五年ヨリ合衆政治ヲ立テ千八百  
 六年ニ至テ佛蘭西ヨリ第一世ナポレオンノ弟ロ  
 イス、ナポレオンヲ以テ荷蘭王ト為シ四年ヲ經テ  
 千八百十年又佛蘭西ヨリ之ヲ廢シテ荷蘭ノ土地  
 ヲ全ク佛蘭西帝國ノ版圖ニ入レタリ此時ニ當テ  
 荷蘭ノ貿易ハ全ク地ニ落テ海外所領ノ地ニ盡ク  
 英國ニ奪却サレタリ此時荷蘭ノ國旗ヲ翻セル地  
 ハ世界中唯長崎ノ出島ノミ  
 ト云フ今ニ至テ荷蘭千八百十四年ナポレオンノ  
 人ノ志レサル所ナリ軍敗績ンテ歐羅巴各國和議ヲ結フニ至テオラニ  
 侯第一世井ルレム再ヒ本國ヲ領シ海外所領ノ

地モ二三所ハ舊ニ復スルヲ得タリ千八百十六年  
 各國ノ協議ニ由テオラニ一侯ノ位ヲ進メテ荷蘭  
 王ト為シ荷蘭本國並ニ白爾義ヲ一統セリ千八百  
 三十年白爾義ノ人。荷蘭ノ政治宗門ニ從フヲ欲セ  
 スシテ亂ヲ起シ別ニ一國ヲ建テリ即今ノ王國白  
 爾義ナリ千八百四十年第一世井ルレム國位ヲ其  
 太子第二世井ルレムニ讓リ千八百四十九年第二  
 世井ルレム死シ太子第三世井ルレム立ツ今ノ荷  
 蘭王ナリ

政治

千七百九十五年荷蘭國佛蘭西ニ併セララル、ノ前  
 ハ合衆政治ニテ政ヲ議スルモノヲ「スタール」テニセ  
 子「ル」ト稱シ其上席ニ立テ國政ヲ施行スルモ  
 ノヲ「スタット、ホッパルト」ト稱セリ千五百年代ヨリ千  
 七百年代ニ至ルマテ荷蘭ノ貿易盛大ヲ極メ富饒  
 ヲ致シタル所以ハ全ク政府ノ趣旨ニテ法律ノ寬  
 ナルニ由テナリ此時ニ當テ英佛其他歐羅巴諸國  
 ニ於テ宗門又ハ國法ノ議論ニテ内亂ヲ生シ互ニ  
 相侵伐シテ國民皆其慘毒ヲ蒙リタルニ荷蘭ハ獨  
 リ此機會ニ乘シテ巧ニ法ヲ設ケ各國ヨリ放逐サ

レ或ハ亂ヲ避テ出奔スルモノヲ盡ク國內ニ納レ  
 法律ヲ寬ニシテ之ヲ待遇シ才カアルモノハ厚ク  
 之ヲ用ヒ或ハ又海外所領ノ地ニ人ヲ移シ南北僻  
 遠ノ地ハ其地ニ移住セル人々ノ意ニ從テ自由ニ  
 之ヲ開拓セシメ絶テ政府ノ規律ヲ立テス都テ訴  
 訟ノトアレハ編頗ナク速ニ裁斷シ賦税ハ輕カラ  
 スト雖モ錢穀ノ出納ヲ正シクシテ偽詐ヲ交ユル  
 一ナシ石ノ如ク荷蘭ノ政治ハ都テ實際ニ近ツイ  
 テ事ヲ為シ國律ヲ寬ニシテ宗門ノ議論ヲ為サス  
 工業ヲ勉メ國用ヲ節シ數百年ノ繁盛ヲ為モリ○

方今荷蘭國ハ立君定律ノ政治ト為テ國位ヲ血統  
 ノ子孫ニ傳ヘリ王家ハ即チ「オラニー」姓ニテ荷蘭  
 獨立ノ始祖ナリ日耳曼ニアル荷蘭ノ所領リユフセ  
 シンブルグハ日耳曼列國ノ盟約日耳曼、中ニ大小  
 モ獨立ナレド互ニ條約ヲ結テ日耳曼全國ニ加ハ  
 ヲ保護ス之ヲ日耳曼列國ノ盟約ト云フニ加ハ  
 ルカ故ニ荷蘭王此盟約ニ關係スル片ハ「リユフセ」  
 ビュルグノ上公ト稱スリユフセ、元來公位  
 マルカ故ニ荷蘭國王ノ國テアルヲ荷蘭國ヨリ支配  
 ハ其公位ヲ兼ルナリ○國王ハ罪アリト雖モ其身  
 ニ刑罰ヲ加フ可ラス國內治乱ノ責ニ任スルモノ  
 ハ事務執政ナリ文武士官ヲ命シ法ヲ施行シ師ヲ

起シ和ヲ議シ海外所領ノ地ヲ支配スルノ權柄ハ  
 國王ノ手ニ在リ議事官ハ上下二局ニ分レ毎年會  
 同シテ國事ヲ議ス上局ノ官員四十乃至六十人國  
 王ヨリ命スルモノニテ終身職ニ在リ在職ノ間ハ  
 旅行ノ雜費トシテ政府ヨリ毎年八百「ドル」ヲ  
 受ク但シ年四十歳ニ滿タサルモノハ用ユ可ラス  
 下局ノ官員五十五人諸州ノ人民ヨリ撰舉スルモ  
 ノナリ即チ「ホルランド」ヨリ二十二人「ブラバント」  
 ヨリ七人「ゴルドルランド」ヨリ六人「フリースラン  
 ド」ヨリ五人「オースブル、アイスル」及ヒ「ゴッペンゲレ  
 ヨリ各四人「ゼーランド」及ヒ「ユトレフト」ヨリ各三  
 人「テレント」ヨリ一人ヲ出ス但シ「リュクセンビュルグ  
 ニ」ハ別ニ議事集會アリ○下局ノ議事官八年々其  
 全員ノ内三分一ヲ交代セシメ三年ニシテ一新ス  
 之ノ撰舉スルニ人民ノ望ヲ屬スルモノヲ舉ケテ  
 直ニ用ユルニ非ラスジテ種々次第ヲ重ヌルカ故  
 ニ其法或ハ公平ナラサルコトアリ先ツ一邑ニ於テ  
 賦稅ヲ納ルル多キ者相集テ若干ノ人員ヲ撰舉シ  
 之ヲ「キースル」撰舉人ト名ツケ此「キースル」ヲシテ  
 其邑ノ評議司ヲ撰舉セシム評議司ハ終身職ニ在

西洋事情 卷之二

四

ルモノニテ其意ニ從テ邑人ヲ撰擧シ之ヲ名代人ト稱シ一州ノ都府ニ遣テ州内ノ事ヲ議セシム即チ毎年下局ノ議事官ヲ撰擧スルモノハ此名代人ナリ○上下兩局ノ議事官ハ國內ノ賦稅ヲ收ルノ權アリ但シ英國ノ如ク毎年錢穀ノ出納ヲ商議算定セスシテ十年毎ニ一度會計ヲ為ス蓋シ煩勞ヲ省クノ為ナリ然レバ此事ニ付キ種々不平ノ議論ヲ生スルカ故ニ遂ニハ法ヲ改革スルヲアルヘシ

○荷蘭ニ於テハ人ヲ用ルニ其宗門ヲ問フナシ  
英國ニテハ然ラス國事ヲ議スル官吏ハ宗門ノ人ニ限ル

○荷蘭國ハ元ト歐羅巴文明ノ中心トモ云フハキ舊地ナルニ其名譽世上ニ轟カサル所以ハ文學ノ教周ク國中ニ達シテ貴賤ノ別ナク皆之ヲ研究シ却テ拔群ノ名ヲ得ルモノナキノミニテ其實ハ博識實學ノ人物甚多シ千八百五十一年國中小學校ノ數三千二百九十五所之ニ出入スル學童三十六萬一千零十五人アリ荷蘭全國ノ人口ヲ二百七十六萬七千六百七十一人トシ其内、年五歳ヨリ十五歳ノ兒童ハ凡七十萬ナレハ全國ノ兒童過半ハ小學校ニ入ルノ割合ナリ此外大學校モ甚多ク殊ニ



レーデン ユトレクト ゴロニンゲン ニ在ル 三大學

校ハ最モ盛ナルモノニテ 學生一千百十九人アリ

海陸軍

千八百五十四年陸軍ノ全員五萬七千九百五十九人  
此内士官千六百六十九名 大砲隊ノ人數一萬零九百九十四人アリ

軍艦ハ大小百四十艘之ニ備ル 大砲二千百七十四門  
士官水夫ノ全員六千七百六十人、外ニ海軍士卒千五百八十八人アリ分テ二隊ト為セリ

錢貨出納

千八百五十四年荷蘭ノ歲入一千七百九十五萬八千四百三十八「ドル」ナリ右ノ内

四百七十一萬五千二百十九「ドル」

分頭稅 各頭稅トハ地稅家稅等ノ如ク定リ  
上ヲ云フ物品稅ノ反對ナリ物クテ稅納ハ物ヲ  
製上ヲ運送シ物ヲ賣買スル物ヲ取納スル  
別段ニ運上ヲ出カリトモ常ヲ運上ノ掛リ  
別段ニ運上ヲ出カリトモ常ヲ運上ノ掛リ  
兩様ノ區別ヲ西洋ニテハ拂クトイニダレ  
云フト

四百九十萬零四千八百二十四「ドル」  
港運上

一百十八萬千九百十五ドル

船ノ運上

三十三萬七千五百ドル

飛脚印

二百四十五萬ドル

海外所領ノ地ヨリ別段ノ運上

一百十七萬五千ドル

海外所領支配ノ元金

右ノ外略ス

同年ノ歳出一千七百六十七萬五千九百二十八

ドルナリ右ノ内

二百六十萬ドル

陸軍ノ入用

百四十一萬三千七百五十ドル

海軍ノ入用

九百零五萬二千三百七十一ドル

國債ノ利息

右ノ外略ス

同年荷蘭ノ國債三億零零二十四萬七千零七十五

ドルアリ

西洋事情卷之二 終

福澤諭吉 纂輯

英國

史記

羅馬人初テ英國ニ渡来スルマテハ此國ニセル者  
 ク及ヒゴシツクト云ヘルニ個ノ大家族有テ國民之  
 ニ服役セシト云フ羅馬帝セサルカ英國ニ来リシ  
 ハ紀元前五十五年ノ一ニテ其後九十年ノ間ハ羅  
 馬ノ害ヲ蒙ル一ナク紀元後四十三年羅馬帝コロ  
 ダヌス師ヲ起シテ英國ヲ征シ四十年ノ間ニ全ク其

土地ヲ押領シタリ

羅馬人此國ヲ押領セシヨリ諸術學ヲ傳ヘ文明ノ道ヲ開キ國內ニ三十三都府ヲ設ケ各所ニ軍兵ヲ屯シ街道ヲ作テ諸府及口屯所ノ間ニ往來ノ便ヲ為シ都府ノ外草昧ノ地モ爾後二百年ノ間ニ漸ク之ヲ開拓シノリ此時ニ當テ羅馬ノ武威次第ニ衰徹シテ全國獨立ノ姿トハナリタレ凡國內互ニ爭鬪シテ人民ノ苦難ハ却テ羅馬ノ時ヨリモ甚シト云フ但シ此時代ノ正史ハ後世ニ傳ハラステ事情ヲ詳ニシ難シ紀元四五百年ノ間ニ日耳曼ノ北

方ニサクソント云ヘル人種アリテ英國ニ渡來シ

次第ニ之ヲ押領シタリ此人種ヲアングロサクソ

ント稱セリアングロサクソントハ英國ニ居ルサクソントハ英國

テ諸王ハ自カラ天ノ後胤ト稱シ位ヲ血統ニ傳レ

凡相續ノ定律ナン第二等ハイトルト稱シ今ノ諸

侯ノ如シ第三等ハセラルト稱シ第一等ノ支配ヲ

受ク第一等ト第二等トノ爵位ノ差ハ同盟シテ事

ヲ謀ル凡第二等ノ者五人ノ同說ヲ以テ第一等ノ

者一人ノ說ニ對スヘク又或ハ國法ヲ以テ刑罰ニ

行ハル、其モ第二等ノ者五人ノ命ヲ以テ第一等ノ者一人ノ命ニ當ルヘン諸侯以下數等ノ階級アリテ最下等ナルモノハ奴隸ナリ

アングロサクソンノ支配ノ間、英國ノ地ヲ分ツ法ハ第一ヲ諸侯ノ領地ト爲シ其以下八百戸ニ分チ又十戸ニ分チ各其主長ヲ立テ領地ニ裁判所ヲ設ケテ政ヲ施シ且其領地ニテ小吏ノ爲セルトハ善惡トモ領主ヲシテ其責ニ任セシム又此時ニハ賢明智識ノ集會ナルモノ有テ國民ノ爲政府ニ對シテ總訴歎願スルニハ却テ官途ニ參ル評議官ヨリ

モ權威アリ案スルニ諸侯及ヒ僧官ノ貴キ者ハ此集會ニ加ハリ又國內ノ諸方ヨリモ名代人ヲ送シルヲナルヘシ國王ハ此集會ノ助ヲ以テ法律ヲ施スト雖氏王位相續ノトハ國王ノ意ヲ以テ獨斷スルナリ○耶穌教ノ英國ニ入タルハ紀元後百年ノトナリシカ羅馬滅亡ノ後國內混乱シテ此教法全ク中絶シタリ紀元六百年代ノ始ニ至テ再ヒ之ヲ起シ次第ニ開化ニ赴キ以テ今日ニ至レリ

アングロサクソンノ内ノスセキスノ君「エルラ」ナルモノ諸酋長ト戰ヒ大ニ勝利ヲ得テ一時之ヲ威

服シ紀元四百九十一年ノ頃自カラ「ブレトワルダ」ト稱セリブレトワルダハ不列顛人ヲ支配スル首長ノ義○アングロ、サク

ソン英國ニ渡來シテ多年ノ間諸方ヲ征服スルハニ當テ此人種諸處ニ割據シ各獨立ノ勢ヲナセリ

其獨立國ノ大ナルモノハ「ウエフセキス」「ワスセキス」「ケン」ト「エスヒキス」「デイ」「ライ」「イースト」「アングリヤ」ノ

「ス」「ラム」「ベル」「ランド」是レナリ此七國或ハ興リ或ハ衰へ互ニ相并吞シテ「ブレト、ワルダ」ノ位ヲ傳へ

リ之ヲ七國ノ世ト名ツク紀元八百三十年ニ至テ「ユスセキス」ノ君「エグベル」トナルモノ遂ニ此位ヲ

得タリ世人之ヲ英國一統ノ始祖ト稱ス「エグベル」位ニ即ク「ク」連國人初テ入寇セリ是レヨリ百五十年ノ間屢「ク」國人ニ侵サレテ國內文明

ノ進歩モ之カタメ中絶セリ且「アングロ、サクソン」ノ君ハ國民ト一和シテ防禦ノ策ヲ設ケス却テ内

亂ニ時日ヲ費シ連國ノ大敵侵入スレハ僅ニ薄弱ノ兵ヲ出シテ防禦セシムルノミ其後「サクソン」王

「アゼルスタ」及ヒ「エドモント」ノ世ニ至リ專ラ外敵ヲ防キ内亂ヲ鎮靜スルノ策略ヲ施シタルモ連

人ノ勢益盛ニシテ全英國ヲ掠亂シ「ホムブル」河北

ノ地ニ割據シテ其近傍ニ多ク連人ノ種族ヲ遺シ  
 タリ紀元一千零十七年連人盡ク英國ヲ押領シタ  
 レ氏二十四年ヲ經テ一千零四十一年ニ至リアン  
 グロ、サクツンノ君エドワルト之ヲ恢復シテ國位  
 ニ即キタリ然レ氏エドワルトノ在位ハ唯名義ノ  
 ミニテ英國ノ土地ハ其時ノ六大諸侯及ヒ連人英  
 人ノ酋長ニ分與シテ國王ハ唯空位ヲ守レリ一千  
 零六十六年エドワルト王死シテ子ナシ初メ王ノ  
 在位中ニ ウエスセキス侯 ハロルド竊ニ謀反ヲ企  
 ヲトシ王之ヲ察シテ死ニ臨ミ遺言シテ王ノ子  
 マンダ侯 井ルレム ヲ立テ、嗣子ト為シタリシカ  
 王ノ死スルニ及テハロルド果シテ王位ヲ篡テ自  
 立セリ 井ルレム 乃チ ノルマン 子 ルマン 子 ハ佛  
 ヲリ大兵ヲ擧テ英國ヲ攻メ一千零六十六年 ハス  
 チングスノ決戦ニテ大ニ英ノ師ヲ敗リハロルド  
 ヲ殺シテ英國王ノ位ニ即ケリ之ヲ ハルマ 子 ノ一  
 統ト稱シ アニダ 子 ノ家 系ハ エドワルト  
 ニテ絶タリ

ハルマ子ノ一統ハ英國歴史中ノ一大變革ナリ一  
 統ノ後法律ヲ改メテ王室ノ所領ヲ除クノ外ハ國

内ノ土地ヲ有功ノ武臣六萬人ニ分與シテ世禄ト  
 為セリ但シ世禄ノ法ハ「サクソン」ノ世ト異ナル  
 ナシ右ノ如ク配分シテ英國ノ地過半ハ「ルマン」  
 ノ武臣ノ采地ト為リタレ「尚ヲ」サクソン人及ヒ  
 連人ノ酋長ニテ土地ヲ押領セルモノ多シ此酋長  
 等ハ或ハ政府ノ法令ヲ憚ラスニテ私ニ其土地ヲ  
 保ツモノアリ或ハ政府ニ臣服シ政府ノ免許ヲ得  
 テ之ヲ保ツ者アリ○「ルマン」在位ノ終ニ於テハ  
 英國ノ人口九、二百萬アリ此時ニ當テ國內北方ノ  
 地ハ多ク荒廢シ且「サクソン」ノ世「エドワルト」王ノ  
 氏ヨリ「ルマン」一統ノ兵亂ニ由テ諸州ノ人民過  
 半ヲ失ヒタルヲハ諸書ニ記載セリ之ニ由テ考フ  
 レハ「ルマン」王一代ノ間ニ凡、三百萬ノ人口ヲ減  
 少シタルヘシ  
 一千零八十四年「ルマン」死スルハ其次子第二世  
 「ロフス」井ルレムニ英國ヲ與ヘ長子「ロベルト」ハ「  
 ルマン」ガニ遺シ置キタレハ之ニ其本國ヲ與ヘ第  
 三子「ヘマリ」ニハ母ノ遺物ヲ與ヘタリ第二世「井ル  
 レム」在位ノ間ハ記スヘキ大事件ナシ一千百年遊  
 獵ノ時流矢ニ中テ死ス是ニ於テ英國ノ王位ハ其



兄ロベルトニ傳フヘキ理ナレ此時ロベルトハ  
遇バレスタイン 亞細亞州ニ出師シテノルマンダ

ニ在ラサルニ由リ第ヘスリ間ニ策シテ英國王ノ

位ニ即クヲ得タリ之ヲ第一世ヘスリトスヘス

リ位ニ即テヨリ元トノサクソク王エドガルノ姪

女マナリダヲ娶テサクソン家ヲ同一ノ系統ニ并

セリ○其後ヘスリハ師ヲ起シ兄ノ所領ノルマン

ダヲ攻メロベルトノ歸路ヲ要シ迎ヘ戰テ遂ニ之

ヲ禽ニシ終身獄屋ニ幽閉セリ然レハヘマリ王ノ

ルマンダヨリ凱陣ノ片海上ニテ唯一人ノ男子溺

死シタルハ兄ニ敵對セシ罪科ノ報ヒト云フヘレ

一千百三十五年第一世ヘスリ死シ其姪ステュー

ン立ツ初ノ第一世ヘスリノ女子マナルダアレンジ

ノ君プランテージツトニ嫁シテ一子ヲ生ミ之

ヲ第二世ヘスリト名ツクスステューンニ在位ノ間國

民ヘスリニ望ヲ歸シ之ヲ立テ國王トセント欲

スル者多シ且第一世ヘスリノタメニハ正統ノ孫

ナルカ故ニステューンモ之ヲ拒ムヲ得ス條約

ヲ結テ死後ニ位ヲ傳シテ許シタリ一千百五十

四年ステューン死シ第二世ヘスリ立ツ第二世ハ

英國ノ王家ヲ「プランター」姓ト稱ス 第二世ヘ又  
 リノ氏ハ其本家ノ所領「アングル」近傍ノ地ヲ取り  
 佛蘭西全國ノ三分一ハ英國ニ屬セリ一千百八十  
 九年ヘヌリ死シ其長子「リチャルド」立ツ一千百九十  
 九年「リチャルド」死シテ子ナシ其弟「ジョン」立ツ「ジョン」  
 在世ノ間ハ英國ノ政治大ニ荒廢シタリ此時ニ  
 當テ佛蘭西王「フェリッポ」オーギュスチヌス英明ノ君ニテ  
 近來英國ニ屬セル土地ヲ恢復シテ再ヒ佛蘭西ノ  
 圖版ニ併セタリ然レモ英國ニ於テハ一千百七十  
 二年第二世ヘヌリノ時代ヨリ「アノラント」征伐シテ  
 次第ニ之ヲ押領セルカ故ニ佛蘭西ノ地ヲ失フト  
 モ所得ヲ以テ所失ヲ償フニ足ルヘシ但シ「アノラント」  
 ヲ全ク制伏シタルハ爾後四百年ノイナリ千二百  
 十九年「ジョン」死シ太子第三世ヘヌリ年甫テ九歳  
 位ニ即キ王ノ叔父「ペムブローク」侯政ヲ攝ス千二  
 百七十二年第三世ヘヌリ死シ太子位ニ即ク之ヲ  
 第一世エドワルレドス○一千零六十六年「ハルマ  
 「ジョン」一統ヨリ第一世エドワルドノ即位ニ至ルマテ  
 ノ間ニ記スヘキ事件ノ大略ハ左ノ如シ「ハルマ」  
 一統ノ後ハ封建世祿ノ法ヲ定メ貴族ハ各々土地ヲ

領シテ其領地ノ内ヲ臣下ニ分チ與ヘテ領内ノ政  
 ヲ治メ又右ノ貴族并ニ小祿ト雖臣國王ヨリ直ニ  
 領地ヲ賜ハル者ハ一般ニ集會シテ事ヲ議シ此會  
 議ニテ定タル法律ヲ以テ國中最上ノ權トス故ニ  
 貴族等ハ常ニ國民ト一和シテ其力ヲ藉リ王室ニ  
 向テ爭論シ國王ヲシテ獨リ權柄ヲ專ニセシメス  
 千二百十五年ジヨレ王在位ノ代ニ至テ「マグナ、チャ  
 ルス」大法ト云ヘル法律ヲ定メリ此法律ノ趣旨ハ  
 國王ノ特權ヲ恣ニスル惡弊ヲ防クモノニテ其大  
 意ハ二ヶ条アリ即チ第一條ハ凡ク國民ニ罪アル片  
 ハ必ス支配ノ主人ニテ其罪ヲ吟味シ裁判シテ然  
 ル後之ヲ罰スヘジト「ナリ此ノ條令、後世ニ傳  
 ヘテ時代ニ從ヒ事宜ニ應シ次第ニ變革シテ今日

英國ニ行ハル「トライエール、バイ、ジューリ」ノ法トナ  
 レリ英國ニテハ裁判役ノ獨斷ニテ罪人ヲ吟味シ  
 判ノ正否ヲ見テ之ヲ議論シ必ス立合ノモ其罪ニ伏シ立  
 合ノ處スルナリ其裁判ニ付キ異論ナキニ至テ初テ刑  
 ヲキモスルヲ撰ヒ置キ裁判ノ起ル毎ニ入札ヲ以テ  
 其人數ノ内ヨリ二十四人、或ハ十二人、法ヲ「ト  
 シ、バイ、ジュリ」ト云フ但シムルナリ此法トシテ  
 ノ法ナレバ佛蘭西荷蘭等ニハ此法ナシ第一條ハ  
 國會ノ大議ニテ免許スルニ非サレハ國民ヨリ軍

役ノ代トシテ金ヲ収ム可ラストノナリ此條令  
 ハ唯世祿ノ土地ヲ領セル貴族等ノタメニ益アル  
 ノミニテ國王私家ノタメニハ不便利ナリ後世ニ  
 至テ下院ノ議事官國內收稅ノ權柄ヲ執ルノ法  
 ハ此條令ニ基キタルナリ○此法律ヲ定テヨリ  
 王室ト貴族ト互ニ權ヲ爭ヒ貴族ノ勢次第ニ強盛  
 トナリ第三世ヘヌリノ代ニ至リレイセストルノ  
 君モンフアルトナルモノ一時英國ヲ支配シ千二百  
 六十五年諸方ノ名代人ヲ會シテ國事ヲ議シタル  
 一アリ即チ英國議事院ノ始ナリ○又第二世并ル

レムノ時代ヨリ政府ト寺院トノ間ニ爭論ヲ生セ  
 リ其事柄ハ第一寺院ノ僧官ニテ俗事ヲ取扱フ  
 ニ付キ政府ニテハ俗事ヲ取扱フノ權ハ王室ニ  
 ルカ故ニ王室ヨリ其僧官ヲ命スベシト云ヒ寺院  
 ニテハ此權ハ法皇ヨリ出タルモノナルカ故ニ寺  
 法ニ由テ自カラ之ヲ命スヘシト云ラ第二衆僧ニ  
 罪アルハ政府ニテハ寺院ヲ支配スル權アルカ故  
 ニ國法ニ從テ之ヲ罰スヘシト云ヒ寺院ニテハ寺  
 法ニ從テ之ヲ裁判スヘシト云フステーレン王ハ  
 第一條僧官ヲ命スルノ權ヲ寺院ニ許シタレ氏第

二世ハスリ王ハ痛ク之ヲ拒ミ寺院ノ特權ヲ奪テ  
 舊法ニ復シツリ爾後又寺院ヨリ異論ヲ唱ヘ其勢  
 次第ニ盛ンシテ政府ノ權ヲ壓倒スルニ至リタレ  
 氏三世ヘスリノ世ニ及テ在位ノ長キ間ニ漸ク  
 寺院ノ權ヲ削キタリ○第一世エドソルト在位ノ  
 間ニ國內ノ政治次第ニ整ヒ國政會議ノ様子恰ヒ  
 現今議事院ノ風アリ即チ國內ノ貴族ハ自カラ會  
 議ニ出席シ貴族以下ニテモ采地ヲ領スルモノハ  
 數人ノ内ヨリ名代人ヲ出シテ會席ニ列坐セシメ  
 兩局相別ル、今ノ上院下院ノ如シ然レ氏此會

議ノ人々年月ヲ經ルニ從テ次第ニ權威ヲ張リ國  
 内一般ノ事務ニハ注意セスシテ徒ニ國王ノ命ヲ  
 拒ミ且當時ノ法ニテ貴族ノ領地ハ世々子孫ニ傳  
 ヘ易ハルヲナクシテ陪臣ヘハ新ニ世祿ヲ與フル  
 ヲ禁スルカ故ニ貴族ノ領地ハ益加増シ世祿陪臣  
 ノ數ハ益減セリ○第一世エドソルトノ世ニ於テ  
 ハ寺院ノ俗權ヲ削キタレ氏此事ニ付テ爭論ヲ起  
 ストナシ外國交際ニ於テハ其勢甚盛ナリ又ヲ  
 ルスヲ征服シ蘇格蘭ヲ攻テ殆ント之ヲ服從セシ  
 ヲタリヲソルハ英國東方ノ地ナリ從來獨立國  
 ナリカ此時ヨリ英ノ所領トナリ方今ニ

テモ英國ノ太子ハ  
ラールス侯ト唱フ

千三百零七年第一世エドワルト死シ太子位ニ即

ク之ヲ第二世エドワルトトス第二世エドワルト

ハ父ノ業ヲ繼クヲ能ハス蘇格蘭ト戦テ敗劔シ其

後常ニ國內ノ貴族ト不和ニシテ遂ニ千三百二十

七年議事院ノ評議ニテ王位ヲ廢セラレ幽室中ニ

死シタリ其子第三世モドワルト位ニ即ク年甫テ

ト四歳ナリ第三世エドワルト在位ノ間ニ起タル

大事件ハ佛蘭西トノ戦争ナリ其發端ハ佛蘭西國

王死シテ嗣子ナシ其血縁ノ者ヲ詮鑿スルニエド

ワルトノ母氏イサベラ佛ヨリ英ニ嫁スルモノ最モ近親ニテ

佛蘭西國王ノ位ヲ繼クヘキ理ナレト佛國ノ法律

ニ於テ國位ニ即クモノハ必ス男子ニ限レルカ故

ニイサベラヲ立ラス是ニ於テエドワルト王、議論

ヲ起シ仮令ヒ國法ニテ婦人ノ身ヲ以テハ主位ヲ

繼ク可ラサルトモ其所生ノ男子ナレハ自カラ佛

蘭西國ニ君臨スルノ理アリトテ兵ヲ起セリ是ヨ

リ先キ英國ノ兵ハ蘇格蘭ト戦争中ナレト佛蘭西

ノ事起ルニ及テ國人皆蘇格蘭ヲ棄テ、佛ニ向ヒ

千三百三十七年ヨリ千三百七十四年ニ至ルマテ

三十七年ノ間戦争シテ屢勝利ヲ得遂ニ佛蘭西王  
ヲ生捕リ其國內ヲ掠亂シタレ氏到底英國ニ得ル  
所ノ利ハボルドリバヨシカレリノ地ヲ押領シタ  
ルノミ

第三世エドワルトノ世ニ於テハ七風一面目ヲ政  
ヲ次第ニ文明ニ進ミ又從來ナルマン人トサク  
ソシ人トノ間ハ動モスレハ不和ナリシカトモ佛  
蘭西トノ戦争起テヨリ一般ニ人氣ヲ引立テ却テ  
國內一致シ初テ大英一國ノ風儀ヲ成シサクソシ  
ノ言語モ次第ニ變化シテ英語トナリ文學大ニ進

ミタリ

千三百四十九年惡疫大ニ流行シテ國內ノ人口過  
半ヲ亡ヒコレヨリ諸役夫職人ノ賃銀騰貴セジニ  
舟キ官府ヨリ命ヲ出シ古來ノ割合ヲ以テ賃銀ヲ  
取ラシメントシタレ氏人心之ニ服セス依テ又嚴  
法ヲ設ケ賃銀ノ高下ハ自然ニ任セテ官府ヨリ妨  
ルヲナシト雖氏都テ六十歳以下身體強壯ニシテ  
活計ナキモノハ他人ノ求ニ應シテ奉公セサルヲ  
得ス若シ之ヲ拒ムキハ罪ニ行ヒ且奉公ノ年期中  
ニ出奔シテ他國ニ遁ルモノアレハ直ニ之ヲ召

捕へ其前額ニ奔ノ字ノ焼印ヲ押セリ又此時ニ於  
 テハ佛蘭西トノ戦争ニ由テ軍費足ラサルニ付キ  
 其後通用金ノ位ヲ低クセシカ故ニ物價騰貴シ程  
 テハ職人ノ賃銀モ増スヘキ筈ナレト亦之ヲ禁シ  
 徒ニ官府ノ命ヲ以テ物價ヲ定メ其弊ヲ救ハント  
 シタレト不便ヲ以テ不便ヲ救フノ策ニテ時勢ニ  
 益アルヲナシコレヨリシテ次第ニ國內ノ人心ヲ  
 失ヒ第三世エドワルト在位ノ間ハ無事ナリシカ  
 其嗣子第二世リチャルドノ世ニ至テ内亂ヲ生シ千  
 三百九十九年王ノ叔父ランカストルノ君ヘスリ  
 兵ヲ擧ケリチャルトヲ廢シテ自立ス之ヲ第四世ヘ  
 スリトス此君ハ生来才カアレト寡立ノ後國內常  
 ニ穏静ナラス但シ議事堂ノ法ヲ脩メ上下兩院ヲ  
 一和セシメタルハ在位中ノ大功ナリ第四世ヘス  
 リ死シ太子立ツ之ヲ第五世ヘスリトス第五世ヘ  
 スリ王位ニ即テヨリ祖先ノ志ヲ繼テ佛蘭西ノ國  
 位ヲ兼ントシ兵ヲ起シテ之ヲ攻メ多年ノ間戦争  
 シテ第六世ヘスリノ世ニ至テハ大ニ佛ノ兵ニ克  
 テ殆ント其國ヲ押領セントスルノ勢ナリシカ本  
 國ノ内亂ニ由テ遂ニ兵ヲ引キタリ○初メ第四世



ヘヌリノ死スルハ其嗣子アレハヨルクノ君リキ  
 ルト國位ニ即クヘキ正統ナリトテ兵ヲ舉ケテラ  
 ンカストル家ト戦ヒ四十年ノ間互ニ勝敗アリ  
 世ヘスリハランカストルヨリ起ルヲ以テ第四  
 世ヨリ第六世ヘスリニ至ルマテラカストル  
 家ノ世千四百八十五年ヘヌリ、キョトトルナルモノ  
 ト云フ  
 起テランカストルノ家系ヲ續キヨルク家ノ女ヲ  
 娶テ國內一統ニ歸ス之ヲ第七世ヘヌリトス○第  
 七世ヘヌリノ世ニ於テ記スヘキ大事件ハ封建世  
 祿ノ貴族ヲ壓伏シテ其權ヲ削タル一條ナリ英國  
 舊來ノ風習ニテ國內ノ大貴族多ク家來ヲ養ヒ私

ニ攻伐防禦ノ備ヲナシテ國內ニ威權ヲ張リ他ト  
 爭論ノコアレハ家來ハ各其君ヲ助テ裁判所ニ出  
 テ之ヲ辨論スルノミナラス甚シキニ至テハ國法  
 ヲ犯ストモ君ノ威權ヲ藉リ罪ヲ遁ルヘキヲ知テ  
 君ノ仇トスル所ノ人ヲ襲撃スルコトアリ或ハ又此  
 家來等君ノ手ヲ離レテ浪人スルコトアレハ他ニ活  
 計ノ路ナク強盜ヲ以テ事トナシ英國内亂ノ間ハ  
 其亂暴殆ント極度ニ至レリヘヌリ王位ニ即テヨ  
 リ意ヲ決シテ此惡弊ヲ除カント欲シ種々其處置  
 ヲ施シタルニ遂ニ又戰爭トナリ國內ノ貴族ト戦

テ大ニ克チ一時ニ其權柄ヲ奪ヒ又隨テ其家ヲ没  
 入シ大貴族ノ滅ルモノ甚多シコレヨリシテ貴族  
 ノ勢威全ク地ニ墜テ且其風俗次第ニ游惰ニ流レ  
 其領地ノ者ヲ武役ニ用ユル代トシテ領内ヨリ金  
 ヲ出サシムルニ至テ身賤ノ小民自カラ武事ヲ廢  
 シテ工業ヲ勉メ王室ノ法律ヲ尊奉セリ都テヘヌ  
 リ王ノ政ハ強大ヲ制壓スルノ趣旨ナレバ隨テ又  
 弱小ナル下民ヲ撫育シテ其所ヲ得セシムルカ收  
 ニ貴族ヲ滅シテ後ニ王室ノ特權ヲ張リタルニハ  
 非サルナリ第七世ヘヌリ死シテ太子立ツ之ヲ第

八世ヘヌリトス○第八世ヘヌリ故アリテ其妃ヲ  
 離別セントシテ羅馬法皇ノ許ヲ得ス依テ法皇ト  
 信ヲ絶チ自カラ諸寺院ノ統領ト稱セリコレヨリ  
 先キ日耳曼及ヒ瑞<sup>スウェーデン</sup>西ニ於テプロテスタン<sup>ト</sup>西洋  
 人ノ唱ル耶蘇正教ナルモノニテノ宗門起テ英國  
 天主教ヲ改宗シタルモノト云フノ多ク寺院ノ學僧モ竊ニ  
 ノ人民之ニ歸依スルモノ多ク寺院ノ學僧モ竊ニ  
 之ヲ信仰セシガハ此度國王ト羅馬法皇ト不和ヲ  
 生スルニ至テ矇昧ノ小民ハ益々羅馬ノ天主教ヲ惡  
 ミ且又強暴ナルモノハ天主教ノ寺ヲ毀テ財物ヲ  
 掠奪スルヲ悅ヒ之カ為テプロテスタン<sup>ト</sup>ノ宗門次

第二國中ニ弘マリタリ國王モ從來此ノ宗旨ヲ信  
 スルニハ非サレ<sup>ル</sup>自有カラ寺院ノ統領ト稱シテ羅  
 馬ニ敵對セルカ故ニ止ムヲ得スシテ國人ノ改宗  
 スルヲ許セリ千五百四十七年第八世ヘヌリ死シ  
 テ其一子エドワルト立ノ之ヲ第六世エドワルト  
 トス年甫テ九歳ナリ○エトワルトハ大ニプロテ  
 スタン<sup>ト</sup>ノ宗門ニ歸依シ國內ノ教化次第ニ盛ナ  
 リシカ千五百五十三年不幸短命ニシテ死ス年十  
 五歳ナリ死後其姉マリ立テ女王トナル○此女王  
 ハ專ラ天主教ヲ信シテプロテスタン<sup>ト</sup>ノ宗ノ者ヲ  
 痛シ追捕シ國內宗門ノ為ニ命ヲ落スモノ二百人  
 餘ナリト云フ即位ノ後西班牙王第二世ヒリッスノ  
 配偶トナリタレ<sup>ル</sup>子ナシ千五百五十八年死シテ  
 異腹ノ妹エリサベツト立ツエリサベツトハ元來  
 ロテスタン<sup>ト</sup>ノ教ヲ奉スレ<sup>ル</sup>其宗派ノ人ノ跋扈  
 スルヲ嫌ヒ強テ其宗門ニ左祖セサルカ故ニ天主  
 教ノ人モ憤懣スルヲナクシテ却テ互ニ一致セリ  
 ○封建世祿ノ法次第ニ廢止セシヨリ國內ニ於テ  
 土地ヲ所持セル者ハ新地ヲ開拓シテ其領分ヲ弘  
 ムルノ望ヲ絶チ專ラ其身一代ノ間ニ蓄財スル

西洋事情

卷之三

十七

ノミヲ勉ルカ故ニ開墾スヘキ土地モ自カラ荒蕪  
 ニ屬シ之カ為小民產業ヲ失テ他國へ流移スルモ  
 ノ多シ又亞米利加ノ金坑ヲ發見セシ以來通用金  
 ノ位非常ニ下落シ隨テ諸品物ノ價俄ニ騰貴シテ日  
 諸民困窮セリ固ヨリ物價ノ騰貴スナニ準シテ日  
 雇賃銀モ増シタレヒ物價ノ割合ニ應セスシテ物  
 論穩カナラサルカ故ニ政府ヨリ屢法令ヲ出シ遂  
 ニ十六百零二年救貧ノ大新法ヲ立タリ○エリサ  
 ベットノ世ニ於テハ英國ノ武威内外ニ耀キ阿爾蘭  
 モ四百年前初テ征服シタレヒ此ノ時ニ至テ其服  
 従スルヲ益固ク且又國人航海ノ術學モ一時ニ開  
 ケテ大ニ進歩シタリ千六百零三年エリサベット死  
 シテ子ナシ是ニ於テ蘇格蘭ノ王第六世ゼームス  
 骨肉ノ故ヲ以テ英國王ノ位ヲ嗣キ改テ第一世ゼ  
 ームスト稱セリコレヨリ兩國一統ニ歸シ國ヲ欽  
 不列顛ト名ケ阿爾蘭ヲ併セテ合衆王國ト稱ス○  
 ゼームス王在位ノ間ハ内外無事ニシテ國民太平  
 ノ德澤ヲ蒙リ亞米利加ノ地方ヲ開拓シテ英國ノ  
 所領トナシタルモコノ時ヲ以テ始トス但シ王ノ  
 為人器量偏小ニノ私欲多シ常ニ議事院ト權柄ヲ

争ハ在位二十四年ノ間其爭論止ムコトナシ千六百  
二十五年死シテ太子立ツ之ヲ第一世チャトレスト  
スコノ時ニ當テ議事院ノ威權次第ニ盛大トナリ  
諸州ヨリ名代人ヲ出シテ國政ヲ會議シ上下各其  
所ヲ得衆庶富饒ニ至リタレ氏國王ハ議事院ノ盛  
ナルヲ忌ミ其權柄ヲ奪テ王室ノ威ヲ張ラント欲  
シ即位後四年ノ間ニ三度議事院ノ會議ヲ設ケシ  
カ爾後ハ之ヲ廢ヒリコレヨリ物論蜂起シ之ニ加  
フルニ國內宗旨論ニテ各處ニ徒黨ヲ結ヒ互ニ相  
争鬪シテ殆ント間日ナシ是ニ於テ止ストヲ得ス

議事院ヲ再興シタレ氏遂ニ國乱ヲ救フコト能ハス  
千六百四十九年議事院ノ定議ニテ國王ノ位ヲ廢  
シテ國ヲ合衆政治トナシコロムエルナル者國議  
總督ノ名ヲ以テ政權ヲ專ラニン内外ト戰テ屢功  
アリ千六百五十一年コロムエル死シ其子總督ノ  
職ヲ辞スルニ及テ千六百六十年國人共ニ第一世  
チャトレストノ子ヲ奉シテ國王トナス之ヲ第二世  
チャトレスト名ツク十六百八十五年第二世チャ  
トレスト死シテ其弟立ツ之ヲ第二世ベームスト  
ス位ニ即テヨリ父兄ノ遺風ニ從テ天主教ヲ奉信

シ他宗ニ歸依スルモノヲ惡ハテ甚シク之ニ由テ  
 人心ヲ失ヒ國內又亂ルゼーラムスニ女一男ヲ生ム  
 長女ヲマリト云ヒ荷蘭國合衆政治ノ大統領ヲラ  
 ニ「侯井ルレムニ嫁ス次女ヲアンナト云ニ男下  
 ハ第三世ゼーラムスナレモ幼少ナリ此時ニ於テ國  
 内ノ「プロテスグン」ト宗ニ從フモノハ皆國王ノ忌  
 諱ニ觸レ自カラ其生ヲ安スルヲ能ハサルヲ以テ  
 多クハ荷蘭ニ出奔シテ竊ニヲニ「侯井ルレム  
 ニ依頼ス井ルレム乃キ「プロテスグン」ト宗ノ人ヲ集  
 メテ兵ヲ舉ケ英國ニ向テ其男氏ゼーラムスヲ攻メ  
 シニ國人固ヨリ王ノ暴政ヲ厭ルシトナレハ敵ヲ  
 防クモノトテハ一人モナク國王ノ平生ヨリ頼ニ  
 ニセシ兵卒等モ戈ヲ倒ニシテ後ヲ伐ツノ勢ニテ  
 王ハ遂ニ佛蘭西ニ出奔セリ于時千六百八十八年  
 ナリ是ニ於テ議事院ヨリ國內ニ布告シゼーラムス  
 王ノ位ヲ廢シ井ルレムヲ奉シテ英國王トナシ第  
 三世井ルレムト稱ス井ルレムハ元ト荷蘭合衆政  
 ノ位ニ昇タルカ故井ルレム王位ニ即テヨリ國  
 兩國一君ノ姿ナリ  
 法ヲ寬ニシ議事院ノ權ヲ重クシ王室ノ特權ヲ張  
 ルノ舊弊ヲ除キ宗門ノ議論ヲ鎮靜シ五十年来ノ

國亂ヲ一掃シテ英國ノ歴史更ニ面目ヲ新ニセリ  
 井ルレム<sup>ル</sup>在位ノ間佛蘭西王第十四世<sup>ロイス</sup>天主  
 教ヲ奉信シ<sup>プロテスタン</sup>ト宗ノ人ヲ追捕スル<sup>ト</sup>  
 嚴刻ナルニ付キ英人ノ同宗ナルモノハ遙ニ之ヲ  
 憤リ且佛蘭西王元トノ英國王<sup>ゼトムス</sup>ノ一族ヲ  
 助ケテ其家ヲ恢復セントスル<sup>ト</sup>ニ付キ遂ニ英佛  
 兩國ノ不和ヲ起シテ戰爭ニ及ヘリ○井ルレム<sup>ル</sup>王  
 ノ世ハ國內ノ貿易次第ニ繁盛シ人口益增加ス百  
 年前ハ龍動<sup>英</sup>國ノ人口二十五萬ナリシニ當時ハ  
 之ニ一陪シテ五十萬餘ニ至レリ○十七百零二年  
 第三世井ルレム<sup>ル</sup>死シテ子ナシ王妃<sup>マリ</sup>ノ妹<sup>アン</sup>  
 ナ<sup>ナ</sup>立ツ千七百十四年死シテ子ナシ初<sup>ノ</sup>井ルレム<sup>ル</sup>  
 在世ノ時議事院トノ商議ニテ法ヲ立テ第二世<sup>ビ</sup>  
 一<sup>ム</sup>族及ヒ其他天主教ヲ奉スルモノハ王  
 室血統ノ子孫ト雖<sup>レ</sup>後來國王ノ位ニ昇ル<sup>ト</sup>ヲ禁  
 スヘント<sup>ト</sup>誓ヘリ此度女王死シテ嗣子ナキニ及テ  
<sup>プロテスタン</sup>トノ宗門ニ歸依スル王族ヲ探索ス  
 ルニ第一世<sup>ゼ</sup>一<sup>ム</sup>スノ曾孫<sup>ハ</sup>ノ<sup>イ</sup>ウル<sup>ル</sup>  
 君<sup>ジョージ</sup>ナルモノ最モ近戚ナルヲ以テ乃チ之  
 ヲ迎ヘテ王位ニ即カン<sup>ト</sup>第一世<sup>ジョージ</sup>ト名ク但

西洋事情

卷之三

三

シ第一世ゼーハムス即位ヨリ以来王室ノ姓ヲ「ス  
 ヴル」ト家ト稱セシカ第一世ジョーシヨリ後ハ改テ  
 ハ「ノ」ウル家ト唱ヘリ千七百二十七年第一世  
 「ジ」死シテ太子位ニ即ク之ヲ第二世「ジョーシ」トス  
 王ノ宰相「メルト、ワルボール」ナルモノ第一世「  
 ーシ」ノ世ヨリ力ヲ盡シテ王室ヲ補佐シ蘇格蘭ノ  
 叛賊ヲ平ケ蘇格蘭ノ叛賊トハ「マクドナルド」人心ヲ  
 鎮靜シ第二世「ジョーシ」即位以來十二年ノ間國內太  
 平無事ニシテ諸民其德澤ヲ被ルハ専ラ宰相ノ力  
 ナリ千七百三十九年ニ至テ英國ノ貿易商人等西  
 班牙人カ亞米利加ノ地方ニ於テ貿易ノ利ヲ專ラ  
 ニスルヲ憤リ遂ニ兩國ノ怨ヲ結テ戰爭ニ及ヒシ  
 カ亞生不逞ノ輩此釁ニ架シテ宰相ヲ讒シ遂ニ其  
 位ヲ黜ケタリ○千六百六十八年ノ騷亂ニテ第二  
 世ゼーハムスヲ放逐セシヨリ國內ノ人民王ノ不幸  
 ヲ追想シテ竊ニ徒黨ヲ結ビ「ステュワルド」家ヲ再興  
 シテ舊時ノ政治ニ復セント欲スルモノアリ且佛  
 蘭西ニテヒセームスノ一族ヲ扶助シテ常ニ英國  
 ノ釁ヲ窺ヒシカ此度西班牙トノ戰爭ニ引續キ國  
 内穩カナラサルヲ好機會トシ千七百四十五年第



二世<sup>ビームス</sup>ノ孫<sup>エドワルト</sup>ナルモノ、佛蘭西ヨ  
 リ起テ蘇格蘭西北ノ地ニ渡リ其土地ノ貴族ヲ集  
 ノテ兵ヲ舉<sup>リ</sup>シニ從來其家名ヲ追慕スル輩蜂起  
 雲集シテ之ニ應シ一時ニ兵勢ノ得漸ク南シテ英  
 國ノ本領ニ攻入りタレ<sup>氏</sup>本領ノ人<sup>之</sup>與<sup>ス</sup>  
 ルセノ少ク且佛蘭西ノ應援ナキヲ以テ遂ニ復タ  
 蘇格蘭ニ引<sup>キ</sup>コト<sup>シ</sup>ニ於テ官軍ノ戦ヒ遂ニ  
 敗走シタリ從來蘇格蘭ノ貴族ハ世祿トリシカ今  
 般ノ騷乱平定シテ後政府ヨリ其爵祿ヲ奪ヒ痛ク  
 之ヲ壓伏シコレヨリ國內擾亂ノ患ナシ蘇格蘭兵  
 乱ノ後千七百四十八年英佛其他歐羅巴諸國互ニ  
 和睦ヲ結ヒ日耳曼ノ<sup>アキストラシャツブル</sup>ト云ヘル  
 所ニテ同盟シタレ<sup>氏</sup>コノ和約遂ニ益ナシ此時ニ  
 於テ英國海軍ノ勢名次第ニ盛ニシテ遂ニ歐羅巴  
 諸國ニ冠<sup>ス</sup>ルニ至リシカハ佛蘭西ハ其海軍ノ威  
 權ヲ英ニ奪ハレタルヲ憤リ之ヲ恢復シテ海外ノ  
 所領ヲ廣クヒント欲シコレヨリ英佛ノ間ニ隙ヲ  
 生シ又同時ニ普魯士ト<sup>オーストリア</sup>トノ戦争モ未タ収  
 ラス歐羅巴各國ノ事體紛擾或ハ合縱シテ英ヲ攻  
 ヲ或ハ連衡シテ佛ヲ敗リ遂ニ全州ノ大騷乱トナ

リ千七百五十六年ヨリ七年ヲ經テ漸ク平和ニ復  
 シタリ世人之ヲ七年ノ師ト唱フ千七百六十年大  
 戦争ノ央ニシテ第二世ジョージ死シ其孫第三世ジョ  
ージ立ツ戦争ノ初ヨリ英國ノ宰相チャツサム、ピット  
 ナルモノ文武兼備ノ才徳ヲ以テ内外ノ事ヲ處置  
 シ英國ノ兵常ニ勝利ヲ得テ其威名世界中ニ耀キ  
 シカ第三世ジョージ位ニ即クニ至テコノ宰相ヲ信  
 用スルヲ能ハス遂ニ之ヲ退ク他人ヲ舉テ其職ニ  
 代ハラシメコレヨリ英國ノ武威俄ニ衰微シテ七  
 年ノ師ハ終ニ至リ各國ト和約ヲ結テ英國ハ北亞  
 米利加ノカナダヲ取レリ○七年ノ師正定シテ後  
 ハ海外所領ノ地ニ於テ人民次第ニ繁殖シ亞米利  
 加ニ在ル領地ノ内カナダヲ除キ其余ノ地方ヲ分  
 テ十三州トナシ其人口二百五十萬ニ及ヘリ其外  
 東印度並ニ西印度諸島ノ地モ次第ニ開拓シテ富  
 饒トナレリ○第一世ジョージノ世ヨリ以來英國內  
 ニハ記スヘキ大事件ナシ連年五穀豊熟シテ下民  
 安樂ヲ極ノリ千七百十五年ヨリ千七百六十五年  
 ニ至ルマテ五十年ノ間ニ凶年僅ニ三次小麥ノ價  
 千六百年代ニ比スレハ半價ヨリ少シク貴キノミ

人口ハ甚ク増加セス千七百二十年國內ノ人員五百三十萬ナリシモノ千七百六十年ニ至テ六百四十萬人トナレリ故ニ職人役夫ハ日傭錢ヲ以テ自カラ富ヲ成シ更ニ苦情ヲ訴ルモノナク國內一般ノ風俗文明ニ赴キ禮義ヲ重シ次第ニ粗暴ノ舊習ヲ脱セリ○第三世ジョージノ世ニ至テ國民産業ヲ脩メ工作ヲ勉メ益富饒ヲ致シテ數年ノ間俄ニ全國ノ風ヲ一變シ人々皆門閥ヲ貴フノ政ヲ嫌テ自カラ不羈獨立ノ意ヲ生シ議事院ニテ國政ニ關ル者ノ内ニモ亦此黨ノ人アリテ專ラ下民ヲ寛裕ニシ門閥ニ關ラサルノ說ヲ唱ヘシカハ政府ノ命ヲ以テ此黨ノ長タル井ルクスヲ議事院ヨリ黜ケタリコレヨリ國民不和ヲ起シ遂ニ一大事件ノ緒由トナレリ從來英國ニテ法ヲ寬ニシ門閥ヲ廢スルノ說ハ千六百五十年代ノ比ヨリ盛ニ行ハレテ其黨ノ人北亞米利加ノ領地ニ住居スル者多カリシニ此度本國ニテ同黨ノ黜ケラレタルヲ聞テ既ニ同情相憐ムノ意ヲ生シ之ニ加フルニ當時遇マ英國政府ヨリ亞米利加諸州ヘ加稅ヲ取ルノ命令ヲ下タセシカハ州民大ニ憤怒シ遂ニ千七百七十六

年兵ヲ擧テ本國ニ叛キ獨立ノ檄文ヲ布告シタリ  
 亞米利加ノ叛賊ハ其勢固ヨリ強盛ナルモ兵威ヲ  
 以テ之ヲ壓伏ス可カラサルニ非サレ氏佛蘭西、西  
 班牙、荷蘭ヨリ竊ニ其聲援ヲナシ且英ノ本國ニテ  
 モ他ノ歐羅巴諸國ト戰爭起リ内外ノ事多端ニシ  
 テ賊徒ヲ征服スルヲ能ハス千七百八十三年ニ至  
 テ遂ニ和約ヲ結ヒ亞米利加ノ獨立合衆國タルヲ  
 許シタリ○亞米利加戰爭ノ代英國ノ宰相「ポルト  
ノルス」專ラ軍務ヲ司リテ大ニ人心ヲ失ヒ又同職  
 セ「ームス」、「フラクス」ハ後來亞米利加戰爭ノ「ニ」付キ

ノ「ルス」ノ説ト相反シテ互ニ歡ヲ失ヒシカ戰爭ノ  
 終ニ至テ再ヒ相和シ議事院ノ官員中ニテ最モ權  
 威アル貴族輩ヲ引テ徒黨ヲ結ヒ相共ニ謀テ王室  
 ノ權ノ削キ議事院ヲ盛大ニメント欲シ新令ヲ建  
 テ印度地方ヲ議事院ノ支配ニ屬セントセシカハ  
 王ハ固ヨリ此徒黨ヲ惡ミシ「ナレ」ハ此度新令ヲ  
 出サントセシヲ宰相等ノ罪ニ歸シテ之ヲ黜ケ「セ  
ツサム」、「ピット」<sup>第二世</sup>「ジョー」ノ少子「非ル」、「レム」、「ポット」ヲ用  
 ヒテ事ヲ任セリ然ル所議事院ノ下院ニテハ議論  
 蜂起シ皆其命ニ服スルモノナク事情甚困難ナリ

シタ<sup>ピット</sup>ハ既ニ王ノ委任ヲ受ケ且國內ノ人心痛ク<sup>ノル</sup>徒黨ヲ惡ミ又裁判局ニテモ<sup>ピット</sup>ノ説ニ左祖セシカ故ニ此機會ニ乘シテ遂ニ大事業ヲ達シ議事院ヲ一掃シテ下院ノ異議ヲモ論破シ新ニ其法ヲ改ル<sup>ヲ</sup>得タリ此時<sup>ピット</sup>ハ年二十四歳ナリコレヨリ新宰相ノ威名國內ニ行ハレ尚又人才ヲ擧<sup>フ</sup>各其所ヲ得セシメ共ニ國事ヲ議シ之ニ由テ從來不逞ノ輩モ次第ニ宰相ノ處置ヲ悅<sup>フ</sup>ニ至リ任職ノ後十年ノ間國內周<sup>ラ</sup>太平ノ德澤ヲ被リタルハ宰相<sup>ピット</sup>ノ力ナリ○千七百五十年ヨリ千七百七十年ノ間ニ英國内ニ大土エヲ起シテ水道ヲ通シ運送ヲ便ニシ千七百六十七年ニハルグリ<sup>リット</sup>氏紡績ノ機關ヲ發明シ千七百六十九年ニハ<sup>ワット</sup>氏ノ發明ニテ蒸氣機關ヲ改正スル等工作製造ノ法術一時ニ進歩シタルヲ以テ貿易商賣ノ交<sup>ハ</sup>俄ニ繁昌シ第三世<sup>ジョージ</sup>即位ノ比ハ英國一歲輸出品ノ高千五百萬<sup>ホン</sup>トナリシカ佛蘭西騷亂ノ初ニ至テハ其高増シテ二千五百萬<sup>ホン</sup>トニ上レリ但シ國債ハ亞米利加戰爭ノ故ヲ以テ昔日ニ比スレハ一陪<sup>マセリ</sup>○<sup>ナホレ</sup>拿破崙ノ騷亂ハ千

八百二年 アミーンノ和睦 英佛ノヲ以テ中期トナ

シテハ睦ノ前ハ英ノ海軍武威ヲ振テ佛蘭西、荷蘭

ノ海外所領ヲ奪却シタレ 陸兵ハ常ニ佛蘭西ニ

破ラレ嘗テ勝利ナシ和睦ノ後ニ至テ宰相 ピットノ

處置皆其功ヲ奏セス然レ 亦斷然トシテ佛蘭西

ノ指揮ヲ受ルノ意ナシ進退コ、ニ窮テ他人ニ職

ヲ讓リタレ 千八百三年佛蘭西トノ和睦破ル、

ニ及テ再々職ニ歸リタリ ○宰相 ピット 在職中ノ大

功ハ阿爾蘭ヲ合併シタル一事ナリ阿爾蘭ハ昔年

ヨリ英ノ所領タレ 本國政府ヨリ官吏ヲ遣テ其

士人ト政ヲ議シ自カラ別政府ノ姿ヲ為シタリシ

カ千七百九十八年其部内ニ騷乱起リタルヲ以テ

宰相 ピット 其機ニ乘シ全ク之ヲ制伏シテ其別政府

ヲ廢シ新ニ法ヲ定メ阿爾蘭ヨリ人物百名ヲ撰擧

シテ下院ノ議事官トナシ亦上院ノ議事官ヲモ撰

擧スルノ例ヲ立タリ ○再々佛蘭西トノ和ヲ破リ

シトキ英國ハ オーストリア、ロシア、 シリ國ト同盟シ佛

ノ兵ト戰テ屢利ナシ千八百五年 タラハルガル 岬

ノ内 西班牙ニ 於テハ英ノ水師提督 子ルツン 佛蘭西、西

班牙ノ軍艦隊ヲ破滅シタレ 同年日耳曼ノ オ

スールツツ一於テ墾魯ノ兵、拿破崙ノ為ニ破ラレ  
テヨリ同盟ノ兵勢遂ニ振ハス拿破崙ハ其兵ノ向  
テ所天下ニ敵ナク意氣充満シテ遂ニ又西班牙ヲ  
伐テ之ニ勝テ國王及ヒ王族ヲ廢シ其弟ジョーゼフ  
ヲ佛蘭西ヨリ迎立テ西班牙王トナシタリ蓋シ西  
班牙王ハ佛蘭西ノ先王ト同族ニテ「ボルボン」姓ナ  
ルカ故ニ拿破崙ノ私心ヲ以テ之ヲ惡ムナリ西班  
牙ノ王族廢滅セラレテヨリ其國民拿破崙ノ強暴  
ヲ憤リ王室ヲ恢復セントテ兵ヲ擧テ佛蘭西ニ叛  
キシカハ英國ハ之ヲ好機會トシ西班牙人ヲ煽動  
鼓舞シテ軍用金ヲ與ヘ兵ヲ貸シ相共ニ盟約シテ  
佛蘭西ノ寇ヲ防キタレハ佛軍強盛ニシテ其鋒ニ  
當ル可ラス次テ英國ノ將軍エルリントン同盟ノ  
兵ヲ指揮スルニ及テ事體一變シタリ○エルリン  
トンハ千七百六十九年阿爾蘭ニ生レ少年ノ代ヨ  
リ佛蘭西ニ遊テ兵法ヲ學ヒ千七百八十七年仕テ  
英國歩兵隊ノ士官トナリ千七百九十七年東印度  
ニ行テ其土人ト戦テ功アリ千八百五年英國ニ歸  
リ連國及ヒ葡萄牙ノ為ニ戦テ勝利ヲ得、各國ヨリ  
非常ノ褒賞ヲ受ケ尚又此度ヒ西班牙及ヒ英國ノ

將軍ト為テ同盟ノ兵ヲ指揮シテ佛蘭西ト戰テ屢之ヲ破リ千八百十三年ウツトリヤノ一戰ニテ盡ク佛蘭西ノ兵ヲ西班牙ヨリ追ヒ出シタリコレヨリ先キ拿破崙四十五萬ノ兵ヲ卒ヒテ魯西亞ヲ攻メシニ飢寒ノ為多ク兵卒ヲ失ヒ僅ニ殘兵ヲ集メテ佛蘭西ニ歸リコレヨリ各國ノ兵再ヒ蜂起シ力ヲ合セテ佛ヲ攻メ千八百十四年遂ニ拿破崙ノ位ヲ廢シテエルバ島ニ流シタリ翌年ノ春拿破崙エルバ島ヨリ歸テ再ヒ兵ヲ起シタルヲ以テ英國ノ將軍エルリントン同盟諸國ノ兵ヲ指揮シタリト

ロニ於テ佛ノ兵ト戰テ大ニ之ニ克チ拿破崙ヲ捕テシントヘレナ島ニ流シ多年ノ騷亂初テ平定シタルハエルリントンノ武功ト云フヘシ是ニ於テ英國ハエルリントンヲ以テ全權使節ト為シ各國ノ使節與地利ノ首府タリオンナニ會同シテ和約ヲ結ヒ各其侵地ヲ舊ニ復シタリ拿破崙ノ騷亂ニ於テ英國ハ唯其侵入ノ害ヲ被ラサルノミニテ戰爭ニ由テ得ル所ノモノハ甚少シ戰爭ノ間ニ押領シタル荷蘭ノ所領瓜哇<sup>ジャバ</sup>及ヒ其他ノ領地モ皆其舊主ヘ返シタリ



多年戰爭ノ間英國内ヨリ官ニ收納スル貢税ノ高甚多シ騷亂ノ終ニ至テハ一歳入税ノ高六千萬リ  
ントニ近ク海陸ノ軍役ニ出ル者五十萬人許ナリ  
毎歳右ノ税額ヲ收納スルノ外ニ國債ノ増シタル  
一六億ポンド余ニ上レリ國用ヲ費スル斯ノ如ク  
莫太ナルモ千八百三年ヨリ千八百十五年ノ間ハ  
國內最モ富饒ヲ致セリ蓋シ其故ハ一ニハ國民皆  
騷亂ノ禍ニ羅リ止ムヲ得スシテ工業ヲ勤ムル  
ト一ニハ騷亂ノ以前ヨリ蒸氣機關等ノ學術俄ニ  
進歩シテ製造ノ工業大ニ便利ヲ得タルトニ由テ

ナリ

第三世 ジョージ 在位ノ終ニ至リ年既ニ老ヒテ事務

ニ倦ミ内外ノ政事ハ皆太子ニ委任セリ千八百二

十年死シテ太子立ツ之ヲ第四世 ジョージ トス 在位

十年ニシテ死シ其弟位ニ即ク之ヲ第四世 井ルレ

ハトス佛蘭西騷亂ノ後ハ歐羅巴州内都テ平穩ニ

シテ英國ニモ記スヘキ大事件ナシ千八百三十七

年第四世 井ルレム 死シテ子ナシ由テ第三世 ジョー

ジノ子ケン  
ト 侯ノ女子 フレクトリヤ ヲ立ツ即チ現

今ノ英國女王ナリ 阿片始ホト云フ書ニ英國女王  
妹松將ト為テ攻入タルヲ支

那ニテ生捕リ云々ト記、リ然ルニテヒクトリセハ  
ハ十八百四十年ノ比ニテ凡弟姉妹ナシ且阿片ノ師  
ナリ其妹ナラハ十七八歳ノ女子ニテ大軍ヲ帥ヒ  
支那ヲ攻メタル乎安説ノ甚シキモノナリ此外交那  
人ノ著シタル夷匪犯疆録等ノ書アリテ方今曰舎  
ニ行ハルヒ凡盡ク虚説ノ小説○千七百年代ノ終  
ナリ學者謹テ之ニ惑フ可ラス  
ヨリ英國人阿片ヲ支那ニ輸入シテ其國人ト密ニ  
賣買スルヲ支那ノ官吏憤怒シ英斷ヲ以テ此賣買  
ヲ禁セント欲シ英國ノ「カピタ」官名「エリット」ヲ捕ヘ  
切カシヲ價三百萬ポントノ阿片ヲ出サシメ盡ク  
之ヲ燒棄タリ事遂ニ戰爭ニ及ヒ支那人敗衄シテ  
英ノ為ニ廣東寧波及ヒ舟山島ヲ取ラレ次テ和議

フ乞ヒ香港ヲ割テ英ニ與ヘ五港ヲ開キ又英國ノ  
商賣品ヲ燒棄タル償金トシテ二千一百萬ドルヲ  
ルヲ三年賦ニ約束シテ英國へ與ヘタリコレヨリ  
英人ハ香港ヲ開テ貿易場トナシ今日ノ繁盛ニ至  
レリ

政治

英國ノ政治ハ年代ニ從テ變遷シ其時々ノ人智ト  
實驗トニ由テ體ヲ成セルモノニテ國初ノトキ預  
政治ノ本論ヲ立テ次テ之ヲ實地ニ施シタルニ非  
ラス唯知ラス識ラスシテ今日ニ至リ其景況ヲ見

ルニ嘗テ先見ノ識アリテ後世ヲ慮レルカ如シ殆  
 ント是レ人カニ非ラス天ノ然ラシムル所ト云フ  
 ヘシ又道理ヲ以テ論スレハ斯ク自然ニ任シテ人  
 意ヲ交ヘサル政治ニ於テハ必ス乱雜ノ事アル可  
 キニ却テ然ラサルハ識者モ辨解スルヲ能ハス○  
 其政體血統ノ君主、國內ニ號令スルノ權アレハ別  
 ニ法律アリテ君主ノ權ヲ抑制ス此法律ハ三局ヨ  
 リ出ルモノナリ即チ三局トハ王室ヲ第一局トシ  
 上院ヲ第二局トシ下院ヲ第三局トス三局ノ内、國  
 王ノ位ヲ最上ト定ムレハ最上ノ權アルニ非ラス

上院下院ハ各別局ニ於テ事ヲ議シ説ヲ述ヘ國王  
 ヲ第一等ノ地位ニ置キ三局會同シテ政ヲ議ス所  
 謂議事院ナリ國政ニ關ハル事ハ先ツ其事ヲ起シ  
 タル局ニテ同議決定シ次テ又他局ノ議ヲ經テ異  
 論ナキ片之ヲ國王ニ奏シ其免許ヲ得テ初テ一定  
 ノ國法ト為ス即チ國王ノ免許ヲ得ル日ヲ以テ其  
 法ヲ施行スルノ月限トスルナリ又王室ヨリ議ヲ  
 起ス、アリト雖モ上下兩院ニテ異論アレハ之ヲ  
 施行スルヲ得ス○上院ハ其議事官四百三十七人  
 第一王族太子以下現今女王ノ贅婿ト第二不列顛ブリテン

ノ貴族第三代任貴族第四教化師以上四類ノ會集  
 ナリ右ノ内王族及ヒ不列顛ノ貴族ハ世々其官位  
 ヲ子孫ニ傳レレ代任貴族ト唱ルモノハ蘇格蘭並  
 ニ阿爾蘭ノ貴族ヨリ互ニ人物ヲ撰舉スルモノニ  
 テ官位ヲ子孫ニ傳フルヲ得ヌ即チ蘇格蘭ヨリハ  
 十六人ヲ出シ毎年新ニ撰舉ス阿爾蘭ヨリハ二十  
 八人ヲ撰舉シテ終身職ニ在リ教化師ハ宗門ニ係  
 ルモノニテ英倫及ヒ阿爾蘭ノ合衆寺院ヨリ出ツ  
 英倫ヨリ出ルモノ、總人數ノ内四人ヲ除キ他ハ  
 皆終身官位ニ居リ阿爾蘭ヨリ出ルモノハ毎年四

人ツ、順番ヲ以テ議事ニ參ルナリ○上院ノ長官  
 ヲカンセロルト云フ國璽ヲ預ル且上院ハ國政ヲ  
 議スルノ外ニ刑獄ヲ司ルノ權アリテ國中最大ノ  
 裁判ハ此局ニ止ル○下院ノ議事官ハ國民ノ撰舉  
 スルモノニテ在職七年毎ニ交代スル法ナレト尋  
 常七年ヨリ短キヲ例トス議事官ノ數六百五十八  
 人アリ國內諸方ヨリ撰舉スル員數ノ法、次ノ如シ  
 耶ナ英倫四十郡ヨリ百四十四人大學校ニ所ヨリ  
 四人百八十六都府ヨリ三百二十三人ヲ撰舉シ合  
 計四百七十一人ナリヲールス十二郡ヨリ十五人

五十七都府ヨリ十四人ヲ撰舉シ合テ二十九人ナ  
 リ蘇格蘭三十三郡ヨリ三十人七十六都府ヨリ二  
 十三人ヲ撰舉シ合テ五十三人ナリ阿爾蘭三十二  
 郡ヨリ六十四人大學校一所ヨリ一人三十三都府  
 ヨリ三十九人ヲ撰舉シ合テ百五人ナリ○下院ノ  
 長官ヲスベークルト云フ此長官ハ毎年議事院ヲ  
 開クトキ同局ノ議事官中ヨリ互ニ撰舉スルモノ  
 ナリ上院下院共ニ國政ニ關スルハ同様ナレト下  
 院ハ錢穀手形ノヲ議論スルノ特權アリ此特權  
 ハ上院ノ羨ム所ナレト決シテ之ヲ他ニ許サス總

テ金錢ノヲ下院ニテ一定スレハ上院ヨリ之ヲ  
 變スルヲ得ス○政府ノ號令ハ國王ヨリ出ルニ非  
 ラス王室ヨリ出ルモノト視做セリ王室ノ大臣十  
 四名アリ其内最モ權威アルモノハ第一錢貨出納  
 ノ權ヲ執ル宰相ニテ即チ大閣老ナリ第二賦稅事  
 務宰相第三刑法事務宰相即チ上院ノ第四内國事  
 務宰相第五外國事務宰相第六海外所領事務宰相  
 此外ノ大臣ハ王室ニ定位ナクシテ參議スルモノ  
 ナリ海陸軍ノ事務ヲ司ル○右ノ如ク律ヲ定メ國  
 内治乱ノ責ニ任スルモノハ國王ニ非ラスシテ事

務宰相ナリ故ニ宰相タルモノ議事院及ヒ國民ノ  
 信ヲ失ヘハ事柄ノ是非ヲ論セスシテ其宰相ノ職  
 ヲ免シ他人之ニ代テ其職ニ任シ國ノ爭端ヲモ開  
 クヘキ難事ヲ平和シテ痕跡ヲ殘スコナシ故ニ其  
 政治ノ景況恰モ精巧ナル器械ノ如ク一體ノ内自  
 カラ調和ノ妙機アリ若シ外ヨリ強暴ヲ以テ之ヲ  
 壓スル歟或ハ内ヨリ互ニ不和ヲ生シテ離散スル  
 等ノコナクハ此政治ハ天地ノ共ニ永久スヘシ

○英國ニ於テハ政府ヨリ人ヲ教育スルノ法律ヲ  
 建ルコトナク多クハ宗門ノ社中ニテ學校ヲ設ケ國

中人々ノ意ニ任シテ其入用ヲ出サシメ一歳ニ集  
 ル所ノ金高甚多シ小學校ノ如キハ大概皆此法ニ  
 由テ設ルモノニテ凡ソ少年ヲ教育スルニ金ヲ費  
 スコト多キハ世界第一ト云フ可シ但シ政府ヨリ  
 ノ取締リナキヲ以テ或ハ此金ヲ用ルニ趣意ヲ失  
 フコトモアレハ政府ヨリ之ニ關係スルコトアラハ隨  
 テ又弊害ヲ生ス可キカ故ニ其利害得失知ル可ラ  
 サルナリ學校ニ備ヘタル積金ノ利息並ニ毎年國  
 中ヨリ寄附スル所ノ金高ノ總計スル所ハ年々四  
 十萬ポントニ及フヘシ○右ノ小學校ハ專ラ上等

中等ノ人ヲ教ユル為ニ設ケタルモノナレバ近來  
 ハ又貧賤ノ子ヲ教育シテ國ノ文明ヲ十分ニモン  
 トテ益々學校ヲ設ケ中ニ就テ日曜學校ト唱フルモ  
 ノアリ此學校ニテハ日曜日ノ夕毎ニ教授スルヲ  
 以テ此名ヲ得タリ○千八百五十一年英倫及ヒ  
 一ルスノ人口一千七百九十二萬七千六百九人ニ  
 シテ尋常學校ノ生徒二百十四萬四千三百七十八  
 人、日曜學校ノ生徒二百四十萬七千六百四十二人  
 アリ故ニ之ヲ人口ノ數ニ比例スレハ尋常學校ノ  
 生徒ハ人口八人三分六釐ト一人トノ如ク日曜學

校ノ生徒ハ人口七ノ四分五釐ト一人トノ如シ○  
 學校ニテ人ヲ教育スルノ法ハ普魯士、荷蘭等ノ諸  
 國ニ一等ヲ讓ルト云フモノモアレバ其實ニ然ル  
 ヤ否ハ知ル可ラス但シ英人ノ學術工作ノ諸科ニ  
 於テ他國人ニ超越スル所以ハ教育ノ行届タルニ  
 非ラス唯其國律寬裕ニシテ人ヲ束縛セス人々ヲ  
 シテ其天稟ノ才力ヲ伸ヘシムルニ由テ然ルナリ

海陸軍

英國ノ廣大ナルニ準スレハ兵卒ノ數モ必ス多カ  
 ラサルヲ得フ然ルニ國民ノ數、兵卒ノ數トヲ割

合ニスレハ歐羅巴州中ニ於テ英國ノ常備兵最モ  
 少シ千八百五十二年ノ記載ニ從ヘハ國王ノ親兵  
 千三百騎ト歩兵五千二百人ヲ合テ兵數凡ソ十二  
 萬九千六百二十五人之ニ大砲隊ノ兵一萬四千四  
 百十人ヲ加テ總計十四萬四千零三十五人ナリ此  
 内本國ニ在ルモノハ僅ニ五萬千九百四十七人ニ  
 シテ他ハ皆海外所領ノ地ニ備ヘリ又本國ノ兵ヲ  
 二部ニ分チ三萬零三百五人ハ不列顛ニ備ヘ二萬  
 千六百四十人ハ阿爾蘭ニ備ヘリ故ニ防禦ノ兵陸  
 軍ノ勢ハ遠ク海軍ニ及ハサルヘシ又英國ハ四方

海岸ノ地ト雖モ天險ノ要害アリニ非ラス唯人力  
 ヲ以テ防禦スヘキノ國ナリ往古北方ノ敵連國人  
 軍艦ヲ以テ急ニ其海岸ヲ襲ヒシニ地方廣遠防  
 禦ノ力足ラスシテ敗衄ヲ取タルアリ是レ全ク  
 要害ノ頼ムヘキモノナキニ由テナリ故ニ方今ト  
 雖モ英國ニ於テ海軍ノ武威ヲ失ハ、海岸ヲ防禦  
 スル能ハサルト昔日ノ如クナルヘシ千八百五十七年ノ記載  
 二ハ陸軍ノ總數十四萬九千六百三十人此内歩兵  
 騎兵ノ士官五千八百七十一人同誓古士官刺心方  
 大鼓方九千二百九十九人砲隊ノ士官四百四十三  
 人同誓古士官並ニ士卒一萬六千六百五十五人外  
 二軍馬ノ數九千八百六十四疋ト云フ



英國ニテハ兵卒ヲ舉ルニ定法ナシ人々ノ意ニ任  
 セ軍役ヲ好ムモノヲ取テ兵卒トテフ其給料ハ仕  
 役ノ年數ト職業ノ異同トニ由テ多寡アリ即チ親  
 兵ノ騎士ハ一日ノ給料一「シルリング」九「ペン」ス乃  
 至ニ「シルリング」尋常ノ騎兵ハ一日「シルリング」四「ペ  
 ン」親兵ノ歩卒ハ一日「シルリング」二「ペン」尋常ノ  
 歩兵ハ一日「シルリング」一「ペン」ト定ノリ然レモ無  
 事ノ日屯所ニ居ルキハ食料ノ代トシテ六「ペン」ス  
 ヲ引キ又衣服諸具モ官府ヨリ與フレモ其代トシ  
 テ給料ノ内ヲ引クカ故ニ兵卒ノ手ニ受取ル高ハ

甚タ少シ但戰爭ニテ手痲ヲ蒙リクルモノ並ニ老  
 年ニ及テ軍役ニ出ルヲ能ハサル者ニハ官府ヨリ  
 扶助金ヲ與テ生涯ヲ終ラシム

○英國ノ海軍ハ往昔ヨリ熟練セル所ニテ國中第  
 一ノ武備ナリ千七百零七年上院ノ議事官ヨリ女  
 王「アンナ」ニ呈シタル上書中ニ云ク此國ヲ富強ニ  
 為シテ榮名ヲ世ニ耀カス所以ハ海軍ヲ盛大ニシ  
 テ貿易ヲ勉メ其守護ヲ為スニ由テナリ中略故ニ陸  
 下海軍ヲ以テ國中第一ノ事務トシ專ラ之ニ注意  
 シ給ハン「臣等ノ深ク懇願スル所ナリト此時ニ

於テモ上院ノ議事官ハ國內ノ人心ヲ察ンテ上書  
 シタルヲナレハ英人ノ海軍ニ意ヲ用ユルハ往昔  
 ヨリ今日ニ至ルマテ同様ナルヲ知ルヘシ  
 海軍ノ帆前船蒸氣船ノ數之ニ備ル大砲ノ數並ニ  
 蒸氣機關ノカラ馬ノ力ニ比例シタル數ヲ記ルス  
 左ノ如シ但シ千八百五十年ノ書記ニ出ルモノ  
 ナリ

第一等ノ軍艦十九艘各大砲百二十挺百十九挺乃  
 至百十挺ヲ備ヘ砲數合テ二千二百十六挺

第二等第三等ノ軍艦七十六艘各大砲百四挺乃至  
 七十挺ヲ備ヘ砲數合テ六千百九十六挺

第四等第五等第六等ノ軍艦百二十六艘各大砲五  
 十五挺乃至十八挺ヲ備ヘ砲數合テ四千八百七十  
 三挺

スル一ノ船七十九艘各大砲十八挺乃至八挺ヲ備  
 ヘ砲數合テ九百八十六挺

アリノ船十六艘各大砲六挺乃至三挺ヲ備ヘ砲數  
 合テ七十八挺

蒸氣「ブレガット」船二十二艘蒸氣力ノ總計一萬二千  
 二百二十二馬力大砲ノ數合テ二百八十一挺

蒸氣スル<sup>1</sup>ゴボ<sup>1</sup>船四十二艘蒸氣力ノ總計一萬三千三百馬力大砲ノ數合テ二百五十一挺

蒸氣コンボ<sup>1</sup>ト船三十八艘蒸氣力ノ總計六千七百四十八馬力大砲ノ數合テ百二十五挺

蒸氣ス<sup>1</sup>ク<sup>1</sup>子<sup>1</sup>船二艘蒸氣力ノ總計百二十馬力大砲ノ數合テ二十挺

右ノ外番船ニ用ル第四等軍艦ノ蒸氣力總計三千八百馬力

總計軍艦四百二十艘大砲一萬五千零二十六挺其内蒸氣船百十四艘蒸氣力合テ三萬六千八百八十馬

力但シ蒸氣飛脚船ハ此數ニ算入セ  
航海ノ士官水夫二萬九千五百人水戰ノ士官兵卒一萬三千五百人總計四萬三千人

海軍ノ總督ヲ<sup>1</sup>ロ<sup>1</sup>ルド、ハイ、アドミラルト云ヒ海軍局ノ全權ヲ執リ士官ヲ命シ其褒貶黜陟ヲ為シ軍艦隊ノ法則ヲ定ル等ノ事務一切之ヲ司ル但シ海

軍ノ大法ハ議事院ヨリ出ルナリ  
海軍士官トナルモノ、初ノハ先ツ無役ニテ軍艦

ニ乘リ次テ手傳士官トナリ手傳士官ノ職ヲ勤ム

ル<sup>1</sup>ト六年ニシテ年十九歳ニ至レハ吟味ノ上ニテ

下等士官トナリ次第ニ等級ヲ進ムヘシ是等ノ進  
 退ハ皆海軍局ノ評議ニテ定マルモノアリ又海軍  
 ニ入ル前ニ「ホールトマウス」ノ海軍學校ニテ教授  
 ヲ受クルモノハ例外ノ等級ニ登ル可シ○水夫ハ  
 人々ノ意ニ任セテ仕役スレモ事變アリテ人数不  
 足スル片ハ政府ノ威權ニテ強ヒテ海軍ノ水夫ヲ  
 取ルヲモアリ 爾後年々蒸氣船ノ數ヲ増シ千八百  
 ナリ・云フ 六十三四年ニ至テハ大小ノ軍艦合

錢貨出納

歐羅巴諸國ニテ英國ノ租稅最モ多ク千八百五十  
 四年ニ至テハ一歳ノ入稅五千七百萬「ホン」ノ高  
 ニ上レリ然レモ英國ハ他國ヨリモ收歛シテ民ヲ  
 苦シムルニ非ラス唯其稅法宜キヲ得テ國民皆之  
 ニ堪ル一由テ斯ク夥多シキ高ヲ收ルナリ他國ニ  
 於テハ或ハ其稅法公平ナラサル一モアレモ英國  
 ニ於テハ然ラス貧富貴賤一樣ニ租稅ヲ收ルヲ趣  
 旨トヒリ英人ノ活計ニ苦ム所以ハ租稅ノ苛酷ナ  
 ルニ非ラス衣食ノ高價ヲルニ由テナリ然レモ衣  
 食ノ高價ナルハ決シテ患フヘキニ非ラス却テ其  
 國ノ幸ト云フヘン其故ハ衣食高價ニシテ活計ニ

苦ノハ人民止ムヲ得スシテ工業ヲ勤メ隨テハ新  
 發明ノ一モ有テ國益トナレハナリ○英國ニテ收  
 稅ノ大趣意ハ人生必用ノ品物並ニ製造物ノ内貨  
 素ノル粗品ニハ稅ヲ輕クシ奢侈ニ屬スル品物並  
 ニ人命ニ害アル品物酒烟草ノ類ニハ稅ヲ重クス蓋シ  
 奢侈ニ由テ美品ヲ用ユル者ハ固ヨリ其高價ヲ拂  
 ヒ得ヘキノ理アリ又不幸ニシテ有害ノ物ヲ服用  
 スルノ癖アル者ハ其物ノ高價ナルニ由テ止ムノ  
 得ス自カラ服用ヲ禁スルヲアルヘキノ理ナリ○  
 一歳ノ入稅三分ノ二ハ諸港ノ運上並ニ國內產物

ノ運上ヨリ收納ス千八百五十二年一歳出入ノ會

計左ノ如シ

歳入

三千百十七萬七千五百十二ポンド

港運上

六百七十五萬一千三百四十四ポンド

國內產物並ニ官許ノ運上

六百九十二萬一千二百九十九ポンド

證印稅

三百五十五萬九千六百七十二ポンド

地稅家稅等

五百六十五萬二千七百七十<sup>ト</sup>ポ<sup>リ</sup>ン<sup>ト</sup>

家產稅

二百四十四萬二千三百二十七<sup>ト</sup>ポ<sup>リ</sup>ン<sup>ト</sup>

飛脚印

三十五萬八千二百六十五<sup>ト</sup>ポ<sup>リ</sup>ン<sup>ト</sup>

政府所有ノ土地山林ノ運上

八十九萬二千四百二十七<sup>ト</sup>ポ<sup>リ</sup>ン<sup>ト</sup>

諸運上

總計五千七百七十五萬五千五百七十一<sup>ト</sup>ポ<sup>リ</sup>ン<sup>ト</sup>八千

百六十一<sup>ト</sup>年ノ會計ニハ歲入七千三百萬<sup>ト</sup>ポ<sup>リ</sup>ン<sup>ト</sup>止余ニ上ル<sup>ト</sup>云

歲出

二百六十三萬八千七百三十三<sup>ト</sup>ポ<sup>リ</sup>ン<sup>ト</sup>

港運上並ニ國內ノ諸運上ヲ取立ル雜費

二千七百九十三萬四千五百三十三<sup>ト</sup>ポ<sup>リ</sup>ン<sup>ト</sup>

國債ノ利息及ヒ其元金ヲ返シタル高

百五十八萬四千六百六十七<sup>ト</sup>ポ<sup>リ</sup>ン<sup>ト</sup>

文官定式ノ入用即チ王族ノ雜費政官ノ給料議

事院ノ入用等但シ國王自用ノ費ハ三十八萬<sup>ト</sup>ポ<sup>リ</sup>ン<sup>ト</sup>

ナリ

二百十萬零四千九百九十六<sup>ポント</sup>

裁判局ノ入用

三十三萬二千四百六<sup>ポント</sup>

外國局ノ入用

一千六百十三萬五千九百五<sup>ポント</sup>

兵備ノ入用但シ本高ノ内陸軍ノ入用七百零一

萬八千六百六十四<sup>ポント</sup>海軍ノ入用六百六十二

萬五千九百四十三<sup>ポント</sup>大砲隊ノ入用二百四

十九萬一千七百九十八<sup>ポント</sup>

百三十四萬一千五百九十九<sup>ポント</sup>

飛脚場ノ入用

七十三萬一千三百九十九<sup>ポント</sup>

土工ノ入用

七萬七千五百三十三<sup>ポント</sup>

政府所有ノ土地山林ノ入用

十二萬五千二百八<sup>ポント</sup>

貿易場貸藏ノ入用

二百二十二萬三千六百八十八<sup>ポント</sup>

古、条々ニ載セサル諸雜費

總計五千五百二十二萬九千三百六十七<sup>ポント</sup>

附録

○英國ノ海外ニアル所領ハ甚ク廣大ナリ其大概  
 ヲ舉ルハ北亞米利加北方ノ地即チカナダ西印度  
 南北西米利加ノ界喜望峰澳大利オーストラリア亞及ヒ東印度是  
 ニアル地方ヲ云 故ニ本國ノ富饒ヲ致シ兵力強盛ナリト云フモノ  
 ナリ世上一般ノ説ニ英國ハ海外所領ノ地廣キカ  
 故ニ本國ノ富饒ヲ致シ兵力強盛ナリト云フモノ  
 多レト雖モ其説當ラサルニ似タリ亞米利加州ヲ  
 發見レテメヲ移シ喜望峰ヲ廻テ東印度ト貿易ス  
 ルニ至テ其利益ヲ得ルノ洪大ナルハ獨リ英國シ  
 ミニ非ラス歐羅巴諸國皆同様ナリ海外ノ地ヲ開

拓シテ其人民次第ニ文明ニ赴キ自カラ別政府ヲ  
 建ツヘキノ勢ニ至レルモノヲ尚ホ其舊ニ依テ之ヲ  
 屬地トナシ本國ヨリ支配スルト或ハ之ヲ免シテ  
 獨立セシムルト何レ歟其本國ノ為ニ利益トナル  
 ヘキ哉未タ其得失ヲ定メ難シト雖モ恐クハ其獨  
 立ヲ許スノ方利益アルヘシ北亞米利加及ヒ西印  
 度ニ所領ノ地アレモ今日ニ至ルマテ此領地ヨリ  
 一錢ヲ收納シテ英國ノ費用ニ供シタルヲナシ加  
 之其土地ヲ守護スル為ニ多ク軍艦ヲ送り陸兵コ  
 備ヘ其雜費ハ本國ヨリ出シテ領地ノ人民ハ却テ



之ヲ知ル<sub>レ</sub>ナシ故ニ海外ニ所領ノ地アルトモ本  
 國ノ利益トスル所ハ唯之ト往来シテ貿易スルノ  
 一事ノミ然レ<sub>レ</sub>海外ノ領地ト貿易スルハ外國ニ  
 行テ貿易スルニ異ナル<sub>レ</sub>ナシ凡ソ他人ト貿易ス  
 ルニ於テ天然ノ理ニ從ヒ双方ノ利益トナルニ非  
 サレハ其本國ノ為筋ト云フ可ヲス若シ天然ノ理  
 ニ從テ双方ノ利ヲ謀ルキハ所領ノ地ヲシテ獨立  
 國トナラシメハ其利愈大ナルヘシ其實證ヲ舉  
 ハ亞米利加合衆國ノ獨立シテヨリ以來英人常ニ  
 此國ニ往来シテ双方ノ交際益繁盛シ貿易ノ利愈

大ナリ又北亞米利加ノカナダハ英國有名ノ領地  
 ナレ<sub>レ</sub>此領地ニ行テ貿易スルニ或ハ其土人ノ好  
 マザル所ヲ犯スニ由テ時々難事ヲ生スル<sub>レ</sub>アリ  
 且此地ヨリ輸出スルモノ一品ニテモ他國ヨリモ  
 便利ニシテ價ノ廉ナルモノナシ海外ノ領地ト強  
 テ貿易スルトモ固ヨリ害有テ益ナク且獨立ヲ欲  
 スルモノヲ壓伏シテ屬地トナシ置カンニハ本國  
 ノ入費甚タ大ナリ方今英國ニテカナダノ地方ヲ  
 失ハサル所以ハ唯兵力ヲ以テ其土人ヲ鎮靜スル  
 ニ由テナリ此大兵ヲ備フルノ費用一年百五十萬

利ノトニ下ラス然ルニ其地ヨリ得ル所ノ利益ハ  
 費ス所ノ高ヲ償フニ足ラス且識者ノ説ニカナダ  
 ハ早晚獨立國ト為ル歟又ハ亞米利加合衆國ノ圖  
 版ニ入ルヘシト云ヘリ○又西印度ノ領地ニハ多  
 ク砂糖ヲ産シ之ヲ英國ニ輸入シテ其運上ノ高甚  
 大ナリト云ヘルモノアレヒカナダニモ茶烟草ヲ  
 産ンテ之ヲ英國ニ輸入シ運上ヲ納ルトハ西印度  
 ノ砂糖ニ異ナルトナシ且西印度ニ砂糖ヲ産スト  
 雖其品物ヲ輸送スル者ハ英ノ商ノナルカ故ニ  
 英國政府ハ其國人ヨリ稅ヲ取ルナリ加之西印度  
 諸島ノ砂糖ハ〔キニバ〕西印度ニアル地〔ブラシル〕南亞米  
 立國ヨリ輸入スルモノニ比スレハ其價却テ高キ  
 カ故ニ此砂糖ヲ用ユルハ本國ノ損亡ト云フヘシ  
 ○右ノ次第ニ付キ英國ノ盛大ナルハ其領地ノ廣  
 キ故ナリト思フハ大ナル誤解ナリ海外ノ領地ニ  
 行テ貿易スルハ他ノ獨立國ト貿易スルノ便利ナ  
 ルニ如カス且所領ノ地ハ世界中諸處ニ散在シテ  
 本國ヨリノ距離甚シ遠キカ故ニ戰爭ノ代ハ敵兵  
 ノ襲撃ヲ受ケ易ク之ヲ守護スルニハ多少ノ工夫  
 ヲ費シ軍用ヲ失ハサル可ラス反覆熟考スレハ海

外ノ所領ハ本國ノ勢ヲ弱クスルモノト云テ可ナ  
 リ英國ノ富強文明ニシテ他ニ擢ツル所以ハ其地  
 理ノ便利一シテ產物ノ多キト人才ノ多クシテ政  
 治ノ公正ナルニ由テナリ既ニ地理ノ辨ヲ得又  
 政治ノ公正ナルアラハ海外ノ領地ヲ失フト雖  
 毫モ患フルニ足ラサルナリ○東印度ノ地方ハ他  
 ノ領地ト異ナリ屬國ノ如キモノニテ時々英國へ  
 貢稅ヲ納ルコトアリ然レモ此貢稅モ世人ノ思フ如  
 ク莫太ノ高ニハ非ラス之ヲ年々平均スレハ些細  
 ノモノナリ○マルタ島地中海ジブラル地中海タル地中海タル地中海

岸ノ北ノ如キハ軍艦商船ヲ寄セ戰爭ノ片ハ兵糧ヲ  
 貯ヘ武器ヲ置キ此地ヨリ兵ヲ出シテ敵國ニ向フ  
 可キカ故ニ緊要ノ領地ト云スヘシ  
 海外ノ地ヲ領シテ本國ノ利益トナル所ハ過多ノ  
 人民ヲ其地ニ移シ人々ヲシテ天稟ノ才力ヲ伸ヘ  
 産業ヲ營ムコト得セシムルニアルナリ毎年英國ヨ  
 リ海外ノ地へ移住スルモノ甚タ夥多シ殊ニ亜米  
 利加合衆國ハ元ト英國ノ領地ニテ言語同ク道程  
 近ク氣候平和ニ且其國ニ移テ土地ヲ得ルコト容易  
 ナルカ故ニ英人ノコトニ居ヲ移スモノ最モ多シ

千八百二十五年ヨリ千八百四十九年ニ至ルマテ  
二十五年ノ間ニ英人ノ海外ニ移住シタル者ノ數  
左ノ如シ

北亞米利加ニ在ル英國所領ノ地へ移リタルモノ

八十萬零八千七百四十人

亞米利加合衆國へ移リタルモノ

百二十六萬零二百四十七人

澳大利亞へ移リタルモノ

十八萬五千三百八十六人

右ノ外諸方ニ在ル英領へ移リタルモノ

三萬零八百十一人

總計英國ヨリ出タルモノ二百二十八萬五千八百  
十四人ナリ

西洋事情卷之三 終

西洋事情  
卷之三

三

1857/5  
23

